はじめに

このたびは、キヤノンラージフォーマットプリンタ《BJ-W9000》をお買い上げいただき誠にありがとうございました。
この操作ガイドには本製品の機能と操作方法、および使用上の注意について記載してあります。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用の前にこの操作ガイドをよくお読みください。
また、お読みいただいた後もいつでも使用できるように大切に保管してください。

この操作ガイドの中で⚠と表記されている事項は安全にご使用いただくための注意です。
操作ガイドの指示を必ずお守りください。

保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後７年間です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
（関連法律）
刑法　第148条、第149条、第162条
通貨及び証券模造取締法　第1条、第2条等

各説明書の利用のしかた

説明書は全部で3種類

本機には次のような説明書が用意されています。必要に応じてご覧ください。

●操作ガイド（本書）
本機を安全にお使いいただくための情報が書かれています。必ず初めにお読みください。また、本機の使いかたや日常の取り扱い、困ったときの対処のしかたについて説明しています。

●クイックリファレンス
操作ガイドから用紙のセット方法やインクボトルやBJプリントヘッドの交換方法を抜粋し、簡単に説明しています。

●プリンタドライバガイド
（Windows® 98/Windows® 95、 Windows® 2000/Windows NT®4.0、Macintosh）
プリンタドライバのインストール方法や、Windows® 98/Windows® 95、Windows® 2000/Windows NT®4.0、 Macintoshでプリントする場合の操作方法について説明しています。

本書の構成について

■第1章　プリンタを使う前に

本機を正しくお使いいただき、機能を十分に活用していただくために、各部の名称やオプションについて説明しています。

■第2章　プリントする前の準備

本機をお使いになる前に準備していただく内容について説明しています。

■第3章　プリントにおける基本操作

プリントをおこなうまでの操作の流れやプリントの中止のしかたなど、プリントに関する基本的な操作について説明しています。

■第4章　用紙について

本機にてお使いになれる用紙の種類や取り扱いのしかたについて説明しています。

■第5章　よりきれいにプリントするために

本機の性能を十分に発揮していただくために必要な操作について説明しています。

■第6章 インクボトルとBJプリントヘッドについて

インクボトルとBJプリントヘッドの取り扱い方法や交換のしかたについて説明しています。

■第7章　ユーザーメニューについて

本機にて設定できる機能について項目ごとに説明しています。

■第8章　メッセージディスプレイについて

メッセージディスプレイに表示されるメッセージの内容と対処のしかたについて説明しています。

■第9章　プリンタの保守

日常おこなう清掃や点検作業について項目ごとに説明しています。

■第10章　困ったときは

用紙がつまったときや本機が正常に動作しないときの対処のしかたについて説明しています。

■第11章　オプションについて

本機のオプションの紹介や使いかたについて説明しています。

■第12章　付録

本機の仕様や消耗品の紹介、用語集などをまとめています。

目　次

表記について

マークの意味

本書では製品を安全にお使いいただくために、大切な記載事項には下記のような見出しとマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

⚠ 警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

⚠ 注意

取り扱いを誤った場合に、重傷を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



操作上必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。機械の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。



操作の参考になることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

BJプリントヘッドの表記について

本書の説明文中にある「プリントヘッド」や「ヘッド」は、「BJプリントヘッド」を表しています。

⚠安全にお使いいただくために

本機を安全にお使いいただくために、下記の項目を必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外はおこなわないでください。思わぬ事故を起こしたり、火災や感電の原因になります。

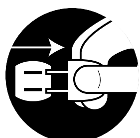
⚠ 警告

設置場所について



アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

プリンタを移動するときは

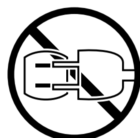


機械を移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてからおこなってください。電源コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

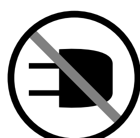
電源について



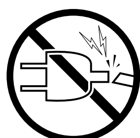
濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。



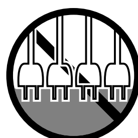
電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。



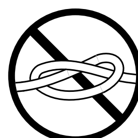
同梱されている電源コード以外は使用しないでください。また、同梱されている電源コードを他の製品に使わないでください。火災や感電の原因になります。



電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、電源コードをひっぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。



タコ足配線はおこなわないでください。火災や感電の原因になります。



電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。

アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

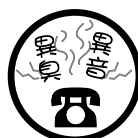
［アース線を接続してよいもの］

・コンセントのアース端子
・接地工事（D種）が行われているアース端子

［アース線を接続してはいけないもの］

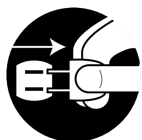
・水道管
　配管の途中でプラスチックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
・ガス管
　ガス爆発や火災の原因になります。
・電話線のアースや避雷針
　落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。

万一異常が起きたら



異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。そのままお使いになると火災や感電の原因になります。

清掃の時は



清掃のときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。また、清掃中に機械が動くとけがの原因となります。



清掃のときは、中性洗剤を含ませて固く絞った布をお使いください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使わないでください。引火性溶剤が機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

その他



機械の上に次のような物を置かないでください。これらが機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。

・ネックレスなどの金属物
・コップ、花瓶、植木鉢など、水や液体が入った容器

万一、これらが機械内部に入った場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店または担当サービスに連絡してください。



機械を分解したり、改造したりしないでください。機械内部には高温の部分があり、火災や感電の原因になります。



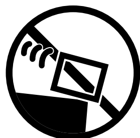
機械の近くでは可燃性のスプレーなどは使わないでください。スプレーのガスが機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

心臓ペースメーカをご使用の方へ

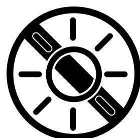
本製品から微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカをご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして、医師にご相談ください。

⚠ 注意

設置場所について



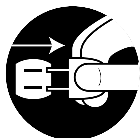
傾いた所など不安定な場所や振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。



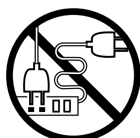
機械を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
・湿気やほこりの多い場所
・直射日光のあたる場所
・高温の場所
・火気に近い場所、水気のある場所
・アルコール、シンナーの近く

電源について

電源プラグをコンセントに差し込む前に本機の電源スイッチが“○”側になっていることを確認してください。“○”側になっていないと、感電の原因になることがあります。

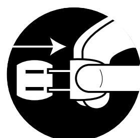


電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。



原則的に延長コードは使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。
また、お使いになるときは束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように根もとまで電源プラグを差し込んでください。

AC100Vから240Vの間の電源・電圧でお使いください。
AC100Vから240Vの間の電源・電圧で使わないと、火災や感電の原因になることがあります。



いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグのまわりには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

アース線を接続してください。
アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になることがあります。

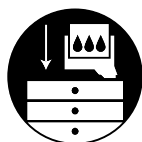
清掃の時は

電源プラグは年１回以上コンセントから抜いて、電源プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になることがあります。

清掃など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が機械内部に触れないように点検してください。
やけどや感電の原因になることがあります。

紙づまりで用紙を機械内部から取り除くときは、つまっている用紙の上のインクが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れると、落ちなくなることがあります。

消耗品について



安全のため、インクボトルやプリントヘッドは子供の手の届かないところへ保管してください。誤ってインクをなめたり飲んだりした場合には、直ちに医師にご相談ください。



インクボトルやプリントヘッドは、落としたり振ったりしないでください。インクが漏れたり飛び散ったりして、周囲や衣服を汚すことがあります。

インクボトルのインク供給口、およびプリントヘッドのフィルタやヘッド部には触れないでください。インクで手を汚すことがあります。

その他



用紙をロードしているときは機械の中に手を入れないでください。内部で機械が駆動しているため、けがの原因になることがあります。
また、ロード中の用紙に触れると手を切る可能性があるので注意してください。

機械の上に重い物をのせないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。

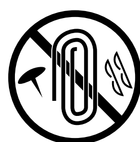
機械には通気口がありますので、必ず壁から離して設置してください。絶対に通気口を壁やものでふさがないようにしてください。通気口をふさぐと機械内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

ロール紙は重いので、取り扱いには十分に注意してください。また、ロール紙を交換するときはロール紙カセットに手を挟まないように注意してください。けがの原因になります。

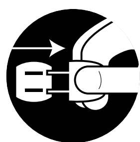
ロール紙をカセットにセットするときは、スピンドルの固定レバーとロール紙管の間に指を挟まないように注意してください。けがの原因になります。

ロール紙の交換や用紙をセットするとき、また紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

プリントヘッド固定レバーのインク開口部周辺には触らないでください。インクで手を汚すことがあります。



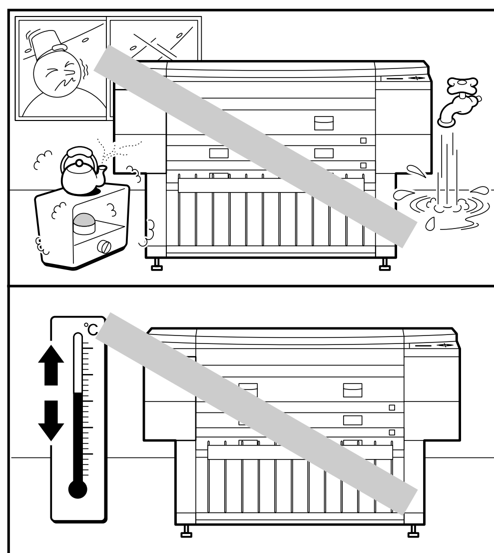
機械内部にクリップやホッチキスの針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが機械内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になることがあります。これらが機械内部に入った場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。



夜間などで長時間お使いにならない場合は、安全のため電源スイッチを切ってください。また、連休などで長時間お使いにならない場合は、安全のため電源プラグを抜いてください。

設置場所について

本機を快適にお使いいただくために、次のような場所を選んで設置してください。また、本機を設置する前に⚠安全にお使いいただくために（P.9～P.12）を必ずお読みください。

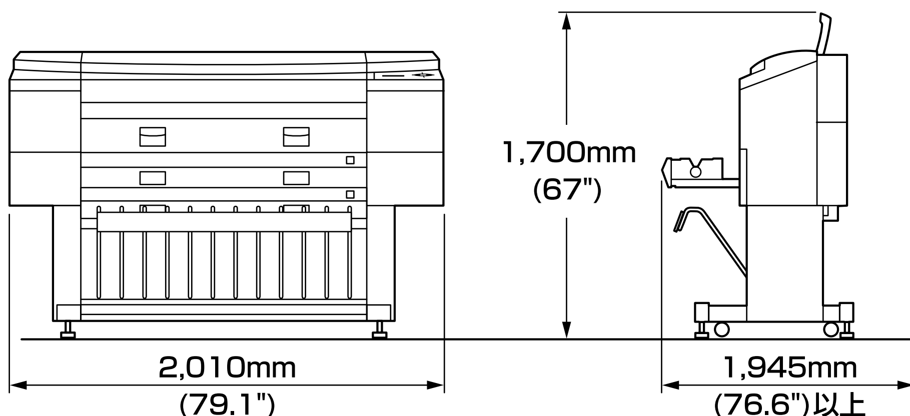


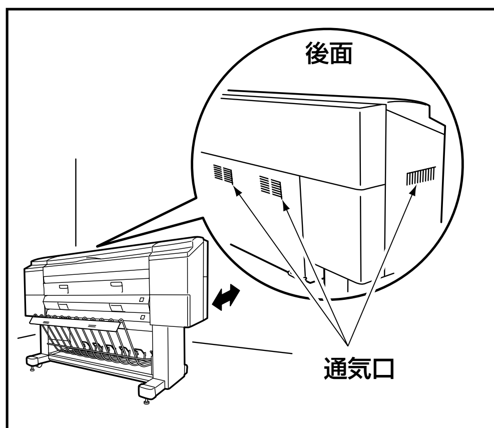
■次のような場所への設置は避けてください。

- 低温、乾燥または高温、多湿の場所
  たとえば、水道の蛇口、湯沸器、加湿器、エアコン、ヒータ、ストーブなどの近く。（温度15℃～30℃、湿度10%～80%の環境でお使いください。）
- 温度が急激に変化する場所
- 振動のある場所
- エアコンや扇風機の風が直接あたる場所
- ラジオ、テレビなどの電子機器の近く
  ラジオやテレビに雑音や画面のチラツキなどの受信障害が生じることがあります。別系統の電源を使用し、できるだけ離して設置してください。
- 傾斜の強い場所
  本機は水平になっていない状態ではお使いになれません。また、傾斜の強い場所では設置できないことがあるので、できるだけ傾斜のない所に設置してください。

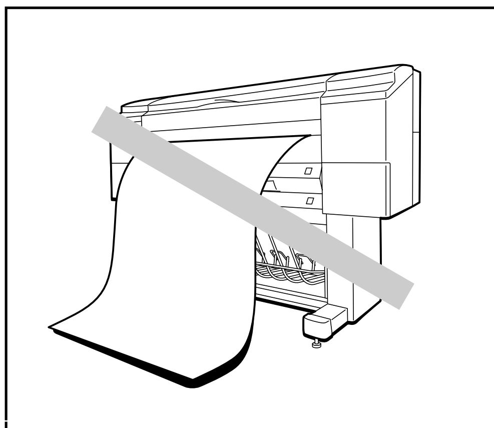
■設置スペースにはゆとりを

- 機械の寸法と周囲に必要な寸法は次のようになっています。機械の前後には操作に十分なスペースをとってください。





● 機械には通気口がありますので、必ず壁から離して設置してください。絶対に通気口を壁やものでふさがないようにしてください。



● 長い用紙をお使いになっているときに、用紙が床についてしまうと床のチリやほこりを運び故障の原因になります。用紙が床につかないように注意してください。また、機械の周囲は常にきれいにしてください。

移動、または移転の際はご連絡を

お客様に安定したプリント品質を提供するため、本機は設置の際に調整をおこなっています。そのため、移動または移転の際は、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

第1章

プリンタを使う前に

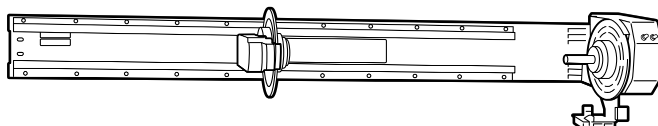
この章では、本機をお使いになる前に理解しておいていただきたい事柄を説明しています。本機の各部の名称と機能やオプションの構成、操作パネルの見かたなど、本機をお使いいただくために必要な基本的な情報をまとめています。本機をお使いになる前に必ずお読みください。

オプションの構成

本機には、巻き取り装置とスピンドル、ハードウェアRIPがオプションとして用意されています。
ここでは、各オプションの形状と機能を紹介します。
オプションについての詳しい紹介は、「オプション品の紹介」（→p.11-2）をご覧ください。

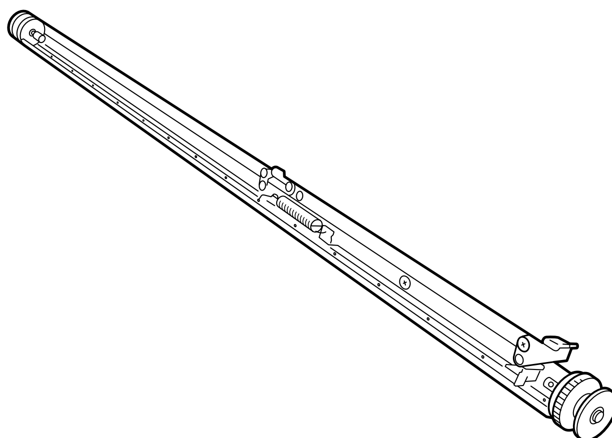
巻き取り装置

プリントしたロール紙を自動的にスムーズに巻き取ります。長尺プリントした出力紙の保管やお客様への納品に大変便利です。
詳しい使いかたについては、「巻き取り装置の使いかた」（→p.11-3）をご覧ください。



スピンドル

本機には紙管内径51mm（2インチ）と76mm（3インチ）をお使いになるお客様のために、オプションで51mm（2インチ）タイプのスピンドルと76mm（3インチ）タイプのスピンドルを用意しています。お使いになる用紙に合わせてお選びください。



ハードウェアRIP

PostScriptに対応し、Ethernetに接続されたTCP／IP、EtherTalk、IPX/SPXなどの各ネットワークプロトコルを同時にサポートしたRIPサーバです。本機との接続環境については「ネットワークに接続する」（→p.2-4）をご覧ください。

各部の名称とはたらき

本機を正しくお使いいただき、機能を十分に活用していただくために、各部の名称と機能について説明しています。

本体各部

紙合わせライン
カット紙をセットするときに基準位置として使います。

右上カバー
プリントヘッドを交換するときや紙間を調節するときに開けます。

トップカバー
紙づまりを処理するときや内部を清掃するときに開けます。

操作パネル
プリンタの状態を確かめるときやメニューの設定をおこなうときに使います。

カット紙挿入口
手差しにてプリントするときに、カット紙をここから挿入します。

電源スイッチ
プリンタの電源を入れたり切ったりします。”I” 側にすると、電源が入ります。

ロール紙残量窓
カセット内のロール紙の残量を知る目安として使います。

右下カバー
インクボトルを交換するときに開けます。

左下カバー
廃インクタンクを交換するときに開けます。

ロール紙カセットA（上段）／B（下段）
ロール紙をセットしたり交換するときに引き出します。

前カバー
ロール紙の紙づまりを処理するときに開けます。


お願い

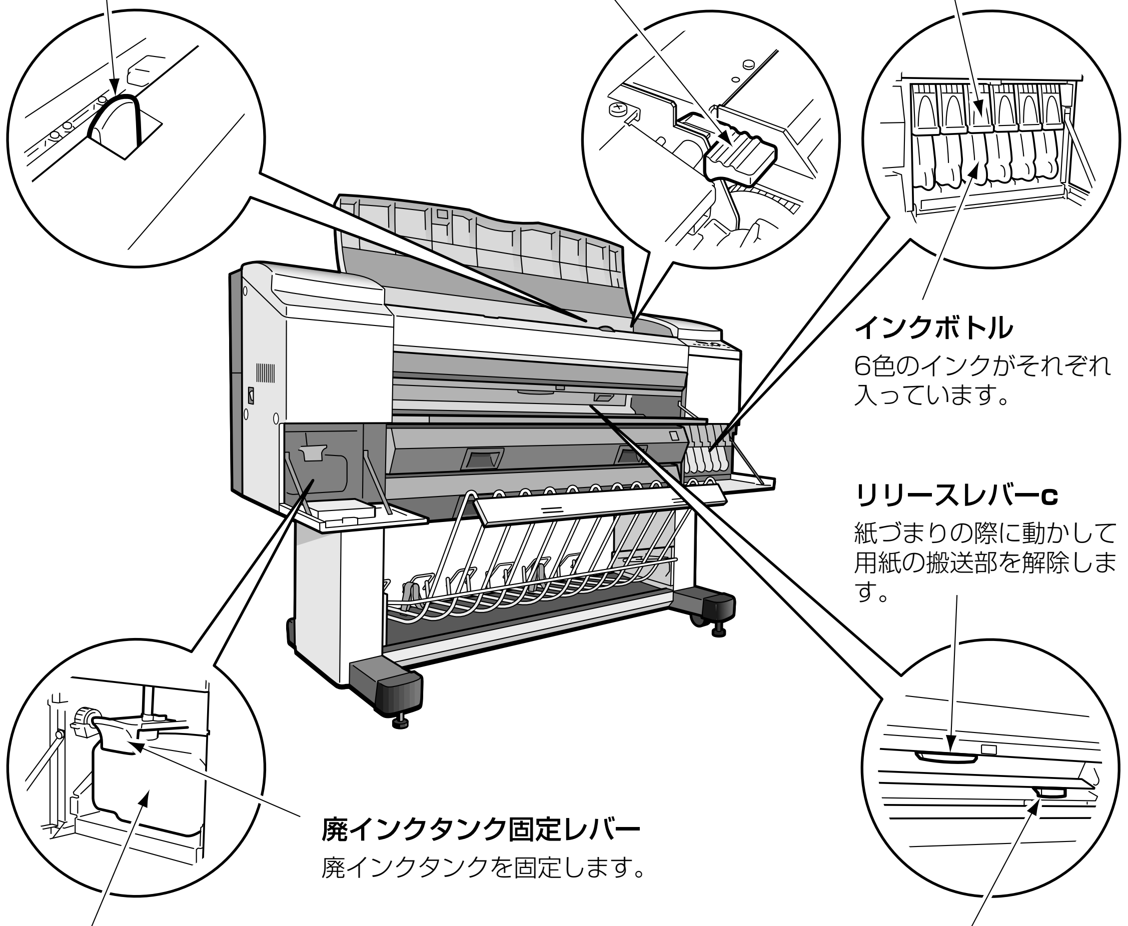
●プリント中に、トップカバーをはじめとするすべてのカバー類（右下カバーを除く）やロール紙カセットを開けないでください。これらを開けると本機の安全機能がはたらいてすべての動作が停止するため、プリントが中止となり排紙されます。また、これらのカバー類やロール紙カセットが開いているとプリントを開始しません。必要なとき以外は必ず閉めてください。

〈内部〉

リリースレバーb
紙づまりの際に動かして用紙の搬送部を解除します。

リリースレバーa
紙づまりの際に動かして用紙の搬送部を解除します。

インクボトル固定レバー
インクボトルを固定します。



インクボトル
6色のインクがそれぞれ入っています。

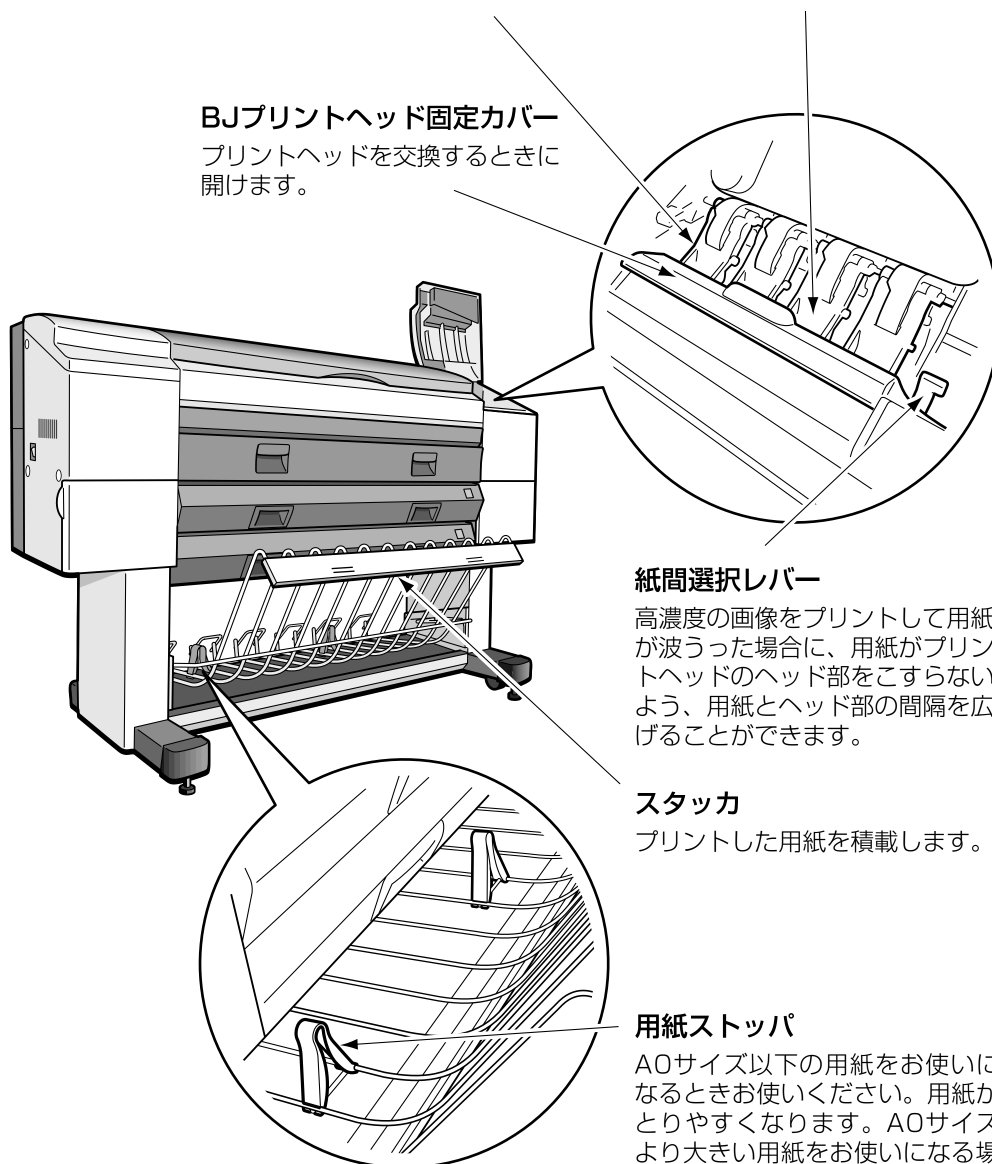
リリースレバーc
紙づまりの際に動かして用紙の搬送部を解除します。

廃インクタンク固定レバー
廃インクタンクを固定します。

廃インクタンク
廃インクがいっぱいになったら交換します。

リリースレバーd
紙づまりの際に動かして用紙の搬送部を解除します。

〈キャリッジ部およびスタッカ〉

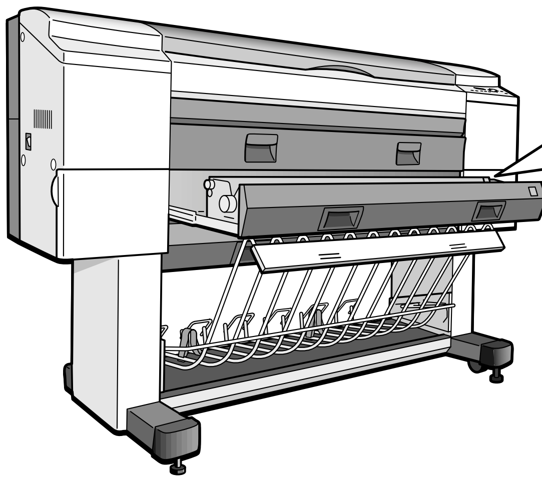


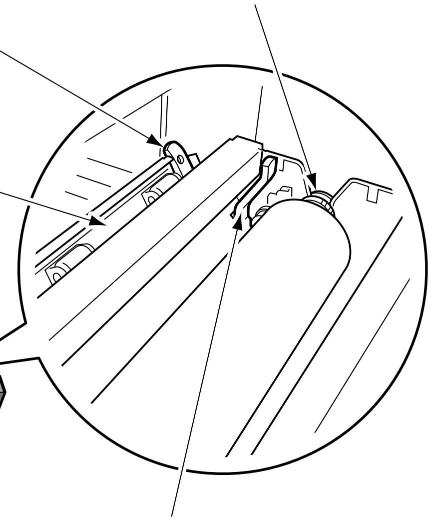
〈カセット内部〉

ペーパーセットレバー
ロール紙をセットするときに、このレバーをつまんで解除したペーパー押さえを元に戻します。

スピンドル
ロール紙に差し込んでロール紙カセットにセットします。

ペーパー押さえ
ロール紙の先端を押さえます。



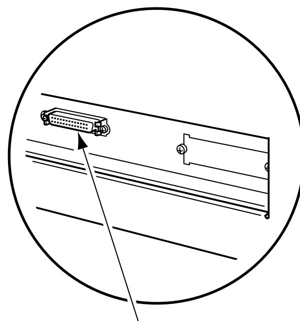


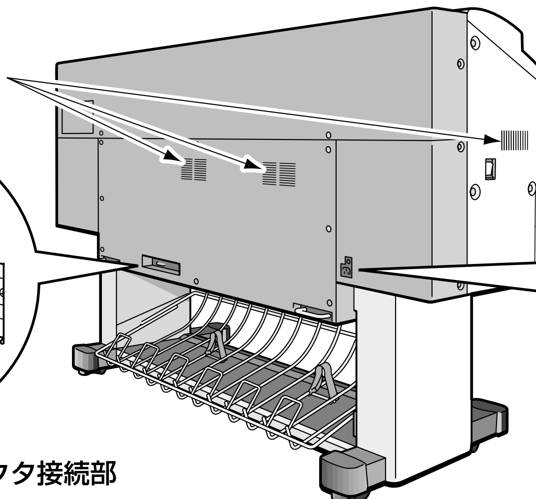
ペーパーリリースレバー
ロール紙をセットするとき、このレバーを引いてペーパー押さえを解除します。

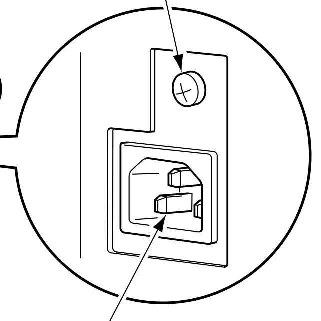
〈後面〉

通気口
本機の内部を冷却するための通気口です。塞がないようにしてください。

アース線接続部
付属のアース線をここに接続します。





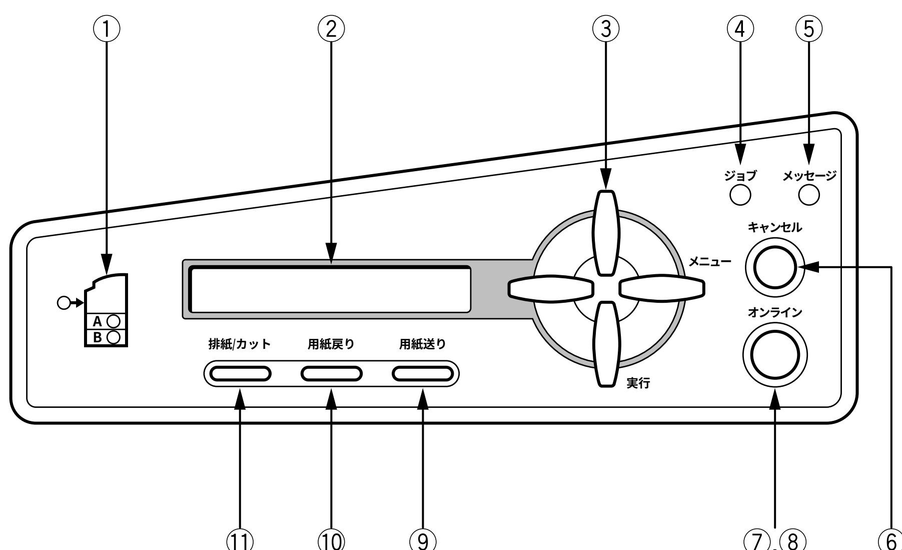


インタフェースコネクタ接続部
コンピュータのプリンタポートとこのコネクタをインタフェースケーブルで接続します。

電源コード接続部
付属の電源コードをここに差し込んで電源に接続します。

操作パネルの使いかた

ここでは、 操作パネルのメッセージディスプレイや各ランプの見かた、および各キーの使いかたについて説明します。



① **用紙の状態**
カセットや手差しトレイ内に用紙があるかないかを表示します。

緑色に点灯	カセット内または手差し部に用紙がある場合。
消灯	カセット内または手差し部に用紙が無い場合。

② **メッセージディスプレイ**
プリンタの状態やユーザーメニュー、およびお知らせ／エラーに関するメッセージを表示します。上段と下段でそれぞれ２４文字づつ表示します。

③ **矢印キー**
ユーザーメニューへの移行やパラメータの選択や、用紙のマニュアル搬送等に使用します。

右矢印キー	オフライン状態でこのキーを押すことによってユーザーメニューの階層に入ることができます。また、メニューの設定値を選択するときに使います。
左矢印キー	ユーザーメニューの設定値を選択するときに使います。
上矢印キー	ユーザーメニューで上の階層に進めるときや設定しようとしている画面を抜けるときに使います。
下矢印キー	ユーザーメニューで下の階層に進めるときや設定値を確定するとき、設定を実行するときに使います。

④ ジョブランプ
プリンタの状態を表示します。

緑色に点灯	コンピュータからのデータを受信中やプリント中。
緑色に点滅	プリントヘッドの調整中やクリーニング中。または、エラー発生時。
消灯	プリンタが何も動作していない状態。電源を切ることができます。

⑤ メッセージランプ

オレンジ色に点滅	プリンタにトラブルが発生してプリントできない場合など、点滅してお知らせします。

⑥ キャンセルキー
プリント中にこのキーを押すと、現在プリント中の１ライン分をプリントして一時停止状態になります。続けて［下矢印キー］を押すと、用紙を排紙してプリントを中止します。
［上矢印キー］を押すと、プリントは再開します。

⑦ オンラインキー
オンラインとオフラインを切り替えます。またユーザーメニューの階層を抜けるときに押します。プリント中にこのキーを押すと、現在のページのみプリントして連続プリントを一時停止します。（続けて［排紙/カットキー］を押すと、プリントを中止してプリントした用紙を排紙します。）再度「オンラインキー」を押すと、プリントは再開します。

⑧ オンラインランプ

緑色に点灯	コンピュータとの通信がおこなえるオンライン状態。
緑色に点滅	プリント中に“ページカンポーズ”に移行している状態。
消灯	コンピュータからのデータを受信できないオフライン状態。

⑨ 用紙送りキー
オフライン状態でこのキーを押すと、ロール紙を手前に送り出します。

⑩ 用紙戻しキー
オフライン状態で用紙がプラテン上にない場合に、このキーを押すと、送り出した用紙を巻き戻します。

⑪ 排紙／カットキー

（プリント前）	［用紙送りキー］を使って用紙を送り出したあと、このキーを押すとロール紙の先端を約70ミリカットします。
（プリント中）	オンラインキーを押して連続プリントを一時停止しているとき、このキーを押すと用紙を排紙してプリントを中止します。
（プリント後）	「オートカット」メニューを「ナシ」に設定している場合にこのキーを押すと、一定量用紙を送り出してカットします。または［用紙送りキー］で送り出したロール紙をお好きな位置でカットするときにこのキーを押します。

メッセージディスプレイについて

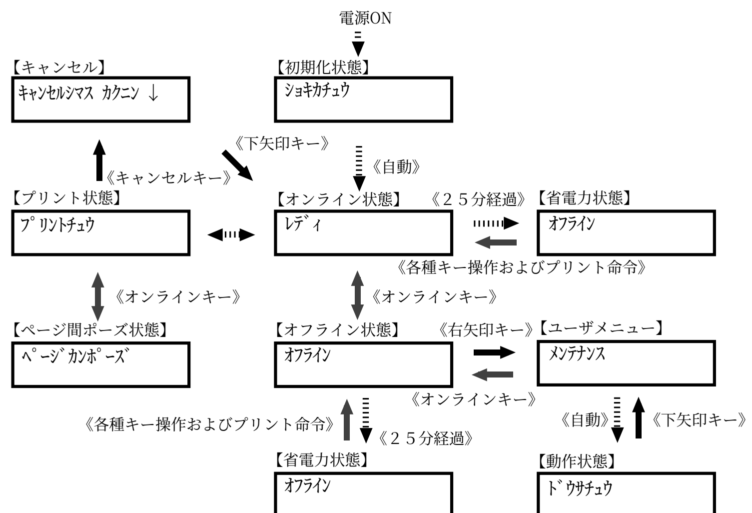
メッセージディスプレイには次のような情報（メッセージ）が表示されます。

●プリンタの状態（→P.1-10）
●ユーザーメニューの設定状態（→P.1-12）
●お知らせ/エラーに関する情報（→P.1-14）

ここでは、各メッセージの概要を説明します。

●プリンタの状態

プリンタの状態には以下の8種類があり、それぞれメッセージディスプレイの上段に　“ショキカチュウ”“レディ”“オフライン”“プリントチュウ”“ページカンポーズ”などのメッセージが表示されます。



●初期化状態
電源を入れた際にプリンタの初期化をおこなっている状態です。電源を入れるとすぐに“ショキカチュウ”と表示されます。

●オンライン状態
コンピュータとの通信がおこなえる状態でプリント待ちの状態です。メッセージディスプレイに“レディ”と表示されます。

●オフライン状態
コンピュータとの通信がおこなえない状態です。ユーザーメニューの設定や用紙の搬送ができます。この状態では、データを受信することができません。メッセージディスプレイに“オフライン”と表示されます。

●プリント状態
コンピュータから送られてきたデータをプリントしている状態です。メッセージディスプレイに“プリントチュウ”と表示されます。

● ページ間ポーズ状態
プリント中に［オンラインキー］を押して、プリントを一時停止している状態です。メッセージディスプレイに“ページ　カン　ポーズ”と表示されます。

● 調整状態
メニュー内の「ヘッドイチ　チョウセイ（ジドウ）」メニューを使って、印字位置の自動調整をおこなっている状態です。メッセージディスプレイに“チョウセイチュウ”と表示されます。

● 動作状態
メニュー内の「クリーニング」や「ヘッドコウカン」メニューを実行してプリンタが動作している状態です。メッセージディスプレイに"ドウサチュウ"と表示されます。また、「チェックパターン」や「ヘッドイチ　チョウセイ（ユーザー）」メニューを実行して内部プリントをおこなっている状態です。このとき、メッセージディスプレイには"チェックパターン プリントチュウ""チョウセイパターン プリントチュウ""カクニンパターン プリントチュウ"と表示されます。

● 省電力状態
25分以上放置した場合、消費電力を少なくしています。

●ユーザーメニューの設定状態

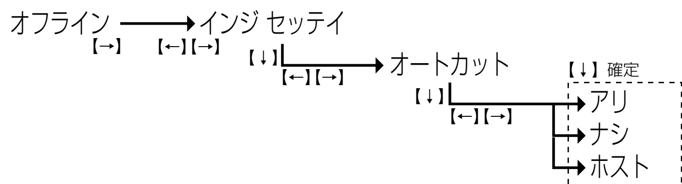
本機にはいろいろな機能（ユーザーメニュー）があり、その機能を設定することを「メニューを設定する」や「メニューを実行する」と言います。メニュー階層に入るには、オフライン状態で右矢印キーを押します。メニューの階層では、左右キーを押して設定値を選択します。
また、下矢印キーを押すと下の階層に入ることができ、上矢印キーで上の階層に戻ります。設定値の確定は下矢印キーを押します。

オフライン

以下の手順は、「オートカット」メニューの中の「アリ、ナシ、ホスト」を選択している表示例です。
ユーザーメニューについての詳細は「第7章　ユーザーメニューについて」をご覧ください。

＜矢印キーの役割＞

- 【←】【→】：メニューや設定値を選択します。
- 【↓】：選択しているメニューの設定画面（1つ下の階層）に入ります。また、数値を下げたり設定値を確定します。
- 【↑】：一つ上のメニュー階層に抜けます。また、数値を上げます。



1 [オンラインキー]を押してプリンタを“オフライン”状態にしたあと、[右矢印キー]を押して「メンテナンス」を表示させます。

ここからユーザーメニューの設定階層になります。

```
メンテナンス
```

2 [右矢印キー]を押して「インジ セッテイ」を表示させます。

```
インジ゛ セッテイ
```

3 [下矢印キー]を押して「インジ セッテイ」メニューの階層に入ります。

```
インジ゛ セッテイ
  オート カット
```

4 「オートカット」が表示されているので、そのまま[下矢印キー]を押して「オートカット」の設定画面を表示させます。

```
オートカット
 *アリ  ナシ  ホスト
```

5 [右または左矢印キー]を押して「ナシ」を選択します。

```
オートカット
 *アリ  ナシ  ホスト
```

6 [下矢印キー]を押して設定を確定します。

●お知らせ／エラーに関する情報

本機が正しく動かないときや正常にプリントできない場合に、お知らせ／エラーに関するメッセージが表示されます。

ロールシカセットAガ　アイテイマス
ロールシカセットヲ　シメテクダサイ

ロール紙カセットAが開いている場合の表示例です。
お知らせ／エラーに関するメッセージについては「メッセージディスプレイの見かた」（→P.8-2）をご覧ください。

第2章

プリントする前の準備

この章では、本機をお使いになる前に準備しておいていただきたい事柄を説明しています。本機の電源の入れかた、切りかた、SCSIケーブルの接続のしかたなど、プリントする前に必要な準備についてまとめています。プリントをする前に必ずお読みください。

コンピュータに接続する

以下の動作環境についてご確認いただいた上で、SCSIケーブルとSCSIカードを用意し、本機とコンピュータを接続してください。

動作環境について

本機の機能をストレスなく十分に活用していただくためには、以下の推奨環境でのご使用をおすすめします。また、不便のない操作を実現するには、以下の動作保証環境が必要となります。詳しくは、本機をお買い求めの販売店または担当サービスにお問い合わせください。

	項目	推奨環境	動作保証環境
Windows	OS※1	Windows98	Windows98/Windows95
		Windows2000	Windows2000
		WindowsNT4.0(サービスパック4以上)	WindowsNT4.0(サービスパック4以上)
	CPU	Pentium III と同等以上	Pentium MMX 200MHzと同等以上
	メモリ	128MB以上	64MB以上
	ハードディスク※2	空き容量　20GB以上	空き容量　1.2GB以上
	SCSIカード※3	Adaptec2940AU	Adaptec2940AU
Macintosh	OS※4	MacOS8.5.1以上(OS X、OS X Serverを除く)	MacOS8.5.1以上(OS X、OS X Serverを除く)
	モデル※5	G4	G4 (Cubeを除く) /G3 (Blue & White)
	メモリ	256MB以上	128MB以上
	ハードディスク※2	空き容量　20GB以上	空き容量　640MB以上
	SCSIカード※6	Adaptec Power Domain 2930	Adaptec Power Domain 2930

※1. 新規インストールを前提とし、OSの名前が変更になるようなアップグレードがあった場合のドライバの動作保証は対象となりません。ただし、サービスパックを使用してのアップグレードは動作保証の対象となります。
※2. B0画像を1部出力するには、1ページあたり約600MB、B0画像を複数部出力するには、1ページあたり約1.2GB必要になります。本機で出力可能な最大画像を出力するには、最低約2.5GB必要です。
※3. Adaptec社のASPIマネージャVer.4.60（ダウンロード版）以上のものをお使いください。
※4. MAC OS 8.6、9.0を含みます。
※5. Blue & Whiteモデル以前のG3機は非対象です。
※6. Apple社のSCSIマネージャVer.4.3をお使いください。


お願い

●コンピュータとプリンタ間の通信が正しくおこなえるように、上記SCSIカードをお使いになることをおすすめします。

SCSIケーブルの接続のしかた


メモ

・本機のインタフェースはSCSI II（Fast SCSI）仕様です。
ケーブルはハーフピッチ50ピンのSCSIケーブルをご用意ください。

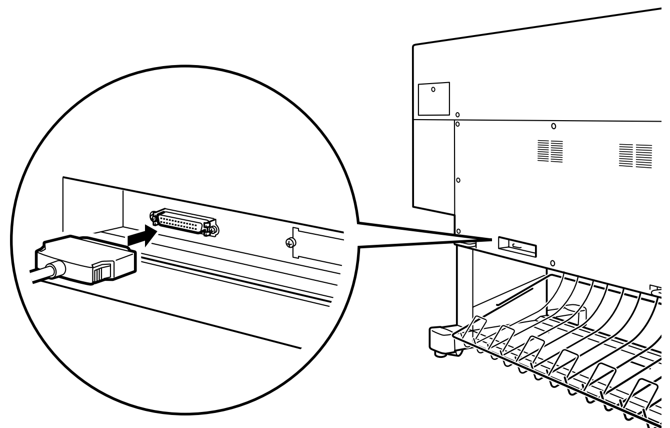
本機の機能を十分に発揮するために、他のSCSI機器との併用は避け、本機用のSCSIカードをご用意ください。
また、SCSIカードの 詳しい取り扱い方法については、SCSIカードやコンピュータの説明書をお読みください。


お願い

● 本機を他のSCSI機器と併用する（デイジーチェーン方式で接続する）場合は、本機でプリントするときに他の機器を使わないでください。正常にプリントできないことがあります。

1 **プリンタとコンピュータの電源が切れていることを確かめます。**

2 **SCSIケーブルをプリンタのコネクタとコンピュータのコネクタに接続します。**




お願い

● コンピュータとプリンタ間の通信が正しくおこなえるように、SCSIケーブルは3m以内のものをお使いください。
● 本機と接続するコンピュータの仕様によってお使いになれるSCSIケーブルが異なることがあります。SCSIケーブルをご購入の際はコンピュータの説明書を合わせてご覧ください。
● ノイズによるプリント品質の低下を防ぐため、ハイインピーダンスタイプのSCSIケーブルをお使いになることをおすすめします。

ネットワークに接続する

本機をネットワーク環境にてお使いいただく場合は、プリンタに直接接続されているコンピュータを経由する方法と、オプションで用意されているTCP/IP、IPX/SPX、EtherTalkに対応したハードウェアRIPをお買い求めになってお使いいただく方法があります。
詳しくは、お買い求めの販売店または担当サービスにお問い合わせください。また、ネットワークケーブルやハブは必要に応じてご用意ください。

ハードウェアRIPをお使いにならない場合


メモ

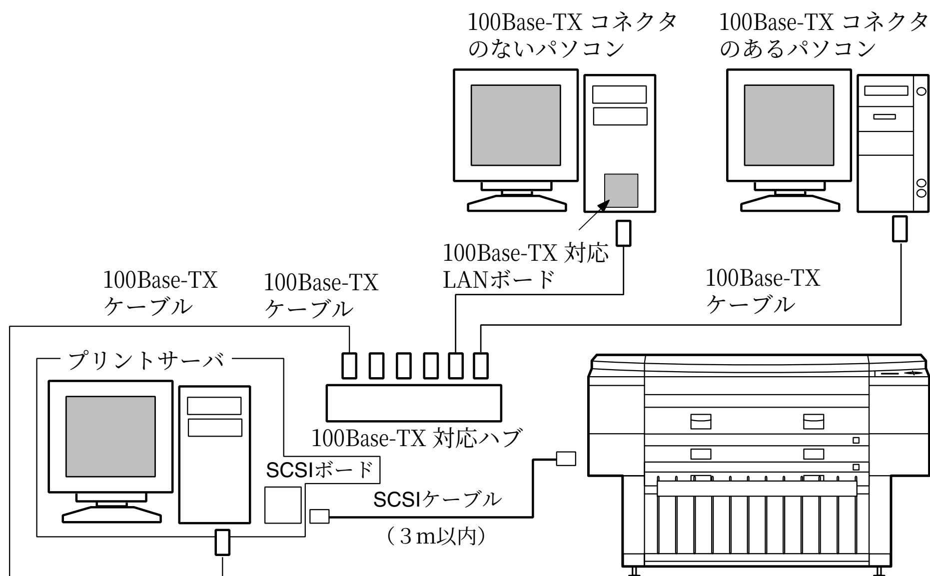
・プリント中にプリントサーバ上で作業をおこなうと、プリンタのデータ受信が正しくおこなえない場合があります。その場合は、プリントサーバでの作業を中止してください。

Windows系統もしくはMacintosh系統などの同系統内でのネットワーク環境（ピア　トゥ　ピア）にて本機をお使いになる場合は、ネットワーク上のいずれかのコンピュータ（プリントサーバ）に接続することで本機を共有することができます。
以下の例を参考に、お使いのネットワーク環境に合わせて本機を接続してください。ただし、オプションのハードウェアRIPをお使いになると、同じネットワーク環境でWindowsとMacintoshを簡単に接続でき、同じプリンタを共有できるので便利です。


お願い

●ネットワークに接続するときは、本機とコンピュータの電源を切り、電源コンセントを抜いてから接続してください。

例：100Base-TXで接続する場合



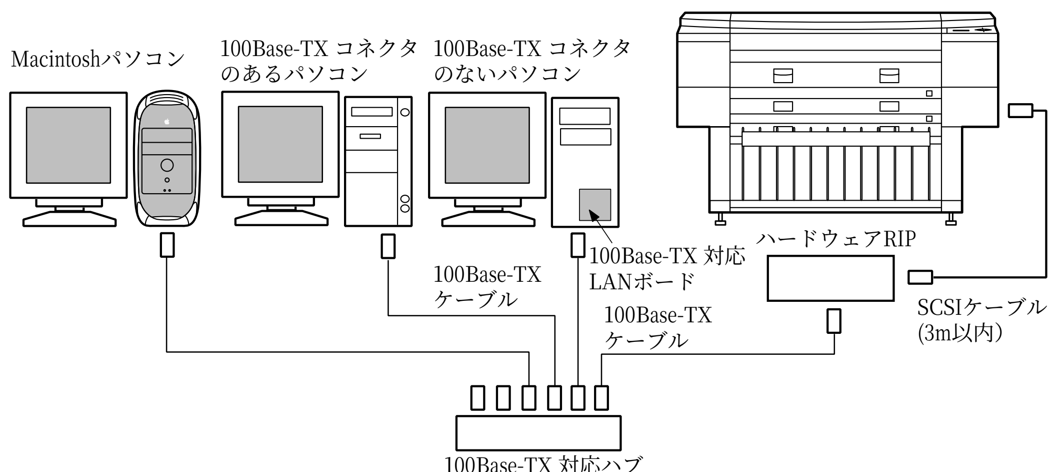
ハードウェアRIPをお使いの場合

オプションのハードウェアRIPをご購入いただき、下記の例を参考にお使いのネットワーク環境に合わせて本機を接続してください。
ハードウェアRIPをお使いになることで、MacintoshやWindowsパソコンが混在する環境においても本機をお使いになれます。
ハードウェアRIPの接続のしかたについては、ハードウェアRIPの説明書をご覧ください。


お願い

●ネットワークに接続するときは、本機とコンピュータの電源を切り、電源コンセントを抜いてから接続してください。

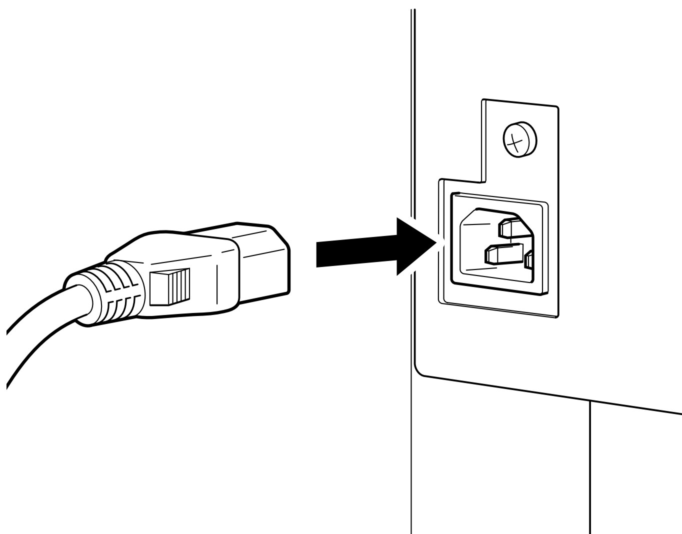
例：100Base-TXで接続する場合



電源に接続する

● 本機に付属している電源コード以外のコードは使わないでください。火災や感電の原因になります。
● 万一発煙、異臭、異音などの異常が発生した場合は、すみやかに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
そのままお使いになると火災や感電の原因になります。
● 電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
● 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
● いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りに物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。
● 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。コードの部分を引っぱると、電源コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
● アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になることがあります。

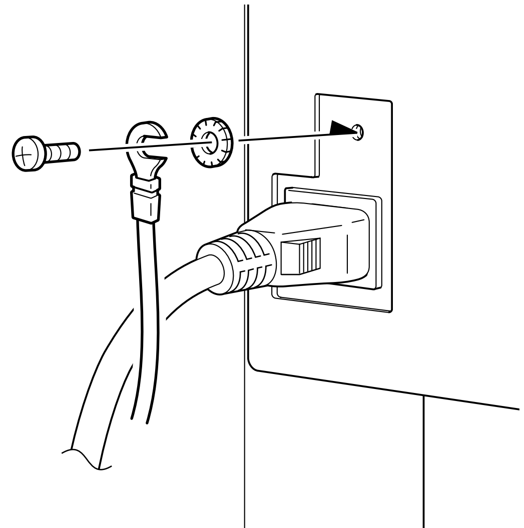
1 **付属の電源コードを、本機の背面右側にある電源コード接続部にしっかりと差し込みます。**



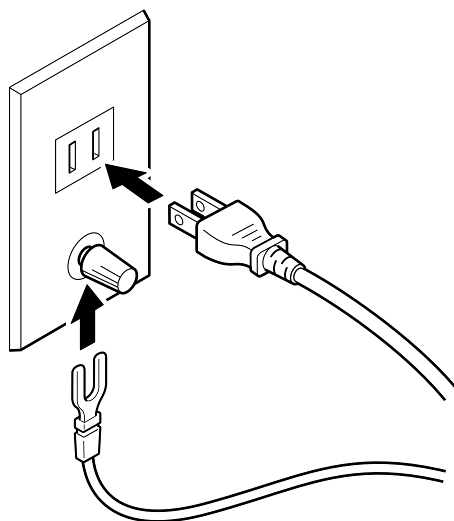
2 アース線接続部のネジをゆるめて取り外し、付属のアース線をネジ止めして接続します。

 警告

●アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。
[アース線を接続してよいもの]
・コンセントのアース端子
・接地工事（D種）が行われているアース端子
[アース端子を接続してはいけないもの]
・水道管…配管の途中でプラスチックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
・ガス管…ガス爆発や火災の原因になります。
・電話線のアースや避雷針…落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。



3 コンセント側のアース線接続部にアース線を取り付けた後、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んで電源に接続します。



電源を入れる／切る

電源の入れかたと切りかたについて説明します。

電源の入れかた

1 電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていることを確かめます。

 注意

●アース線が接続されていることを確認してください。
アース線を接続しないで万一漏電したときは、火災や感電の原因になることがあります。


お願い

●コンピュータの電源を入れた状態で本機の電源を切ったり入れたりしても、コンピュータは本機を認識できません。本機の電源を入れるときは、コンピュータの電源を切ってください。

次ページへ続く


メモ

・初期化動作にかかる時間は通常約1分50秒ですが、電源を入れたときの本機の状態によってはそれ以上長くかかることがあります。

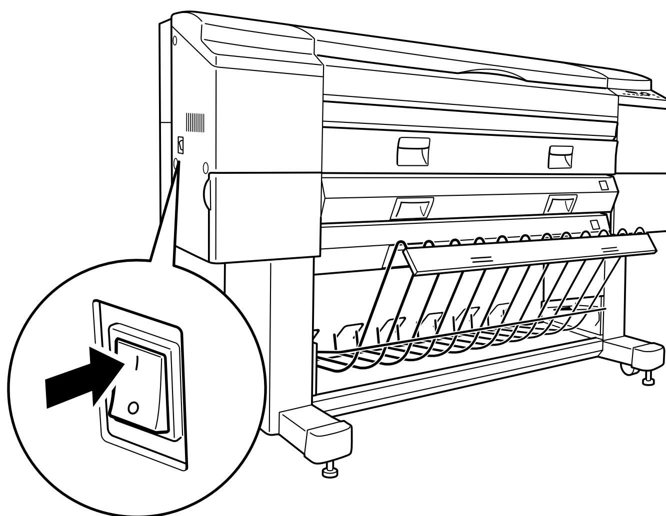
2 カバー類やロール紙カセットが閉まっていることを確かめ、電源スイッチを押してプリンタの電源を入れます。

電源を入れると操作パネルのジョブランプが点滅し、本機は初期化動作を始めます。
メッセージディスプレイには“ショキカチュウ”のメッセージが表示されます。


お願い

●電源を入れるときは、トップカバーをはじめとするすべてのカバー類（右下カバーを除く）やロール紙カセットを開けないでください。これらを開けると、本機の安全機能がはたらいて初期化動作をおこないません。

●初期化動作をおこなっているときには本機に衝撃を与えないでください。誤動作が生じることがあります。



初期化動作が終了し、異常がなければメッセージディスプレイに“レディ”が表示され、オンラインランプが緑色に点灯します。
メッセージディスプレイ下段に“ヨウシヲ トリノゾイテ クダサイ”などのメッセージが表示された場合は、「メッセージの内容と対処のしかた」（→P.8-6）をご覧になり用紙を取り除いてください。

電源の切りかた

1 ジョブランプが消灯していることを確かめます。



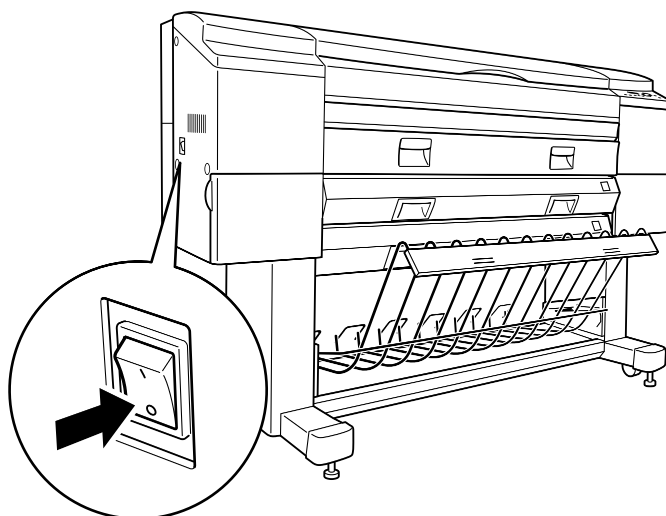
●ジョブランプが点灯または点滅しているときは、本機が動作していることを表しています。ジョブランプが消灯してから電源を切ってください。

●電源を切るとメモリ内のプリントデータは全て消去されます。必要なプリントデータを誤って消してしまわないように、ジョブランプが消灯してから電源を切ってください。

2 電源スイッチを押して電源を切ります。



●電源を切ってから5秒間は電源を入れないでください。5秒以内に電源を入れると、本機が正しく動作しないことがあります。



SCSIインタフェースのIDを設定する

SCSIインタフェースで接続した本機をコンピュータに認識させるために、番号（SCSI ID）を設定します。
本機を他のSCSI機器と併用していないときは、この設定は不要です。

SCSI IDの設定

本機のSCSI IDは、工場出荷時には「6」に設定されています。
コンピュータに接続しているその他のSCSI機器と本機のSCSI IDが重複する場合は、以下の手順にしたがい「SCSI ID」メニューを使ってSCSI IDを切り換えてください。
また、SCSI機器の終端を表すターミネータが本機には内蔵されており、ON（ターミネータON）に設定されています。
ユーザーメニューについての詳細は、第7章「ユーザーメニューについて」をご覧ください。


お願い

- ●コンピュータの電源を切った状態で本機のSCSI IDを設定してください。コンピュータの電源が入った状態でIDを切り換えても、コンピュータは認識しません。
- ●本機を他のSCSI機器と併用して接続（デイジーチェーン接続）している場合は、次のことにご注意ください。
  - ・他の機器のIDと重複しないように本機のIDを設定してください。重複した機器のデータを壊す恐れがあります。
  - ・他の機器のターミネータはOFF（ターミネータ無効）にしてください。本機および各機器が正常に動作しなくなることがあります。
  - ・本機でプリントするときは他の機器を使わないでください。正常にプリントできないことがあります。

1 [オンラインキー]を押して“オフライン”状態にします。

```
オフライン
```

2 [右矢印キー]を押して「メンテナンス」メニューを表示させ、[右または左矢印キー]を押して「パラメータ　セッテイ」メニューを選択します。

```
パ ラメータ  セッテイ
```

3 [下矢印キー]を押して「ゲンゴセッテイ」メニューを表示させ、[右矢印キー]を押して「SCSI ID」メニューを選択します。

```
パ ラメータ  セッテイ
   SCSI  ID
```

4 [下矢印キー]を押して「SCSI ID」メニューを表示させ、[右または左矢印キー]を押して選択するID番号にカーソルを移動させます。

```
SCSI  ID
   0   1   2   3   4   5  *6   7
```

5 [下矢印キー]を押して設定を確定します。

設定が終了すると、「SCSI ID 4 ニ セッテイ サレマシタ」というメッセージが表示され、メッセージディスプレイは手順3のメッセージに戻ります。[オンラインキー]を2回押してプリンタをオンライン状態にしてください。

```
レデ ィ
```

テストプリントする

本機には、プリント品質を確認するためにプリントチェックパターンが内蔵されています。以下の手順にしたがって、プリントチェックパターンをお使いください。

チェックパターンをプリントする

ユーザーメニューについての詳細は、第7章「ユーザーメニューについて」をご覧ください。

1 **A2サイズ以上の用紙とインクボトルがセットされていることを確かめます。（→ロール紙を交換する:p.4-9、カット紙を使う:p.4-20、インクボトルの交換のしかた:p.6-9）**

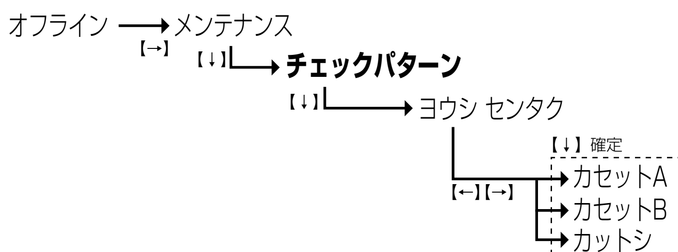
2 **[オンラインキー]を押してプリンタを“オフライン”状態にします。**

オフライン

3 **[右矢印キー]を押して「メンテナンス」を表示させます。**

メンテナンス

4 **下図の操作方法にしたがってユーザーメニューの「チェックパターン」を選択し、プリントする用紙を選択します。**





メモ

・チェックパターンのプリントにかかる時間は、約3分半です。

5 [下矢印キー]を押します。

メッセージディスプレイに次のようなメッセージが表示され、チェックパターンのプリントが始まります。



お願い

●チェックパターンのプリント中に、トップカバーをはじめとするすべてのカバー類（右下カバーを除く）やロール紙カセットを開けないでください。これらを開けると本機の安全機能がはたらいてすべての動作が停止するため、プリントが中止となり紙づまりの処理が必要になります。

チェックパ゜ターン　プ゜リントチュウ
・・・

6 チェックパターンのプリントが終了するとユーザーメニューの設定画面に戻ります。[オンラインキー]を2回押して、プリンタをオンライン状態にしてください。

プリンタドライバについて

本機には、Windows 98 / Windows 95 / Windows 2000 / Windows NT4.0、Macintoshに対応したプリンタドライバが用意されています。
このプリンタドライバをコンピュータにインストールしないとプリントできません。
プリンタドライバのインストール方法や持っている機能、プリントのしかたについては以下の説明書をご覧ください。

· Windows 98 / Windows 95をお使いの場合
　→「Windows 98 / Windows 95　プリンタドライバガイド」
· Windows 2000 / Windows NT 4.0をお使いの場合
　→「Windows 2000 / Windows NT 4.0　プリンタドライバガイド」
· Macintoshをお使いの場合
　→「Macintosh　プリンタドライバガイド」

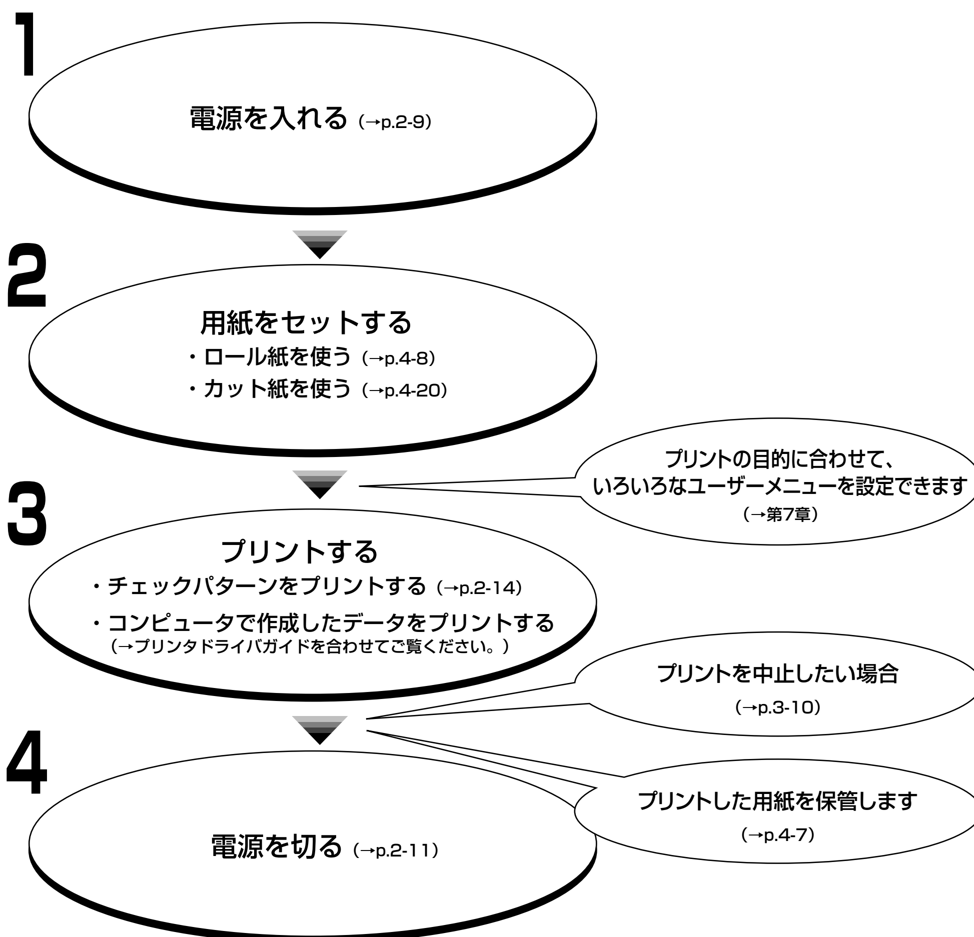
第3章

プリントにおける基本操作

この章では、プリントするにあたっての基本的な操作のしかたについて説明します。

プリントの手順

基本的なプリントのしかたは次のような操作手順になります。



プリントにあたってのこの他の操作については、次ページ以降で説明しています。目的に合わせてご覧ください。


メモ

・プリントデータを転送してもすぐにプリントが始まらないことがあります。これは、以前に一定時間プリントをおこなわなかったことを本機が自動で認識し、プリントヘッドの状態を良くするために自動でノズルのチェックおよびクリーニングをおこなっている状態です。この動作にかかる時間は通常は約1分ですが、プリントしていない時間が長かった場合には約3分半かかることがあります。


お願い

- ●プリント中に、トップカバーをはじめとするすべてのカバー類（右下カバーを除く）やロール紙カセットを開けないでください。これらを開けると本機の安全機能がはたらいてすべての動作が停止するため、プリントが中止となり排紙されます。
- ●プリントデータを転送してからプリントが始まるまでの間は、本機に衝撃を与えないでください。本機が自動でノズルチェックをおこなっている場合に、誤動作が生じることがあります。
- ●連続でプリントした後、幅の広い用紙に交換してプリントするときに限り、プリント時に幅が広くなった部分の用紙が汚れることがありますのでプリントする前にピンチローラを清掃してください。（→プリンタの清掃：p.9-3）

インクの残量を確認する

長尺プリントや連続プリントをおこなう場合、プリントの途中でインクがなくならないように、プリントを始める前にインクの残量を確認しておきます。

インク残量の確認のしかた


メモ

・プリントの途中でも、インクボトルを取り出すことができます。

インクの残量は、インクボトルを取り出してインクボトルに残っているインクの量を見て判断する方法と、メッセージディスプレイに表示されたメッセージを見て判断する方法の2通りがあります。
本機には、本体内部に予備タンクが設けられており、インクボトル内のインクが空になってからもB0サイズ（各色25%duty）の画像1枚分はプリントすることができます。
インクボトルを取り出す方法については、「インクボトルの交換のしかた（p.6-9）」の操作手順1～4にしたがってください。

●インクの量とプリントできる量の関係

新品のインクボトルをお使いの場合で、A0サイズ（各色25%duty）の画像を約205枚プリントすることができます。ただし、画像のパターンによってこのプリント枚数は変動するのでご注意ください。インクボトルに残っているインクの量が減ってきたときは、プリントしようとしている画像の内容やサイズに応じてインクボトルを交換してください。（→インクボトルの交換のしかた：p.6-9）
また、本体内部にある予備タンク内のインクがなくなってくると、インクがないことを示すメッセージがメッセージディスプレイに表示されます。この場合は、早めにインクボトルを交換してください。（→インクボトル交換の目安：p.6-7）

ロール紙をカットする

本機は、以下の3種類のロール紙カット機能を持っています。
● ロール紙の先端を自動でカットする機能（→p.3-4）
● プリント後にロール紙を自動でカットする機能（→p.3-4）
● マニュアル（手動）でロール紙をカットする機能（p.3-5）
ここでは、これら3つの機能について説明します。

ロール紙先端の自動カット機能


メモ

・ロール紙先端の自動カット機能をお使いにならないときは、ロール紙交換時にメッセージディスプレイに[ヨウシ セッテイ]が表示されたあと、上矢印キーを押してください。（→ロール紙を交換する→手順16：p.4-19）

ロール紙を交換したとき、自動でロール紙の先端を約95mmカットします。この機能により、ロール紙の先端をきれいに整えることができます。（→ロール紙を交換する→手順18：p.4-19）
また、必要に応じてさらにロール紙をカットしたいときは、「ロール紙のマニュアル（手動）カット機能」（→p.3-5）をご覧になり、ロール紙をカットしてください。

プリント後のロール紙自動カット機能


メモ

・プリント後のロール紙自動カット機能をお使いにならないとき、またオプションの巻き取り装置をお使いのときは、ユーザーメニューの「オートカット」メニューを「ナシ」に設定してください。「オートカット」メニューを「ナシ」に設定すると、ロール紙の連続プリントができます。（→オートカット：p.7-11、巻き取り装置の使いかた：p.11-3）
・ページの後端にお好きな長さの余白を作ってからロール紙をカットしたいときは、「オートカット」メニューを「ナシ」に設定し、「ロール紙のマニュアルカット機能」（→p.3-5）の操作手順にしたがってロール紙をカットしてください。

ロール紙を使ってプリントしているとき、プリントが終わると1ページごとに自動でロール紙をカットします。この機能により、便利なロール紙給紙で、カット紙のように用紙端がきれいに整った出力紙を得ることができます。

ロール紙のマニュアル（手動）カット機能

ロール紙のマニュアルカット機能には、次の 2 種類があります。
● 用紙先端をカットする（→p.3-5）
● プリント後のページ後端をカットする（→p.3-7）
マニュアルカットのしかたについては以下をご覧ください。

●用紙先端をカットする

ロール紙のロール表面が汚れているときなど、必要に応じて用紙の先端をお好きな長さでカットすることができます。

1 [オンラインキー] を押してプリンタを“オフライン”状態にします。

```
オフライン
```

2 [用紙送りキー]を押します。

3 メッセージディスプレイに次のメッセージが表示されます。[右または左矢印キー] を押してロール紙カセットを選択します。


メモ

・カセットA、Bのどちらか一方にしかロール紙が入っていない場合は、このメッセージは表示されません。

```
カセット　センタク
　A　B
```

4 [下矢印キー]を押して確定します。

選択されたカセットのロール紙が搬送されて停止します。


メモ

・先端自動カット分と同じ長さ（約95mm）のロール紙をカットしたい場合は、手順4 の操作をおこなったあと［排紙／カットキー］を押してください。ロール紙がカットされ、プリンタはオンライン状態になります。

5 メッセージディスプレイに次のメッセージが表示されます。[用紙送りキー]を押してロール紙を手前に送り出します。

```
ヨウシオクリ
```

次ページへ続く

6 [排紙/カットキー]を押してロール紙をカットします。

カットしたあと、ロール紙が自動でカセットの中に戻ります。

7 [オンラインキー]を押してプリンタをオンライン状態にします。

```
レディ
```

●プリント後のページ後端をカットする

ロール紙でプリントし終わったあと、ページの後端に余白を作ってロール紙をカットすることができます。この機能により、お好きなサイズの出力紙を得ることができます。
ページの後端余白を作るためには、プリントを始める前にあらかじめ「オートカット」メニューの設定を「ナシ」に設定しておいてください。(→オートカット：p.7-11)

1 **[オンラインキー]を押してプリンタを“オフライン”状態にします。**

オフライン

2 **[用紙送りキー]を押します。**



メモ

・その場でロール紙をカットしたい場合は、[用紙送りキー]ではなく[排紙/カットキー]を押してロール紙をカットしてください。そのあと、手順5の操作に進んでください。

3 **メッセージディスプレイに次のメッセージが表示されます。[用紙送りキー]を押してロール紙を手前に送り出します。**

ヨウシオクリ

4 **[排紙／カットキー]を押してロール紙をカットします。**

カットしたあと、ロール紙が自動でカセットの中に戻ります。

5 **[オンラインキー]を押してプリンタをオンライン状態にします。**

レデ゛ィ

余白を自由に作ってロール紙にプリントする

ロール紙でプリントするとき、プリントを始める前にお好きな長さでページの先端余白を作ったり、プリント終了後にページの後端余白を作ることができます。
ページ後端に余白を作ったあと用紙をカットしたい場合は、「ページ後端をカットする」（→p.3-7）をご覧ください。

余白の作りかた


メモ

・ページの後端余白を作るためには、プリントを始める前にあらかじめ「オートカット」メニューの設定を「ナシ」に設定しておいてください。（→オートカット：p.7-11）プリント後、手順1、2、5の順序で操作をおこなって後端余白を作ることができます。

1 [オンラインキー]を押してプリンタを“オフライン”状態にします。

```
オフライン
```

2 [用紙送りキー]を押します。

先端余白をお作りになるときは次の手順3の操作に、後端余白をお作りになるときは手順5の操作に進んでください。

3 メッセージディスプレイに次のメッセージが表示されます。[右または左矢印キー]を押してロール紙カセットを選択します。

```
カセット センタク
   A   B
```

4 [下矢印キー]を押して確定します。

選択されたカセットのロール紙が搬送されて停止します。


メモ

・プリント終了後にロール紙を送り出したあと、[排紙／カットキー]を押すとロール紙がカットされます。カットしたあと、ロール紙が自動でカセットの中に戻ります。

5 メッセージディスプレイに次のメッセージが表示されます。[用紙送りキー]を押してロール紙を手前に送り出します。

```
ヨウシオクリ
```

6 [オンラインキー]を押してプリンタをオンライン状態にします。

```
レディ
```

プリントを中止する

プリントの中止には、その場でプリントを中止する場合と、プリント中のページは最後までプリントして連続プリントを中止する場合の 2 通りがあります。
ここでは、これら 2 つのプリント中止のしかたについて説明します。

すぐにプリントを中止する

1 **プリント中に[キャンセルキー]を押します。**

プリンタはその場でプリント動作を一時停止します。

2 **メッセージディスプレイに次のメッセージが表示されます。**

```
キャンセルシマス　カクニン　↓
```



メモ

・ここで[上矢印キー]を押すと、プリントは中止されずプリント動作を再開します。ただし、プリント動作を中止した部分と再開した部分のつなぎ目で、画像ににじみなどの不具合が生じる場合があります。

3 **[下矢印キー]を押します。**

ロール紙をお使いの場合は、プリントしたところまでの用紙がカットされます。
カット紙をお使いの場合は、用紙が排紙されます。

連続プリントを中止する



メモ

・メッセージディスプレイに“ページカン ポーズ”が表示されているとき、[オンラインキー]をもう一度押すとプリント動作が再開します。

1 **プリント中に[オンラインキー]を押します。**

プリンタはそのままプリント動作を続け、現在のページのプリントが終了するとメッセージディスプレイに“ページカン ポーズ”が表示されます。

2 **[排紙／カットキー]を押します。**

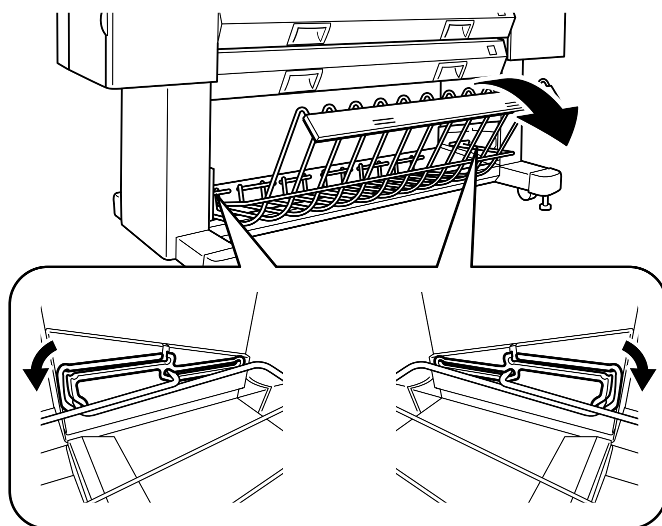
プリントしたところまでの用紙がカットされます。

用紙ストッパを使う

「オートカット」メニューを「アリ」に設定して、A0サイズ以下の用紙をプリントするときに、排紙された用紙が丸くなって取りにくくなることを防ぎます。
ただし、A0サイズより大きいサイズの用紙や巻き取り装置をお使いになる場合は、取り外してください。

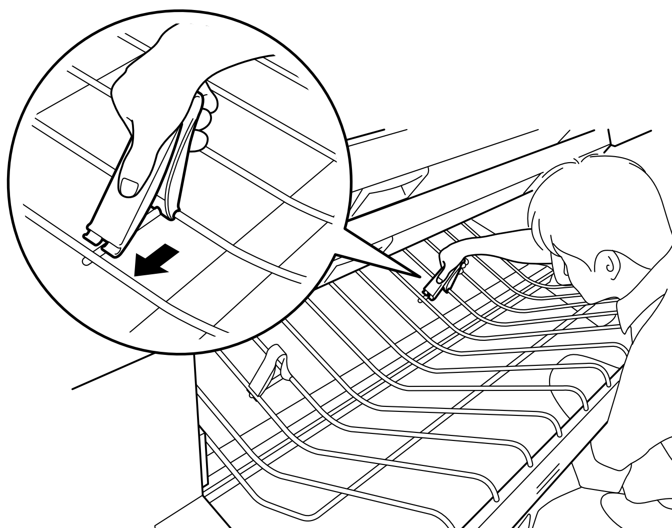
用紙ストッパの取り付けかた

1 スタッカを下図のように寝かせます。



2 用紙ストッパを下図に示した場所に取り付けます。

用紙ストッパの溝をスタッカのフレームに確実にはめてください。



3 スタッカを元の位置に戻します。

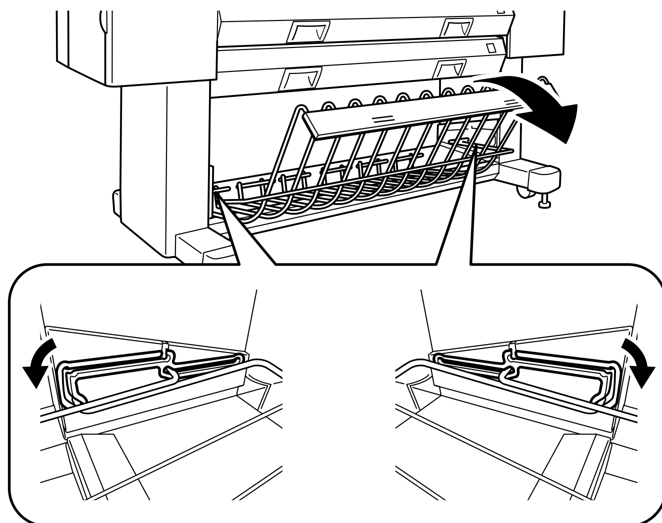


メモ

・スタッカの位置は、お使いになる用紙の種類によって異なります。「スタッカを使う」（→P.3-13）の指示にしたがって、スタッカを元に戻してください。

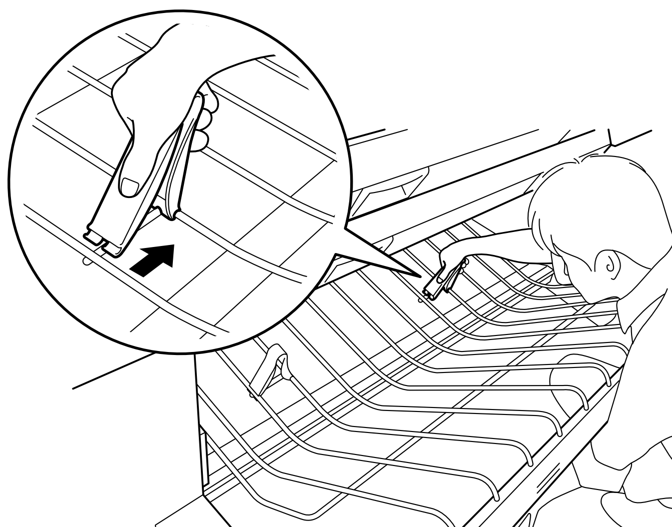
用紙ストッパの取り外しかた

1 **スタッカを下図のように寝かせます。**



2 **用紙ストッパを下図のようにスタッカから取り外します。**

取り外した用紙ストッパは大切に保管してください。



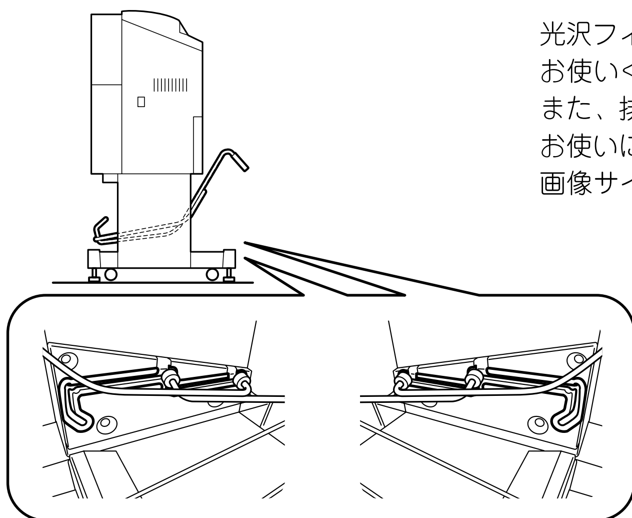
3 **スタッカを元の位置に戻します。**



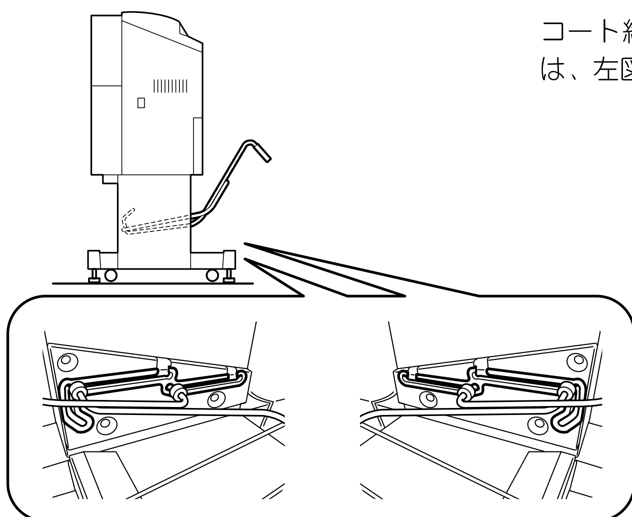
・スタッカの位置は、お使いになる用紙の種類によって異なります。「スタッカを使う」（→P.3-13）の指示にしたがって、スタッカを元に戻してください。

スタッカを使う

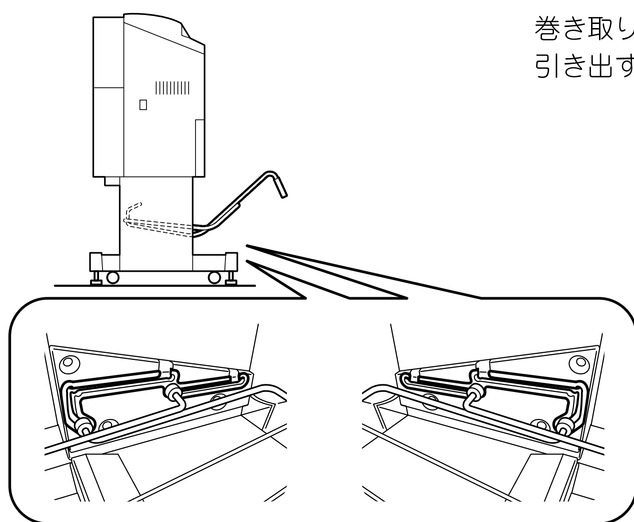
スタッカは、プリントした用紙を積載するためにあります。
ただし、用紙の種類やサイズ、使用環境によって積載できる枚数は異なります。用紙の種類によって、スタッカの位置を変えてお使いください。



光沢フィルムをお使いになるときは、左図の位置でお使いください。
また、排紙する際にはスタッカに用紙を１枚敷いてお使いになることをおすすめします。用紙サイズは画像サイズ以上のものをお使いください。



コート紙、光沢紙、半光沢紙をお使いになるときは、左図の位置でお使いください。



巻き取り装置をお使いになるときや、カセットBを引き出すときは、左図の位置でお使いください。

第4章

用紙について

この章では、本機でお使いになれる用紙の種類とサイズ、取り扱い方法と保管方法や、カット紙のセット方法、ロール紙の交換方法について説明します。

用紙の種類とサイズ

本機でお使いになれる用紙の種類とサイズについて説明します。
用紙についての詳細は、本機をお買い求めになった販売店または担当サービスにお問い合わせください。



●プリントの品質を維持するため、キヤノン推奨用紙をお使いになることをおすすめします。推奨紙以外のロール紙をお使いのとき、用紙を最後まで使い切ることができない場合があります。
●開封後の用紙は、湿気を避けるため包装紙にしっかりと包んで保管してください。

用紙の種類

本機は様々な用紙に対応していますが、お使いになる目的に対して適切な用紙を使用しないとプリントの品質が落ちることがあります。プリントの用途に合わせてお使いになる用紙をお選びください。

●コート紙
インクジェット用にコーティングされている用紙で、高発色かつ高濃度でありながらにじみの少ないプリントを実現できます。インクの吐出量の少ないイメージ画像を、鮮明にプリントするのに適しています。

●光沢紙
白色度の高い光沢のある用紙で、インクの吐出量の多い写真画を鮮明にプリントするのに適しています。

●半光沢紙
反射をおさえた白色光沢紙で、光沢紙に比べてソフトで落ち着いた表現が可能です。

●光沢フィルム
表面光沢が極めて高いフィルムで、インクの吐出量の多い写真画を鮮明にプリントするのに適しています。また、湿度に対する寸法安定性に優れています。



●光沢フィルムをお使いになるときは、スタッカに用紙を１枚敷いてから排紙することをおすすめします。用紙のサイズは、画像サイズ以上のものをお使いください。

用紙の種類と適性については、以下の表を参考にお使いください。

	印刷目的	コストメリット	つや・てかり	波打ちしにくい	耐久度
コート紙	POP・一般的なグラフィックス向き	◎	×	△	△
半光沢紙	カタログ向き	○	△	○	△
光沢紙		○	○	○	△
光沢フィルム	写真向き	△	◎	◎	○

用紙のサイズ

本機でお使いになれる用紙のサイズは次のとおりです。

用紙サイズ	幅X長さmm(inch)
ISO A	
A0* A1 A2	841×1189(33.1×46.8) 594×841(23.4×33.1) 420×594(16.5×23.4)
JIS B	
B0* B1 B2	1030×1456(40.6×57.3) 728×1030(28.7×40.6) 515×728(20.3×28.7)
ISO B	
B0* B1 B2	1000×1414(39.4×55.7) 707×1000(27.8×39.4) 500×707(19.7×27.8)
ANSI	
E* D C	863.6×1118(34×44) 558.8×863.6(22×34) 431.8×558.8(17×22)
ANSI ARCH	
E* E1* D C	914.4×1219(36×48) 762×1067(30×42) 609.6×914.4(24×36) 457.2×609.6(18×24)
DIN	
C0* C1 C2	917×1297(36.1×51.1) 648×917(25.5×36.1) 458×648(18×25.5)
Special	
m	540×790(21.3×31.1)

*** 縦置きのみプリントできます。**

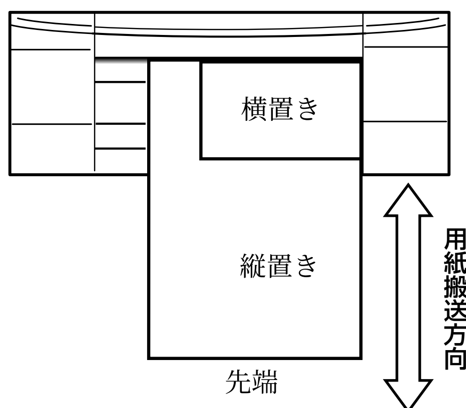


- ロール紙をお使いになってのバナー印刷でプリントできる長さは、1回のプリントにつき最大44mまでです。
- カット紙の最大用紙サイズは次のとおりです。
  幅　：1,092mm（43"）
  長さ：1,456mm（57"）
- カット紙の最小用紙サイズは次のとおりです。
  幅　：420mm（17"）
  長さ：420mm（17"）
- 用紙の厚さは、以下に示す範囲内のものをお使いください。
  0.1mm～0.24mm
- お使いになれる用紙のサイズは、お使いのドライバによって数値が変わることがありますのでドライバガイドを合わせてご参照ください。



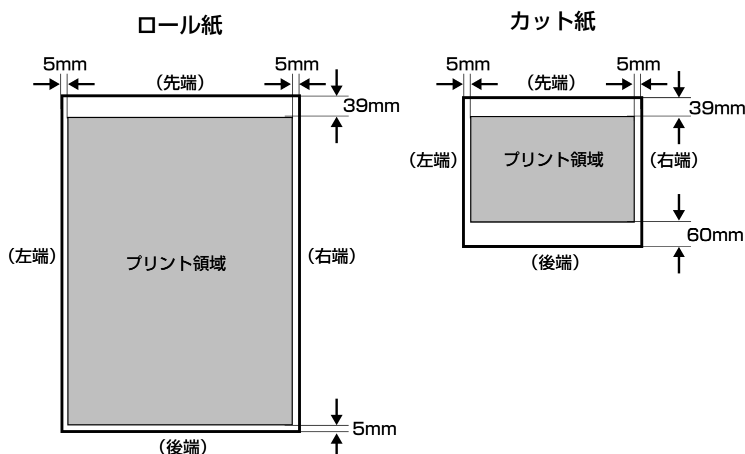
●ロール紙は外径130mm以下、内径51mm（2"）または76mm（3"）のものをお使いください。内径76mm（3"）のロール紙をお使いの場合は、オプションの76mm（3インチ）タイプのスピンドルを別途ご用意ください。

用紙の縦置き、横置きのセット位置はそれぞれ次のとおりです。



プリントできる領域

本機は、画像の品質を保証するために用紙の先端と後端、および左右両端にマージン（余白）を設けています。
マージンを除いたプリント可能領域は次のとおりです。



用紙の取り扱いと保管のしかた

用紙を取り扱う際の注意と用紙の保管方法について説明します。
プリントの品質を維持するためにも、用紙を取り扱う際には十分注意してください。

用紙の取り扱い上の注意

用紙を取り扱う際には次のことに注意してください。


メモ

・弊社推奨のロール紙は、外側がプリントする面になっています。内側がプリントする面になっているロール紙はお使いになれません。

● ロール紙の巻き具合が乱れていると、用紙をうまく送らない場合があります。ロール紙の巻き具合を整えてからお使いください。
● ロール紙の先端が水平になっていないと用紙をうまく送らない場合があります。カッターで用紙をカットし、先端を整えてからお使いください。
● カット紙はプリントする面を下にしてセットしてください。コート紙はコーティングされている面がプリント面です。
● カールしたカット紙をお使いになると紙づまりの原因となるので、カールを直してから本機に取り付けてください。
● 用紙を取り扱う際は用紙の端を持つようにしてください。プリントされる部分に皮膚の脂が付くと、プリントの品質が低下する場合があります。特にフィルム用紙を取り扱う際は十分注意してください。綿製の手袋を着用することをおすすめします。
● 用紙は機内に1週間以上放置しないでください。紙づまりやプリント品質の低下の原因となる場合があります。
● プリント後は30分以上放置してください（24時間程度乾燥させることをおすすめします）。
  ＊ 色の濃い画像をプリントした場合、画像がはっきりしないことがありますが、30分程度で正常な発色になります。
● ドライヤなどの熱や直射日光での乾燥は避けてください。
● プリント後は十分に乾燥させてから、高温・多湿・直射日光を避け、一般的な室温環境で保存してください。特に、オプションの巻き取り装置をお使いの場合、乾燥が不十分な状態で用紙を巻き取ると、にじみや画像汚れの原因になるのでご注意ください。
● 用紙を折り曲げたり印刷面に傷をつけないようにしてください。プリント面はこすり傷がつきやすいため、プリント面をこすらないように注意してください。

用紙の保管のしかた

用紙を保管する際には次のことに注意してください。



・長尺プリントをおこなうときは、オプションの巻き取り装置をお使いになると保管しやすくなります。

●いったん開封した用紙は、直射日光を避けるため包装紙にしっかりと包んで保管してください。
●ロール紙は立てかけると用紙の端が傷むため、必ず横に寝かせて保管してください。

<プリント後の用紙の保管方法>

用紙にプリントされた画像は、外気・光などの環境条件により変色（退色）の度合いが異なります。空気に触れる割合が低いほど変色（退色）の可能性が低くなります。変色（退色）を防止し、プリントした画像をより長持ちさせるために以下の保存方法をおすすめします。

●屋外や直射日光のあたる場所での掲示・展示は避けてください。
●図面などを保管するハンガータイプのクリアファイルやガラス額に入れるか、ラミネート加工をして直接空気に触れないようにしてください。
●クリアファイルに入れたりラミネート加工をして保存すると、空気・光の影響を押さえることができるため、画像を長持ちさせることができます。



●用紙は、温度や湿度が上昇すると強度が低下します。また、温度や湿度の変化に伴い絶対寸法も変わります。これらは、プリント中の用紙のズレ、シワの発生、破れなどの原因になります。

4

ロール紙を使う

ロール紙を本機に取り付けてロードさせるまでの手順について説明します。

 注意

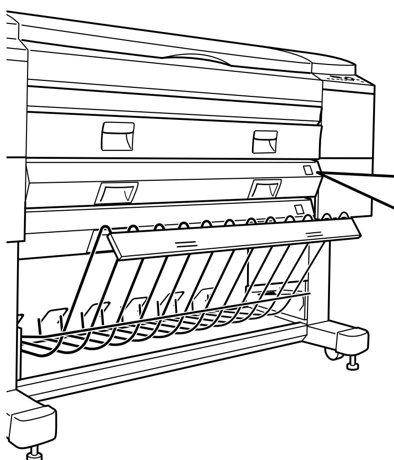
- 用紙をセットするときは、用紙の端で手を切ったりしないように注意してください。
- 用紙をロードしているときは機械の中に手を入れないでください。内部で機械が駆動しているため、けがの原因になることがあります。

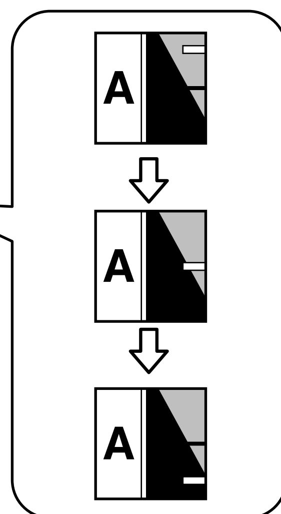
ロール紙を交換する目安



・ロール紙カセットを引き出すたびに用紙種類の設定が必要になるので、ロール紙を交換するとき以外はむやみにカセットを引き出さないでください。誤ってカセットを引き出してしまった場合は、[上矢印キー]を押すと用紙設定メニューの階層を抜けることができます。

本機にはロール紙残量窓が付いており、ロール紙カセットを引き出さなくてもロール紙の残量を見ることができます。
ロール紙の残量によってロール紙残量窓が次のように変化するので、プリントするときやロール紙を交換するときの目安にお使いください。（下図の中央の指針の位置は、76mm（3インチ）紙管の用紙なしの位置で、下図の下の指針の位置は51mm（2インチ）紙管の用紙なしの位置です。）





ロール紙を交換する


メ モ

・ロール紙の種類やサイズについては「用紙の種類とサイズ」（→P.4-2）をご覧ください。
・ロール紙カセットを引き出すたびに用紙種類の設定が必要になるので、ロール紙を交換するとき以外はむやみにカセットを引き出さないでください。誤ってカセットを引き出してしまった場合は、［上矢印キー］を押すと用紙設定メニューの階層を抜けることができます。
・オプションのスピンドルを数本ご用意いただくと、ロール紙を交換する際にスピンドルごと交換できるので便利です。（スピンドル：P.1-2）
・「オートカット」メニューを「アリ」に設定して、A0サイズの用紙でプリントするときは、用紙ストッパをお使いになることをおすすめします。（用紙ストッパを使う：P.3-11）
・本機のプリンタドライバにはロール紙カセットの上下段自動切換え機能があり、キヤノン推奨用紙をお使いの場合、この機能を使うことができます。詳しくはプリンタドライバガイドをご覧ください。

ロール紙がなくなったとき、および他の種類やサイズのロール紙に交換するときは、以下の手順にしたがってください。


注意

●ロール紙は重いので、取り扱いには十分に注意してください。また、ロール紙を交換するときにはロール紙カセットに手を挟まないように注意してください。

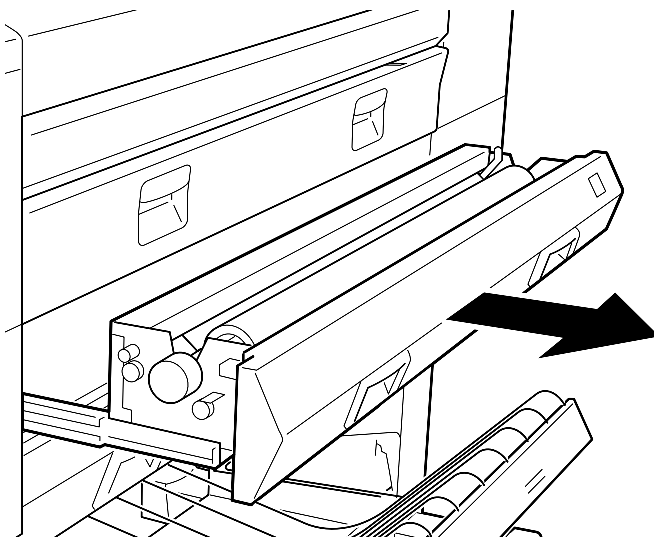

お願い

●プリントの品質を維持するため、キヤノン推奨のロール紙をお使いになることをおすすめします。
●電源が切れている状態でロール紙を交換しないでください。プリントの品質が低下する原因になります。
●ロール紙は外側がプリントする面になっています。ロール紙をセットするときは、なるべくプリント面に触れないようにしてください。プリントされる部分に皮膚の脂が付くと、プリントの品質が低下する場合があります。
●給紙中やプリント中にロール紙カセットを開けないでください。カセットを開けると本機の安全機能がはたらいてすべての動作が停止するため、給紙動作やプリントが中止となり紙づまりの処理が必要になります。

1 メッセージディスプレイに“レディ”または“オフライン”が表示されていることを確認します。

表示されていない場合は、［オンラインキー］を押してください。

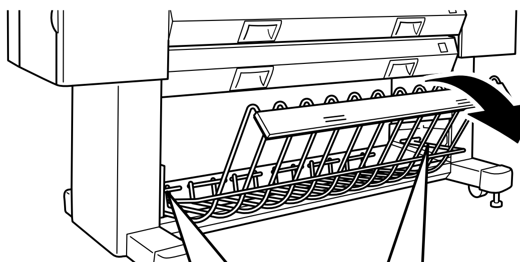
2 ロール紙カセットの把手を持ち、手前にそのまま止るところまで静かに引き出します。

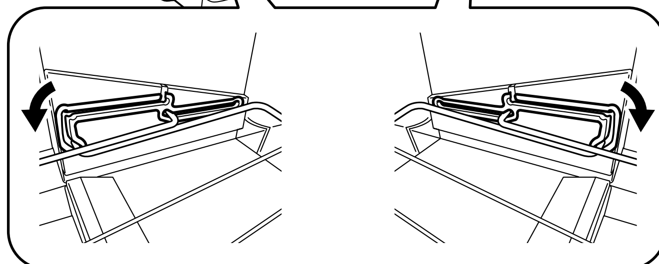




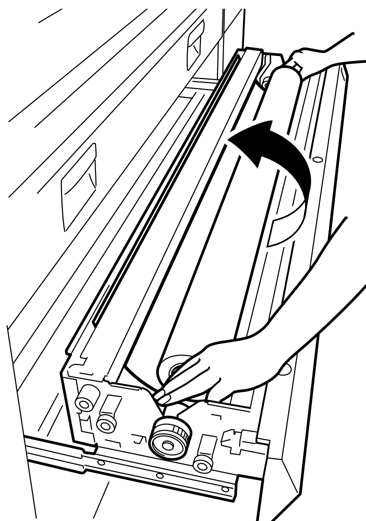
お願い

●ロール紙カセットBを引き出すときは、スタッカを下図のように寝かせてからカセットを引き出してください。
（→スタッカを使う：P.3-13）



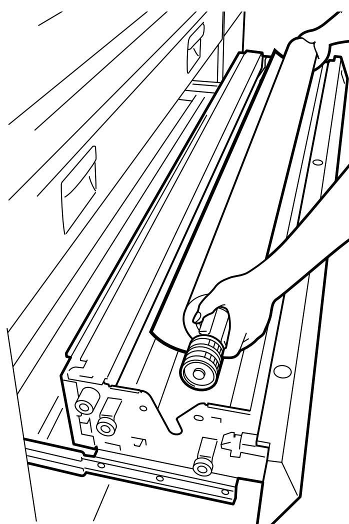


3 スピンドルを下図の方向に回してロール紙を巻き取ります。



4 スピンドルの両端を持ってロール紙をスピンドルごと取り外します。

転がらないように注意しながらスピンドルを平らな場所に置きます。



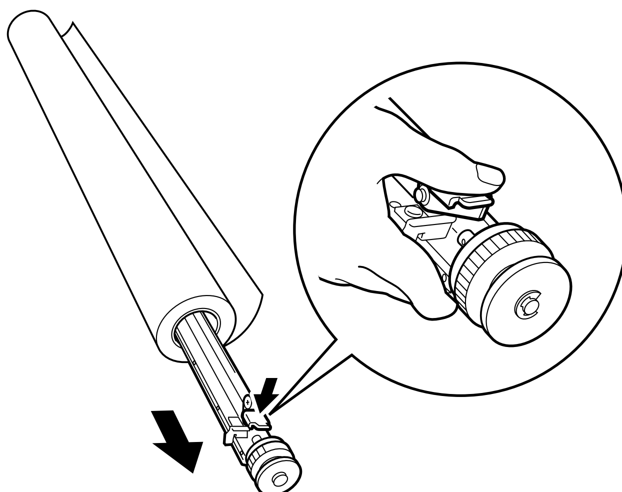
次ページへ続く


メモ

・取り外したロール紙の保管方法については「用紙の保管のしかた」（→P.4-7）をご覧ください。

5 ロール紙固定レバーを押しながらスピンドルをロール紙から引き抜きます。

スピンドルは、ロール紙固定レバー側に引き抜いてください。



6 新しいロール紙を用意します。

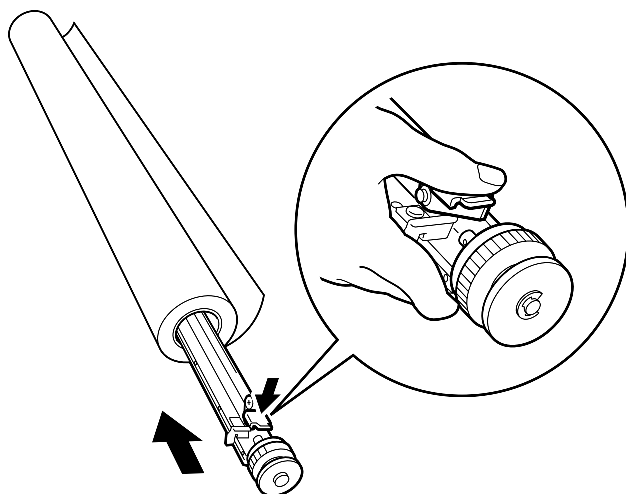

お願い

●ロール紙は外径130mm以下のものをお使いください。尚、内径51mm（2"）のロール紙をお使いの場合は51mm（2インチ）タイプのスピンドルを、また内径76mm（3"）のロール紙をお使いの場合は76mm（3インチ）タイプのスピンドルをロール紙に取り付けてお使いください。76mm（3インチ）タイプのスピンドルはオプションとして用意されています。

●使いかけのロール紙をセットするときは、2m以上用紙が残っていることが必要です。

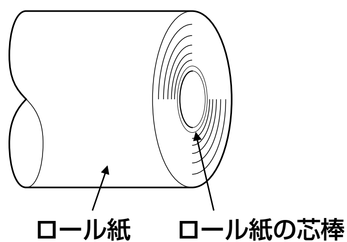
7 ロール紙の巻き方向に注意して、ロール紙固定レバーを押しながらスピンドルを新しいロール紙に差し込みます。

スピンドルのストッパーがロール紙管に突き当たるまでスピンドルをロール紙に差し込んでください。



このとき、ロール紙の断面がきちんと整っていることを確かめてください。

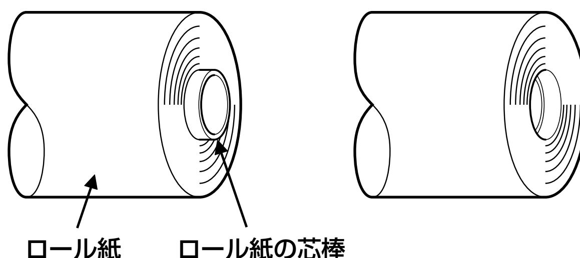
〈きちんと断面が整っている状態〉



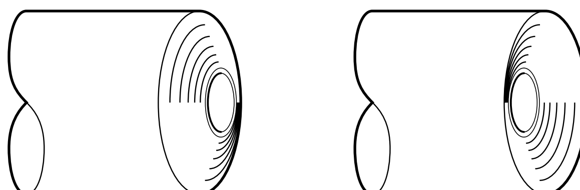
次ページへ続く

使用するロール紙が次のような状態になっているときは、正しくプリントできないことがあります。本機に取り付ける前にロール紙の左右の断面を整えてください。

〈ロール紙の芯棒がロール紙の断面からずれている〉



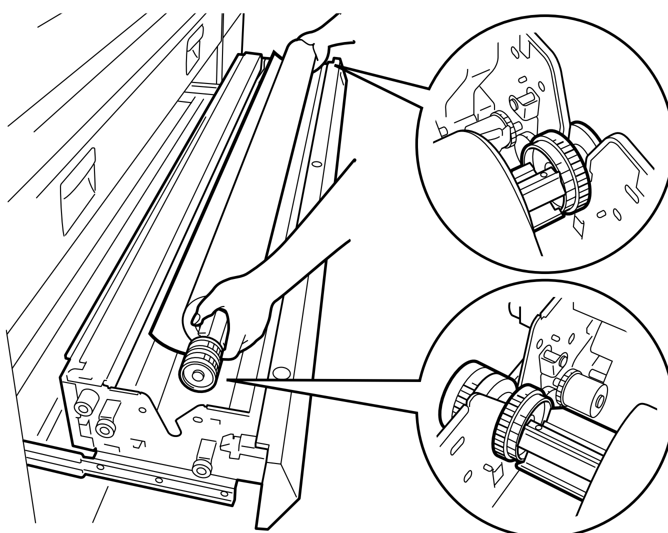
〈ロール紙の巻き取りが乱れている〉



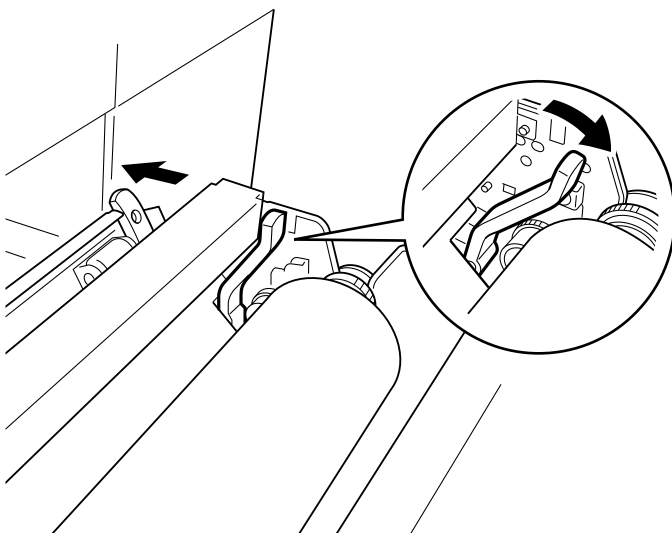
8 スピンドルの青色のローラーをロール紙カセット右側の溝にセットしたあと、左側のローラーを同じようにセットします。

 **注意**

●ロール紙をカセットにセットするときは、スピンドルの固定レバーとロール紙管の間に指を挟まないように注意してください。けがの原因になります。



9 ペーパーリリースレバーを手前側に引いてペーパー押さえを解除します。



10 カセット奥のガイド板から先端が出てくるまでロール紙を挿入します。

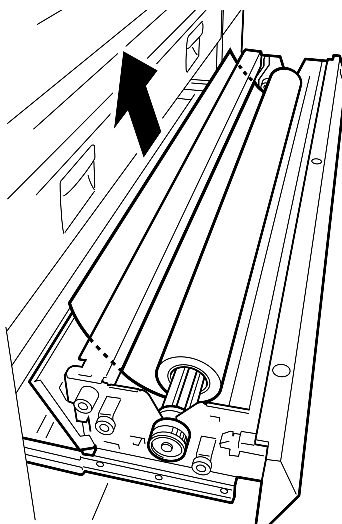


メモ

・用紙の先端をいったん30cm程引き出して、巻いてあるロール紙をたるませてから先端を挿入すると簡単に挿入できます。

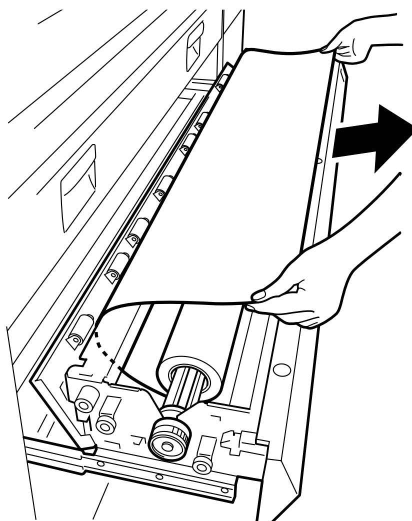


注意 ●用紙をセットするときは、用紙の端部で指を切らないように注意してください。

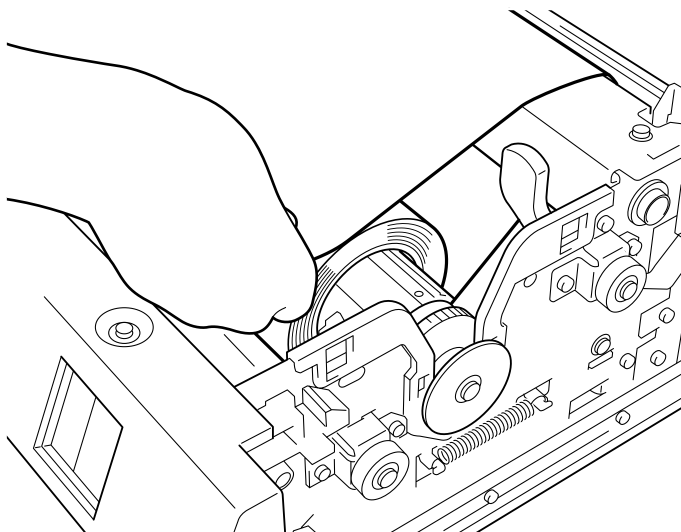


次ページへ続く

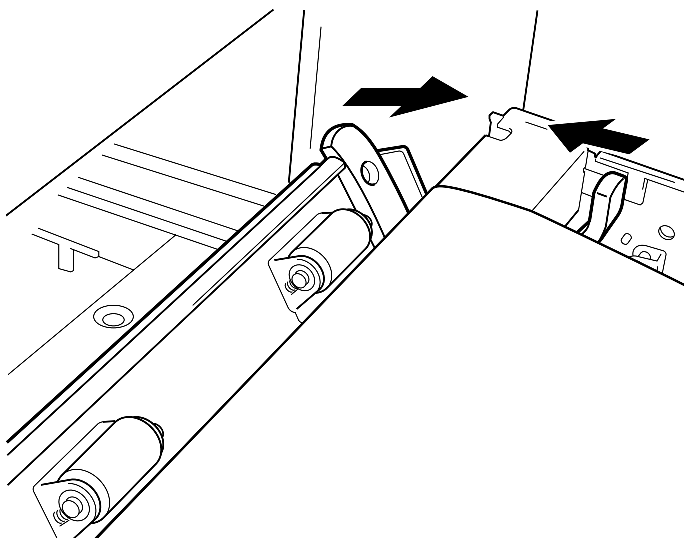
11 ロール紙先端の左右をつまんでロール紙を引き出します。



12 引き出した用紙をピンと張って、左右両端をロール紙の両端に合わせます。



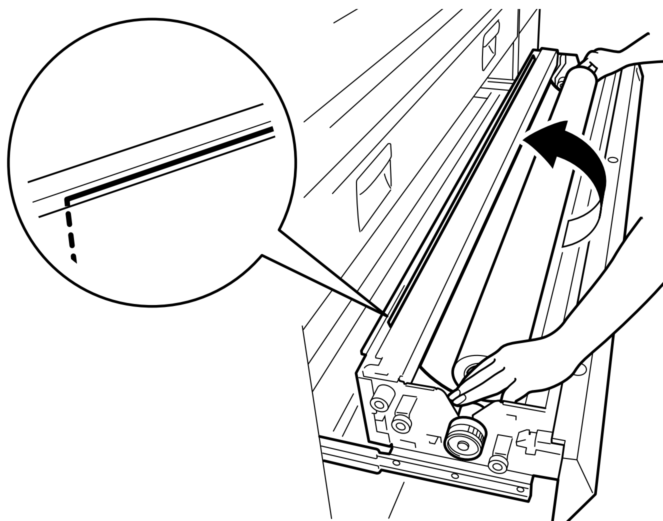
13 左手で用紙の先端中央部を持ちながら、右手でペーパーリリースレバーとペーパーセットレバーを挟み、カチンという手応えがあるまでペーパー押さえを閉めます。



14 スピンドルを下図の方向に回してロール紙を巻き取り、用紙の先端がペーパー押さえの内側にちょうど隠れるくらいのところで止めます。


お願い

●用紙の先端が水平になっていないときは、「用紙がつまったとき」（→p.10-29）の手順13にしたがってカッターで用紙をカットし先端を整えてください。先端が水平になっていないと正常に給紙できないことがあり、紙づまりの原因になります。

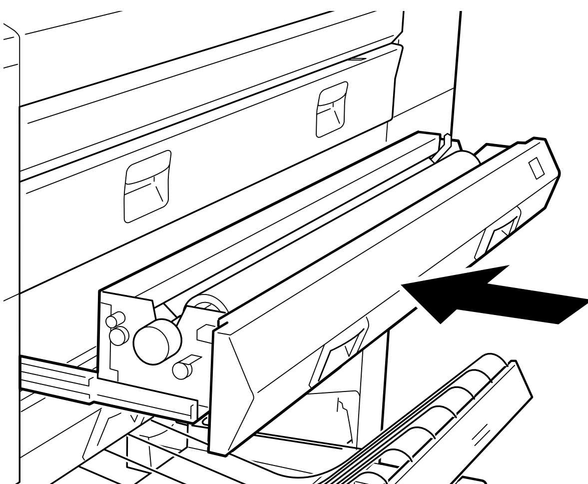


次ページへ続く

15 ロール紙カセットを閉めます。

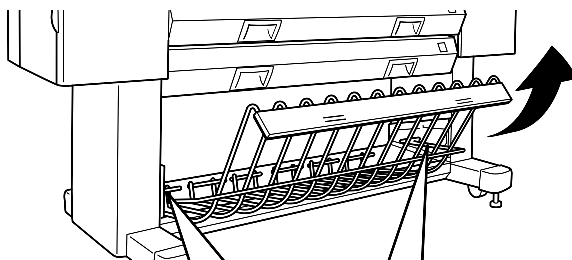

お願い

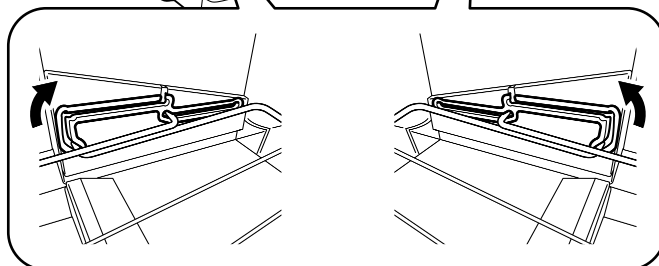
●ロール紙カセットは確実に閉めてください。
確実に閉まっていないと用紙が給紙されません。




お願い

●ロール紙カセットBを引き出してロール紙を交換した場合は、カセットを閉めたあと必ず下図のようにスタッカを元に戻してください。元に戻っていないと、プリント後の用紙がスタッカの中に排紙されません。






メモ

・スタッカの位置は、お使いになる用紙の種類によって異なります。「スタッカを使う」（→P.3-13）の指示にしたがって、スタッカを元に戻してください。

16 メッセージディスプレイに用紙の種類を設定するメッセージが表示されます。

```
ロールシカセットA　ヨウシ　セッテイ
　　コートシ
```

17 [右矢印キー]を押して適切な用紙種類を選択し、[下矢印キー]を押して確定します。


お願い

●ここで設定した用紙の種類は、プリンタドライバの設定画面で見られるようになっています。ドライバで用紙の種類を設定するときに参考にする値なので、設定を間違えないように注意してください。詳しくはプリンタドライバガイドをご覧ください。

18 自動的に用紙が搬送され、先端をきれいに整えるために用紙がカットされます。

ロードが終了するとロール紙はカセット内に巻き戻されます。セットしたロール紙のカセットランプが緑色に点灯し、プリントできる状態になります。（→プリントの手順：p.3-2）

用紙がまっすぐにセットされていない場合は、メッセージディスプレイに「ﾛｰﾙｼｶｾｯﾄAｶﾞ ｷｭｳｼﾃﾞｷﾏｾﾝ ﾖｳｼｦ ｻｲｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ」のメッセージ が表示され、給紙動作が停止します。「メッセージ2の紙づまりの処理のしかた」（→p.10-30）にしたがって用紙を取り除いてください。そのあと、手順 1 の操作に戻り、ロール紙をセットし直してください。（→p.4-9）


メ モ

・自動でカットされる用紙の長さは約95mmです。


お願い

●キヤノン推奨のロール紙以外の用紙をお使いになる場合は、用紙の品質を維持するためにユーザーメニューの「ヨウシオクリ　セッテイ」メニューの設定をおこなってください。
（→ロール紙の品質維持機能を設定する：p.7-19）

ロール紙の取り付け作業は完了です。

次ページへ続く

カット紙を使う

カット紙を本機に取り付けてロードさせるまでの手順について説明します。

 注意

●用紙をセットするときは、用紙の端で手を切ったりしないように注意してください。



お願い

●プリントの品質を維持するため、キヤノン推奨のカット紙をお使いになることをおすすめします。

カット紙をセットする

カット紙のセットのしかたとロードのしかたについて説明します。



メモ

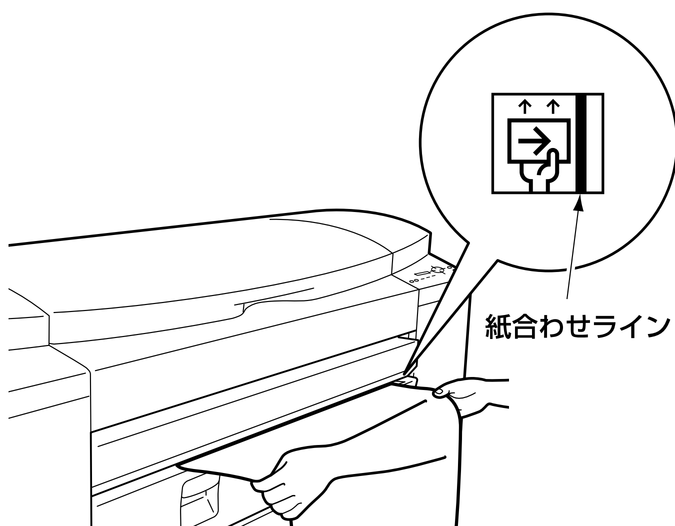
・カット紙の種類やサイズについては、「用紙の種類とサイズ」（→P.4-2）をご覧ください。
・「オートカット」メニューを「アリ」に設定して、A0サイズの用紙でプリントするときは、用紙ストッパをお使いになることをおすすめします。（用紙ストッパを使う：P.3-11）

1 **カット紙のプリント面を下にして用紙の両端を持ち、カット紙挿入口の紙合わせラインの左端に用紙の右端を合わせて用紙を挿入します。**



お願い

●カット紙をセットするときは、なるべくプリント面に触れないようにしてください。プリントされる部分に皮膚の脂が付くと、プリントの品質が低下する場合があります。
●データの印字方向とカット紙の方向（縦置き／横置き）を合わせて用紙をセットしてください。
●用紙が紙合わせラインの左端に合っていないと、給紙されません。



2 用紙が自動的に給紙され、プリント開始位置にセットされます。

ロードが終了すると、手差しランプが緑色に点灯し、プリントできる状態になります。
（→プリントの手順：p.3-2）

用紙が詰まった場合は、メッセージディスプレイに「ｶｯﾄｼ ｶﾞ ﾂﾏﾘﾏｼﾀ ﾖｳｼｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ」のメッセージが表示され、給紙動作が停止します。「メッセージ3の紙づまりの処理のしかた」（→p.10-32）にしたがって用紙を取り除いてください。そのあと、手順1の操作に戻り、用紙をまっすぐにセットし直してください。（→P.4-20）

カット紙の取り付け作業は完了です。

第5章

よりきれいに
プリントするために

この章では、よりきれいにプリントするために必要な操作について説明します。

紙間を設定する

お使いの用紙の種類によっては、写真など高濃度のプリントをした場合、用紙が波うってしまうことがあります。波うった用紙がヘッド部に接触すると、インクが乾ききっていないプリント面がこすれてプリント品質が低下したりヘッド部に傷がつく可能性があるため、紙間選択レバーを使ってヘッド部と用紙の間隔を広げます。



●必要なとき以外は、ヘッド部と用紙の間隔を広げないでください。プリントの品質が低下する場合があります。

紙間の設定のしかた

紙間選択レバーを使いプリントヘッドの高さを上げて、ヘッド部と用紙の間隔を広げます。紙間は2種類で設定できます。

レバーの向き	プリント面との距離
上向き	標準の間隔です。通常はレバーをこの向きに合わせておきます。
横向き	プリント面とヘッド部との間隔が広がります。用紙が浮き上がってプリント面とヘッド部がこすれるとき、この位置に合わせます。

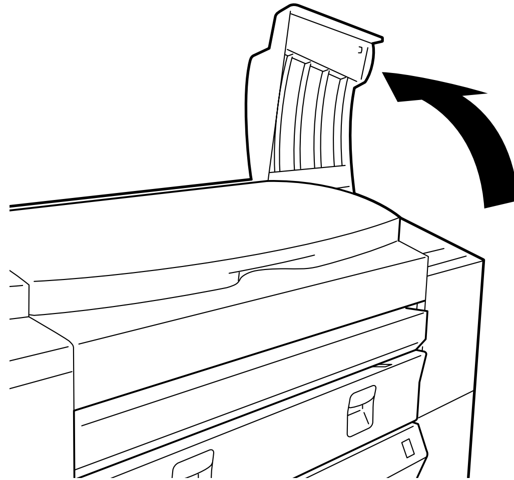


●ヘッド部がこすれるとヘッドの寿命を低下させるため、必ずレバーの位置を横向きにセットしてお使いください。

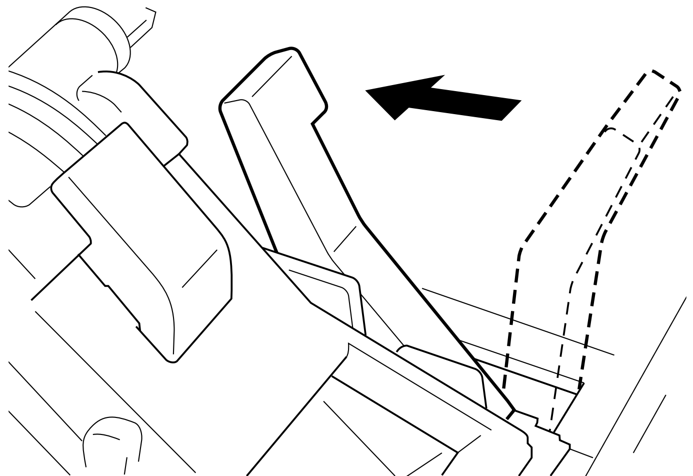
1 [オンラインキー]を押して、プリンタを“オフライン”状態にします。

```
オフライン
```

2 右上カバーを開けます。

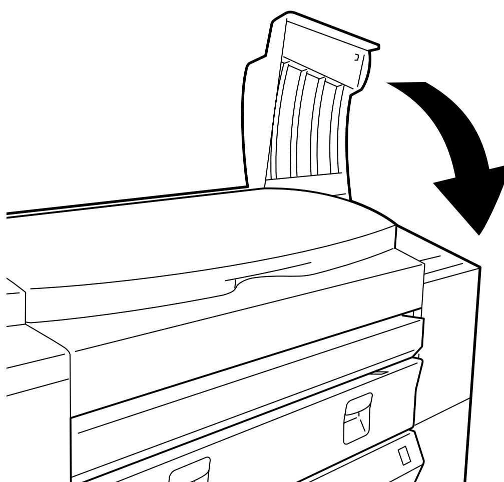


3 キャリッジ右側にある紙間選択レバーを止まるところまで動かして、用紙とヘッド部の間隔を広げます。



次ページへ続く

4 右上カバーを閉じます。





●プリントの品質を維持するため、紙間を選択したあとは印字位置の自動調整をおこなうことをおすすめします。（→印字位置の自動調整のしかた：p.5-10）

5 [オンラインキー]を押してプリンタをオンライン状態にします。

レディ

ヘッドのノズルチェック

本機は、プリントヘッドのノズルが目づまりしないように定期的に自動でノズルのクリーニングをおこなっています。
この機能をお使いになっていても、プリントした画像がかすれていたり白いすじが現れたときは、チェックパターンのプリントをおこなってノズルがつまっていないかを確認してください。

ノズルチェックのしかた

以下の手順にしたがってチェックパターンをプリントし、ノズルのチェックをおこなってください。

1 **ロール紙またはカット紙をセットします。**

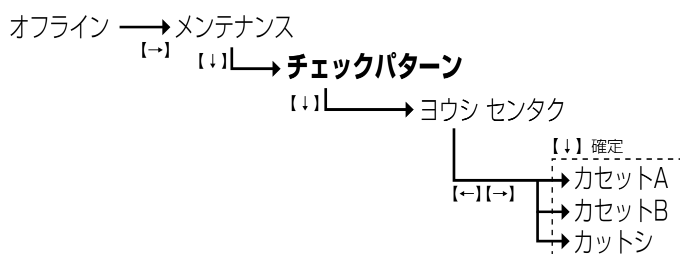
（→ロール紙を使う：p.4-9、カット紙を使う：p.4-20）

2 **[オンラインキー]を押してプリンタを“オフライン”状態にしたあと、[右矢印キー]を押して「メンテナンス」を表示させます。**



・［上矢印キー］を押すと、一つ前のメニューに戻ります。

3 **下図の操作方法にしたがって、ユーザーメニューの「チェックパターン」を選択し、プリントする用紙を選択します。**



次ページへ続く


メモ

・チェックパターンのプリントを中止したいときは、［キャンセルキー］を押したあと［下矢印キー］を押してプリントを中止してください。（→プリントを中止する：p.3-10）

4 **［下矢印キー］を押します。**

メッセージディスプレイに次のようなメッセージが表示され、チェックパターンのプリントが始まります。


お願い

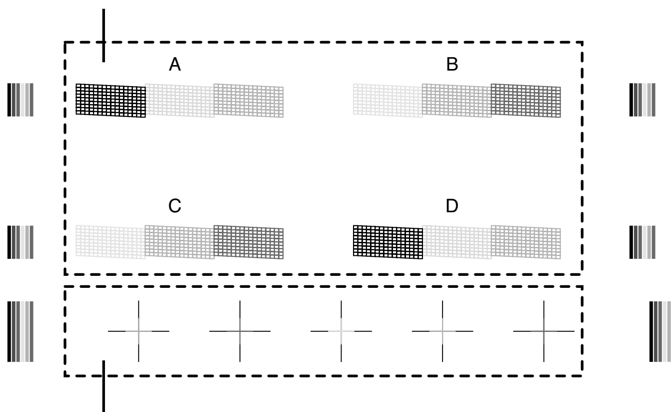
●プリント中に、トップカバーをはじめとするすべてのカバー類（右下カバーを除く）やロール紙カセットを開けないでください。これらを開けると本機の安全機能がはたらいてすべての動作が停止するため、プリントが中止となり排紙されます。

チェックパ゜ターン　プ゜リントチュウ


5 **チェックパターンのプリントが終了するとユーザーメニューの設定画面に戻ります。［オンラインキー］を2回押して、プリンタをオンライン状態にしてください。**

●プリントされる内容

６色分のパターンがプリントされます。プリントされる内容は、次のようになっています。



A～Dのパターンは、4つのプリントヘッドそれぞれのノズルの状態を表しています。

●A～Dで横の線が欠けてプリントされたときは（ノズルの状態をチェックするパターン）

プリントヘッドのノズルがつまっている可能性があります。該当する色のヘッドクリーニングをおこなってノズルを回復させてください。（→ヘッドのクリーニング：p.5-8）

●縦横の黒とカラーの線がまっすぐにつながっていないときは（印字位置をチェックするパターン）

カラーの印字位置が黒色の印字位置と合っていません。「ヘッドイチ　チョウセイ（ジドウ）」メニューを使って、印字位置の調整をおこなってください。（→印字位置の調整：p.5-10）



ヘッドのクリーニング

ノズルのチェック（→p.5-5）をおこなって横の線が欠けていたりパターンがプリントされなかった場合、プリントヘッドのノズルがつまっている可能性があります。このようなとき、プリントヘッドのクリーニングをおこなってノズルを回復させせます。



メモ

· ヘッドのクリーニングはインクを消費します。不必要なクリーニングをおこなわないでください。
· クリーニング動作が始まったら中止することはできません。

クリーニングのしかた

ユーザーメニューで「クリーニング」を選択して、プリントヘッドのクリーニングをおこないます。
ユーザーメニューについての詳細は、第7章「ユーザーメニューについて」をご覧ください。

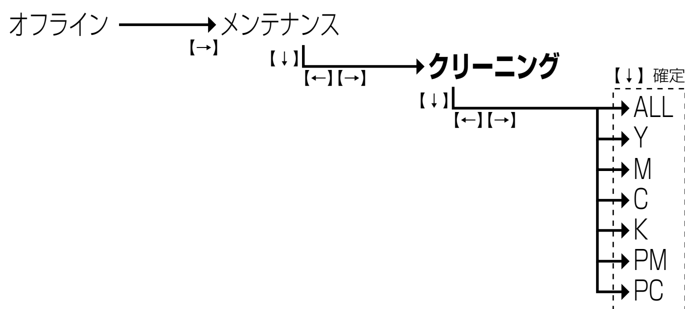
1 **[オンラインキー] を押してプリンタを“オフライン”状態にしたあと、[右矢印キー] を押して「メンテナンス」を表示させせます。**



メモ

· [上矢印キー]を押すと、一つ前のメニューに戻ります。
· すべての色のノズルがつまっている場合のみ「ALL」を選択してください。

2 **下図の操作方法にしたがってユーザーメニューの「クリーニング」を表示させ、クリーニングする色を選択します。**




メモ

・クリーニングの動作時間は、約2分〜3分です。

3 [下矢印キー]を押します。

メッセージディスプレイに次のようなメッセージが表示され、クリーニング動作が始まります。


お願い

●クリーニング動作中に、トップカバーをはじめとするすべてのカバー類（右下カバーを除く）やロール紙カセットを開けないでください。これらを開けると本機の安全機能がはたらいてすべての動作が停止するため、クリーニング動作が中止されます。

```
ト゛ウサチュウ
```

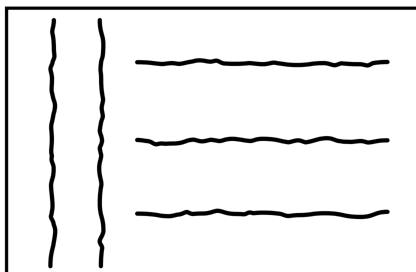
4 テストプリントをおこなってノズルの目づまりが改善されたかを確認します。（→ヘッドのノズルチェック：p.5-5）

クリーニングを１回おこなっただけではノズルの目づまりが回復しないときがあります。チェックパターンのプリント結果が改善されていない場合は、ヘッドのクリーニングを最大3回まで繰り返してみてください。（→ヘッドのノズルチェック：p.5-5）
それでもノズルの目づまりが回復しないときはプリントヘッドの寿命だと考えられます。この場合には、プリントされなかったパターンの記号に該当するプリントヘッドを交換してください。プリントヘッドは、左からA、B、C、Dの順になっています。（→BJプリントヘッドの交換のしかた：p.6-14）

5 ヘッドクリーニングが終了するとユーザメニューの設定画面に戻ります。[オンラインキー]を2回押して、プリンタをオンライン状態にしてください。

印字位置の調整

プリントの品質を維持するため、プリントヘッドを交換したあとや紙間の設定を変更したあとは印字位置の自動調整をおこなってください。また、プリントした画像で下図のように直線がまっすぐに見えないときも、印字位置の調整をおこなって修復することができます。
通常は自動調整をお使いください。自動調整で正確に調整できなかったときは手動調整をお使いください。



●印字位置の自動調整について→p.5-10
●印字位置の手動調整について→p.5-12

印字位置の自動調整のしかた

ユーザーメニューで「ヘッドイチ チョウセイ（ジドウ）」を選択して、印字位置の自動調整をおこないます。
ユーザーメニューについての詳細は、第7章「ユーザーメニューについて」をご覧ください。

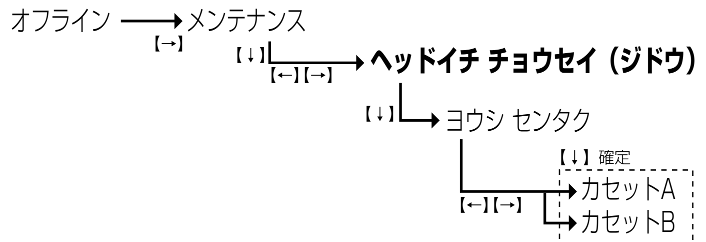
1 **ロール紙をセットします。**
（→ロール紙を使う：p.4-8）

2 **[オンラインキー]を押してプリンタを“オフライン”状態にしたあと、[右矢印キー]を押して「メンテナンス」を表示させます。**


メモ

・[上矢印キー]を押すと、一つ前のメニューに戻ります。

3 **下図の操作方法にしたがってユーザーメニューの「ヘッドイチ チョウセイ（ジドウ）」を選択し、プリントする用紙を選択します。**



4 **[下矢印キー]を押します。**

メッセージディスプレイに次のようなメッセージが表示され、印字位置の自動調整パターンのプリントが始まります。プリントが終わると、プリンタの内部でパターンの画像を読み込んで自動的に印字位置の調整を始めます。


お願い

●調整中に、トップカバーをはじめとするすべてのカバー類（右下カバーを除く）やロール紙カセットを開けないでください。これらを開けると本機の安全機能がはたらいてすべての動作が停止するため、調整が中止となり排紙されます。

```
チョウセイチュウ
```

・・・

5 **調整が終了するとユーザーメニューの設定画面に戻ります。[オンラインキー]を2回押して、プリンタをオンライン状態にしてください。**

プリントされた十字のパターンを見て、縦横の黒とカラーの線がまっすぐにつながっていない場合は印字位置が正確に調整されていないことを表しています。この場合は印字位置の手動調整をおこなってください。（→印字位置の手動調整のしかた：p.5-12）
また、メッセージディスプレイに次のようなメッセージが表示されたときは、「ヘッドのクリーニング」（→p.5-8）に従ってヘッドのクリーニングを行ってください。

```
ﾍｯﾄﾞ ｦ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ  ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｶｸﾆﾝ ↓
```

印字位置の手動調整のしかた

ユーザーメニューで「ヘッドイチ チョウセイ（ユーザー）」を選択して、印字位置の手動調整をおこないます。
ユーザーメニューについての詳細は、第7章「ユーザーメニューについて」をご覧ください。

1 **ロール紙またはカット紙をセットします。**

（→ロール紙を使う：p.4-9、カット紙を使う：p.4-20）



●カット紙をお使いになるときは、幅52cm以上、長さ72cm以上の用紙をお使いください。

2 **[オンラインキー]を押してプリンタを“オフライン”状態にしたあと、[右矢印キー]を押して「メンテナンス」を表示させます。**

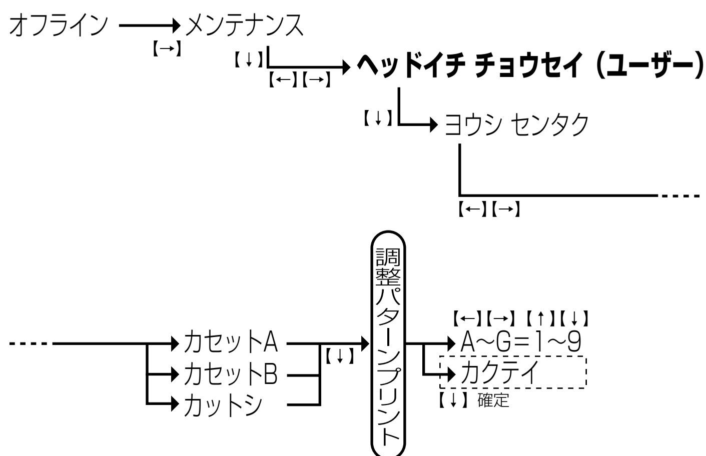


・調整の途中で[キャンセルキー]を押すと、調整を中止することができます。

3 **下図の操作方法にしたがってユーザーメニューの「ヘッドイチ チョウセイ（ユーザー）」を選択し、プリントする用紙を選択します。**



・[上矢印キー]を押すと、一つ前のメニューに戻ります。



4 [下矢印キー]を押します。

メッセージディスプレイに次のようなメッセージが表示され、印字位置の手動調整パターンのプリントが始まります。



お願い

●調整中に、トップカバーをはじめとするすべてのカバー類（右下カバーを除く）やロール紙カセットを開けないでください。これらを開けると本機の安全機能がはたらいてすべての動作が停止するため、調整が中止となり排紙されます。

チョウセイパ゜ターン　フ゜リントチュウ
・・・

5 プリントされた次のA～Gの調整パターンを見て、それぞれ1～9の中で一本の直線に見えるパターンの番号を選びます。

A 1 2 3 4 5 6 7 8 9
B 1 2 3 4 5 6 7 8 9
C 1 2 3 4 5 6 7 8 9
D 1 2 3 4 5 6 7 8 9
E 1 2 3 4 5 6 7 8 9
F 1 2 3 4 5 6 7 8 9
G 1 2 3 4 5 6 7 8 9



メモ

- 調整パターン1～9の中で、5番のパターンが現在プリンタで基準としている調整値です。
- 調整パターンのプリントが終わると、メッセージディスプレイには数字の入力画面が表示されます。すべてのパターンにおいて、基準値の5が表示されています。

次ページへ続く

6 手順5で選んだ番号の数字を、操作パネル上で入力します。

```
A B C D E F G
5 3 5 5 6 5 5   カクテイ
```

数字の入力のしかたは、次の手順のようになっています。

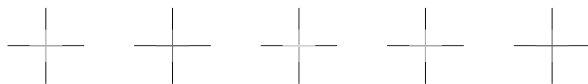
（1）カーソルが表示されている箇所が、数字を入力できる箇所です。[右または左矢印キー]を押して、カーソルを移動します。

（2）[上または下矢印キー]を押して、1〜9の間で数字を選択します。[上矢印キー]を押すと数字の値は高くなり、[下矢印キー]を押すと数字の値は低くなります。

（3）[右矢印キー]を押してカーソルを「カクテイ」の位置に移動し、[下矢印キー]を押します。入力した数字がすべて基準値として設定され、機械内部で印字位置が調整されます。

7 入力した数値を確定するとメッセージディスプレイに次のようなメッセージが表示され、調整した印字位置を確認するためのパターンがプリントされます。

```
カクニンパ゜ターン プ゜リントチュウ
■■・・・
```



プリントされた十字のパターンを見て、縦横の黒とカラーの線がまっすぐにつながっていない場合は印字位置が正確に調整されていないことを表しています。この場合は再度自動調整をおこなってください。それでも十字の線がずれている場合はプリントヘッドが正しく取り付けられているか確認してください。

8 調整が終了するとユーザーメニューの設定画面に戻ります。[オンラインキー]を2回押して、プリンタをオンライン状態にしてください。

第6章

インクボトルと BJプリントヘッドについて

この章では、本機でお使いになれるインクボトルとBJプリントヘッドの種類と取り扱い上の注意、交換の目安と交換のしかたについて説明します。

種類と取り扱い

本機は、大量にプリントするお客様や高精彩な写真画質を要求するお客様のニーズに応えるために、大容量のインクボトルを従来のイエロー、マゼンタ、シアン、ブラックに加えて、マゼンタ、シアンよりも淡い色のフォトマゼンタとフォトシアンを使用しています。

また、これらの大容量インクボトルからのインクをより精密に吐出するプリントヘッドを使用しています。

本機は、これらの濃淡インクをより精密に吐出することで、写真などの高精彩なカラーの再現性を実現することが可能になりました。

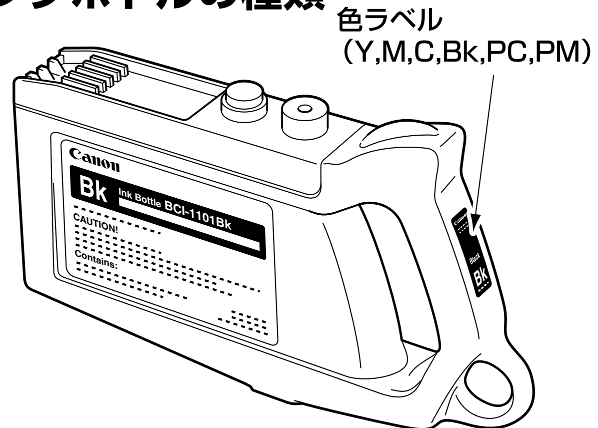
ここでは、これらインクボトルとプリントヘッドの種類と取り扱い上の注意について説明します。


お願い

●インクボトルとプリントヘッドは、インクボトル（BCI-1101シリーズ）とBJプリントヘッド（BC-1100）をお使いください。

インクボトルとBJプリントヘッドの種類

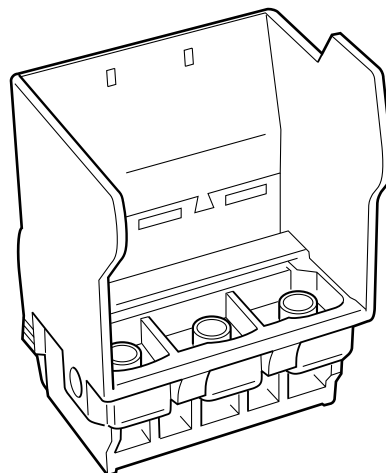
●インクボトルの種類



インクボトルは6色（イエロー、マゼンタ、シアン、ブラック、フォトマゼンタ、フォトシアン）あり、それぞれの商品名は次の表の通りです。

イエロー（Y）	マゼンタ（M）	シアン（C）	ブラック（Bk）	フォトシアン（PC）	フォトマゼンタ（PM）
BCI-1101Y	BCI-1101M	BCI-1101C	BCI-1101Bk	BCI-1101PC	BCI-1101PM

●BJプリントヘッドの種類

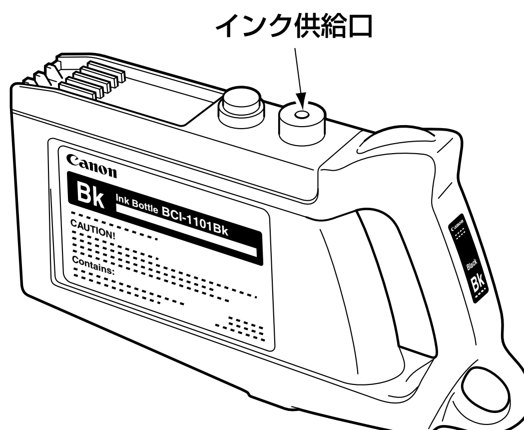


プリントヘッドの商品名は次の通りです。
·BC-1100

このプリントヘッドを本機に4つ取り付けてプリントします。

インクボトルとBJプリントヘッドの取り扱い上の注意

●インクボトルの取り扱い上の注意



インクボトルを取り扱うときは次のことに注意してください。

 注意

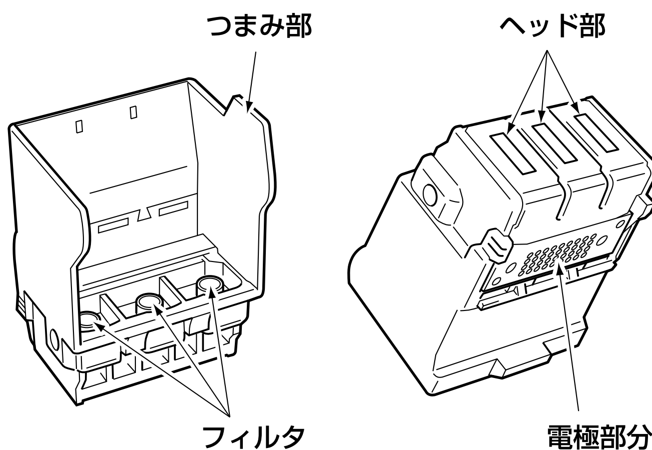
●安全のため、インクボトルは子供の手の届かないところへ保管してください。誤ってインクをなめたり飲んだりした場合には、直ちに医師にご相談ください。

●インクボトルを落としたり、振ったりしないでください。インクが漏れて周囲や衣服を汚すことがあります。インクが衣服に付くと、洗濯しても落ちません。

●インクボトルのインク供給口には触らないでください。インクで手を汚すことがあります。

● インクボトルは、お使いになる直前まで開封しないでください。また、開封したら直ちに本機に取り付けてください。
● インクボトルを分解したり、インクを補充したりしないでください。機械の故障の原因になります。インクがなくなったら、新しいインクボトルに交換してください。
● プリント品質を維持するため、インクボトルは開封後半年以内に使い切ることをおすすめします。

● BJプリントヘッドの取り扱い上の注意



プリントヘッドを取り扱うときは次のことに注意してください。

 注意

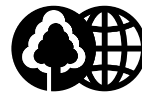
●安全のため、プリントヘッドは子供の手の届かないところへ保管してください。誤ってインクをなめたり飲んだりした場合には、直ちに医師にご相談ください。

●プリントヘッドを落としたり、振ったりしないでください。インクが飛び散って周囲や衣服を汚すことがあります。

●プリントヘッドのフィルタやヘッド部には触らないでください。インクで手を汚すことがあります。

●プリントヘッドは、お使いになる直前まで開封しないでください。また、開封したら直ちに本機に取り付けてください。開封したまま放置しておくと、ノズルが乾燥して、プリントできなくなることがあります。
●プリントヘッドを一時的に置くときは、ヘッド部を下向きに置かないでください。ヘッド部を下に向けて置くと、ノズルに傷がついて、きれいにプリントできなくなることがあります。
●プリントヘッドを分解しないでください。機械の故障の原因になります。
●ヘッド部や電極部分には触らないでください。機械の故障の原因になります。
●一度取り付けたプリントヘッドは、他の取り付け位置にセットしないでください。色が混ざって、きれいなプリントができなくなります。

使用済みインクタンク回収のお願い



Canon

キヤノン製カートリッジ
回収協力店

キヤノンでは、資源の有効活用のために、使用済みのインクカートリッジ並びにインクタンクの回収を推奨しています。この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。

つきましては、キヤノンの環境保全と資源の有効活用の趣旨にご賛同いただければ、お手数ではございますが、ご使用済みとなったインクカートリッジ並びにインクタンクを、最寄りのキヤノンカートリッジ回収協力店またはキヤノン販売営業所までお持ちください。

なお最新の回収窓口一覧、ならびに詳しいご案内につきましては、キヤノン販売ホームページにてごらんいただけます。

http://www.canon-sales.co.jp/ecology/crg_rcle.html

交換する目安

インクなしのメッセージが表示されたとき、またインクがあるのにプリントした画像がかすれているときにインクボトルやプリントヘッドを交換します。

●インクなしのメッセージが表示されたとき →インクボトルの交換のしかた（p.6-9）

●プリントした画像がかすれているとき →プリントヘッドの交換のしかた（p.6-14）

インクボトル交換の目安



メモ

・本機は、プリントの途中でもプリントをキャンセルすることなくインクボトルを交換できるので大変便利です。

プリントの途中でインクがなくなりそうになると、次のようなメッセージがメッセージディスプレイに表示されます。このメッセージが表示されたら、メッセージに表示された色のインクボトルを新しいインクボトルに交換してください。（→インクボトルの交換のしかた：p.6-9）

```
プ゜リントチュウ
インクナシ  K
```

● 交換する時期



メモ

・インクボトルを交換しないで次のプリントをおこなうことはできません。

プリントの途中で上のメッセージが表示されても、プリントしているファイルのサイズがB0サイズ以下の場合は現在のプリントをそのまま続けることができます。プリントが終わるとオフライン状態になり、インクボトルの交換待ち状態になります。すみやかにインクボトルを交換してください。インクボトルが交換されるとレディ状態に戻り、次のプリントをおこなうことができます。



メモ

・インクボトルを交換しないでプリントを続けることはできません。インクボトルを交換するか、またはプリントを中止してください。（→プリントを中止する：P.3-10）

また、プリントしているファイルがB0サイズより大きい場合は、プリントの途中で上のメッセージが表示されます。このとき、本機はその場でプリントをいったん停止してインクボトルが交換されるのを待ちます。すみやかにインクボトルを交換してください。インクボトルが交換されると自動でプリントを再開します。

BJプリントヘッド交換の目安

●プリント結果を見て交換する

インクが十分に残っているのにプリントした画像がかすれていたりインクが出ていないときは、プリントヘッドのノズルの目づまり、またはプリントヘッドの寿命が考えられます。
次の2つの操作をおこない、それでもプリント結果が改善されない場合はインクの出ていないプリントヘッドを新しいプリントヘッドに交換してください。（→BJプリントヘッドの交換のしかた：p.6-14）

●ノズルのチェック　→p.5-5
●ヘッドのクリーニング　→p.5-8

交換のしかた

インクボトルとプリントヘッドの交換のしかたについて説明します。

●インクボトル　→p.6-9
●プリントヘッド　→p.6-14

インクボトルの交換のしかた

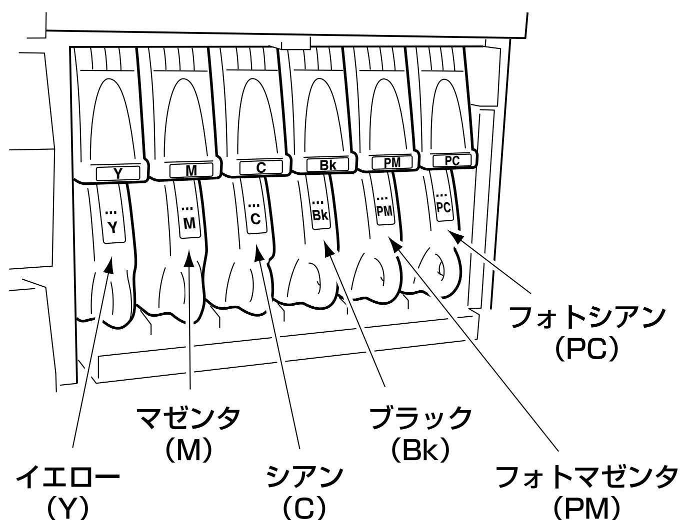
インクボトルを取り付ける位置は、左側からイエロー、マゼンタ、シアン、ブラック、フォトマゼンタ、フォトシアンの色の順番になっています。



注意　●安全のため、インクボトルは子供の手の届かないところへ保管してください。誤ってインクをなめたり飲んだりした場合には、直ちに医師にご相談ください。

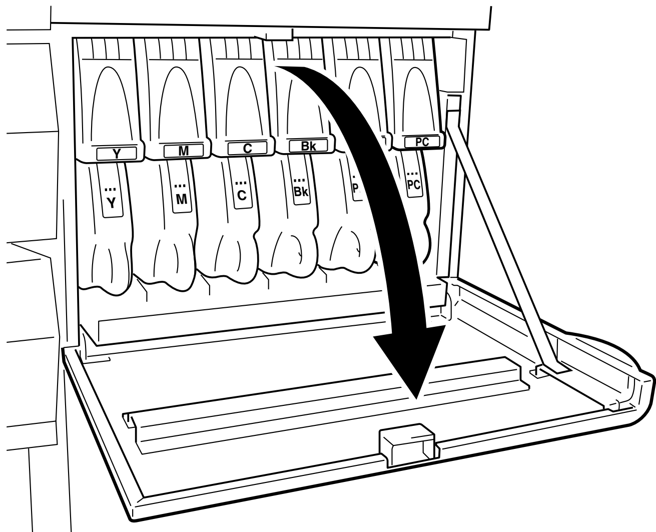


お願い　●インクボトルは、インクボトル（BCI-1101シリーズ）をお使いください。

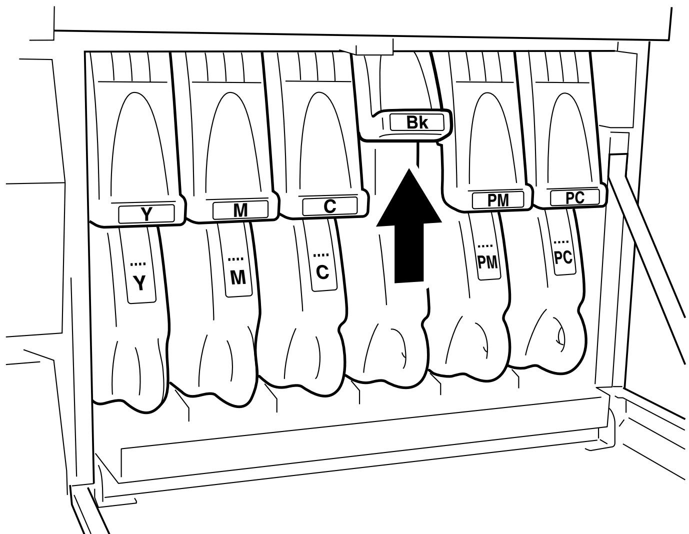


6

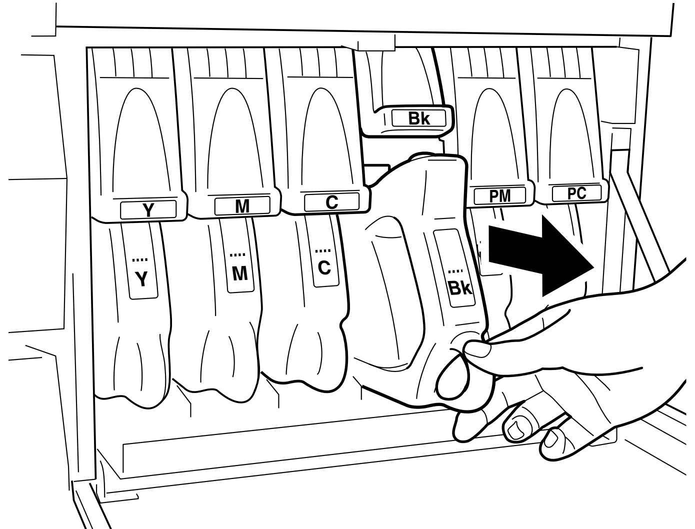
1 右下カバーを開けます。



2 新しいインクボトルに交換する箇所のインクボトル固定レバーを上げます。



3 インクボトルの指かけ部分をつまんで、インクボトルを少し手前に引きます。



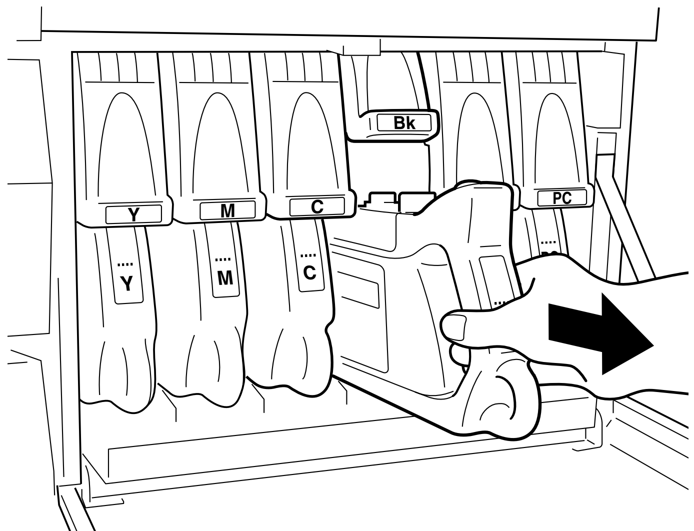

メモ

- 使用済みのインクボトルは、回収のご協力をお願いします。（→p.6-6）
- お捨てになる場合には、地域の条例にしたがってください。

4 インクボトルの把手を持ち、まっすぐに引いてインクボトルを取り出します。


注意

●インクボトルを落としたり、振ったりしないでください。インクが漏れて周囲や衣服を汚すことがあります。



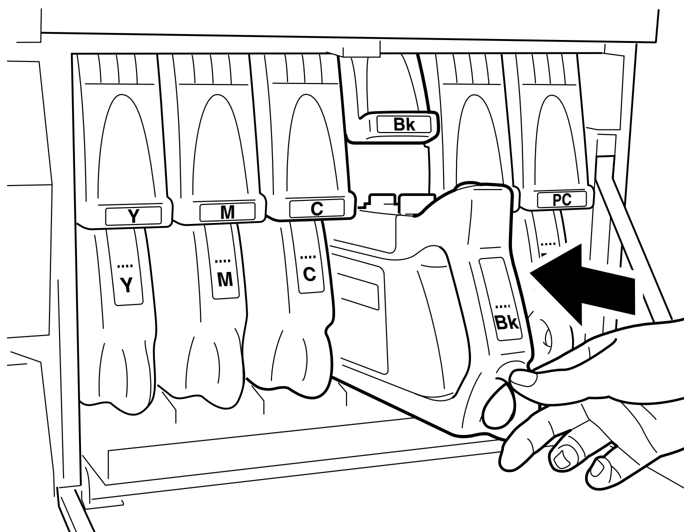
次ページへ続く

5 包装袋を開封して新しいインクボトルを取り出します。

6 インクボトルの把手を持ち、突き当たるまでまっすぐにインクボトルを挿入します。


お願い

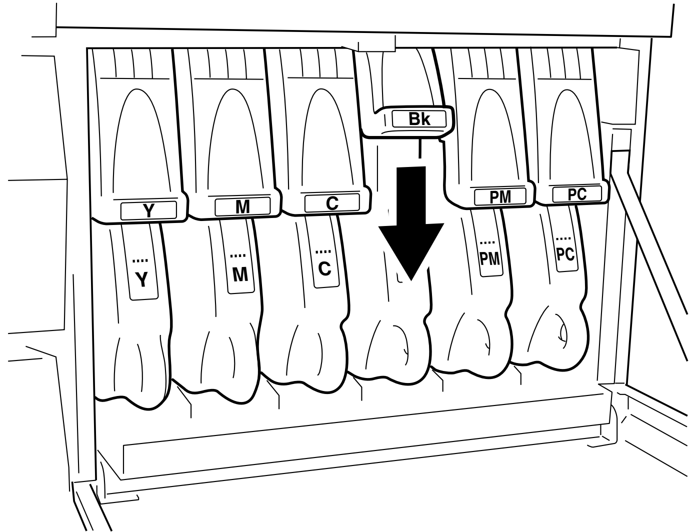
- インクボトルの色ラベルとインクボトル固定レバーのラベルに書かれた色名を合わせて、新しいインクボトルを取り付けてください。誤った位置にインクボトルを取り付けても入らない構造になっていますが、無理に押し込むと機械の故障の原因になります。



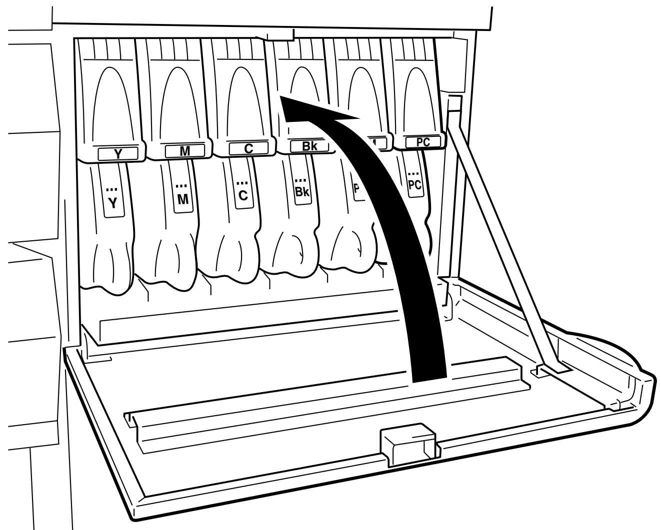
7 インクボトル固定レバーを下げてインクボトルを固定します。


お願い

●インクボトル固定レバーは、カチンという手応えがあるまで下げてください。レバーがきちんと下がっていないと、インクが正しく供給されません。



8 右下カバーを閉めます。



BJプリントヘッドの交換のしかた

プリントヘッドのノズルがつまっているプリントヘッドを交換します。ユーザーメニューで「ヘッドコウカン」を選択して、プリントヘッドを交換します。
ユーザーメニューについての詳細は、第7章「ユーザーメニューについて」をご覧ください。

 注意

●安全のため、プリントヘッドは子供の手の届かないところへ保管してください。誤ってインクをなめたり飲んだりした場合には、直ちに医師にご相談ください。



●プリントヘッドは、BJプリントヘッド（BC-1100）をお使いください。

●プリンタが動作しているときはプリントヘッドを交換できません。プリンタの動作が終了してからプリントヘッドを交換するか、プリンタの動作を止めてからプリントヘッドを交換してください。

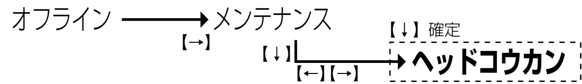
1 [オンラインキー] を押してプリンタを“オフライン”状態にします。

オフライン

2 [右矢印キー] を押して「メンテナンス」を表示させます。


メモ
・[上矢印キー]を押すと、一つ前のメニューに戻ります。

3 下図の操作方法にしたがってユーザーメニューの「ヘッド コウカン」を選択します。



4 [下矢印キー]を押します。

メッセージディスプレイに次のようなメッセージが表示され、プリンタはプリントヘッドを交換するための準備を始めます。

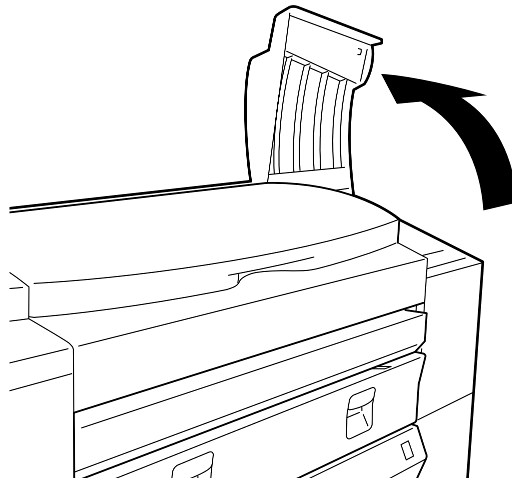

お願い

● “ドウサチュウ”メッセージが表示されているときは、トップカバーをはじめとするすべてのカバー類（右下カバーを除く）やロール紙カセットを開けないでください。これらを開けると本機の安全機能がはたらいてすべての動作が停止するため、プリントヘッドを交換するための準備動作が中止になります。

```
ド ウサチュウ
```

5 メッセージディスプレイに次のようなメッセージが表示されたら、右上カバーを開けます。

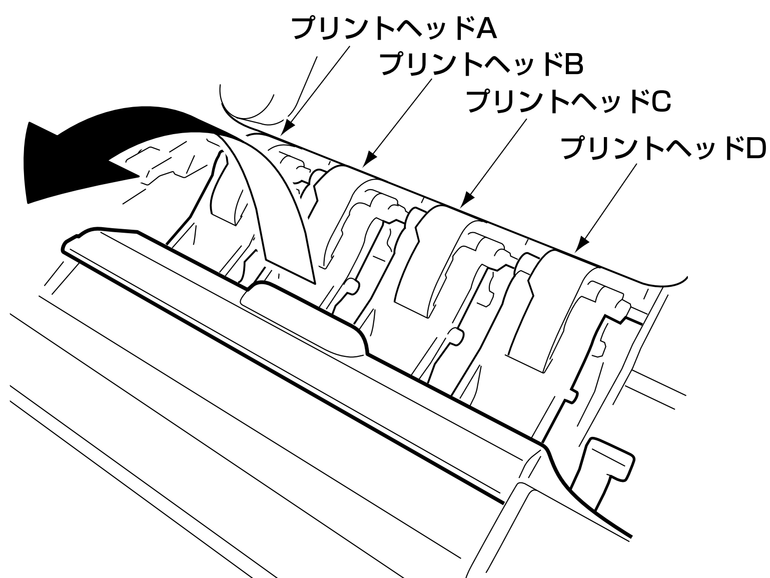
```
BJプ リントヘッド Bヲ
コウカンシ レバ ーヲ サゲ テクダ サイ
```



次ページへ続く

6

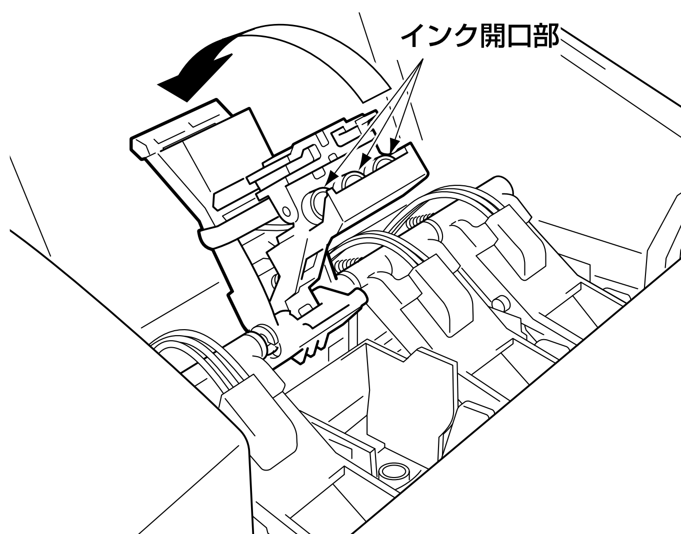
6 BJプリントヘッド固定カバーを開けます。



7 交換するプリントヘッドのBJプリントヘッド固定レバーを上げます。

 注意

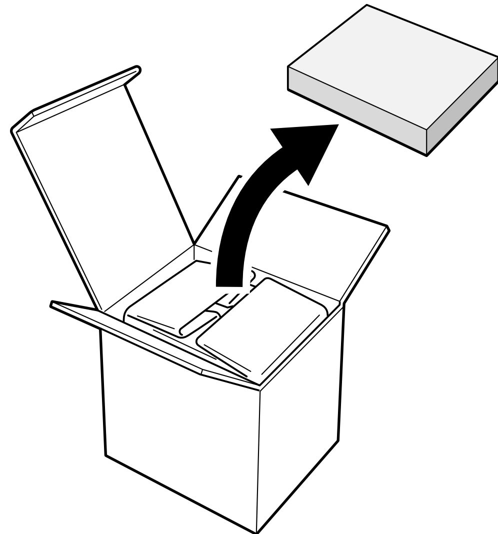
●プリントヘッド固定レバーのインク開口部周辺には触らないでください。インクで手を汚すことがあります。



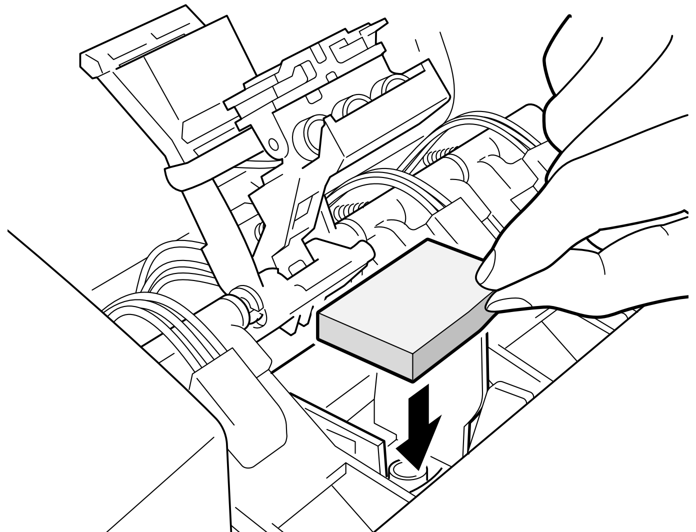
8 新しいプリントヘッドを個装箱から取り出し、スポンジを取り出します。


お願い

●スポンジは、プリントヘッドを交換する際にインクが垂れないようプリントヘッドのフィルタの上にのせるものなので、捨てないでください。



9 スポンジを本体の交換するプリントヘッドのフィルタの上にのせます。



次ページへ続く


メモ

・使用済みのプリントヘッドは、回収のご協力をお願いします。（→p.6-6）
・お捨てになる場合には、地域の条例にしたがってください。

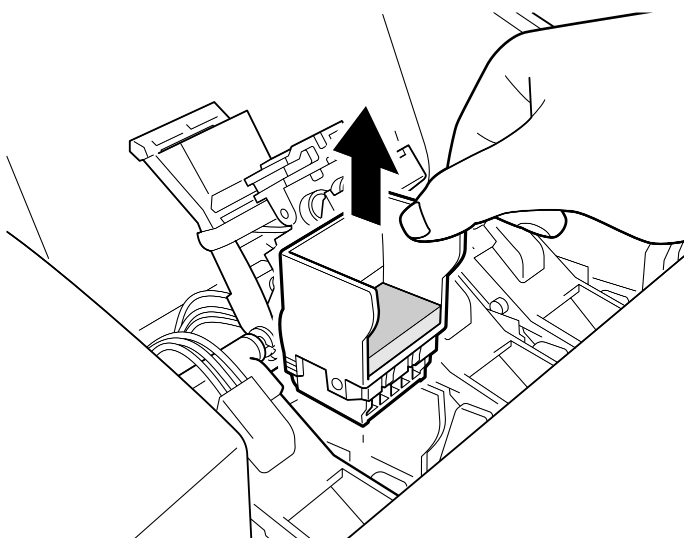
10 プリントヘッドのつまみを持って、プリントヘッドを取り外します。

 注意

●プリントヘッドを落としたり、振ったりしないでください。インクが飛び散って周囲や衣服を汚すことがあります。
●プリントヘッドのフィルタやヘッド部には触らないでください。インクで手を汚すことがあります。


お願い

●プリントヘッド取り付け位置にある電極部分には触らないでください。機械の故障の原因になります。



11 新しいプリントヘッドの包装袋を開封してプリントヘッドを取り出します。

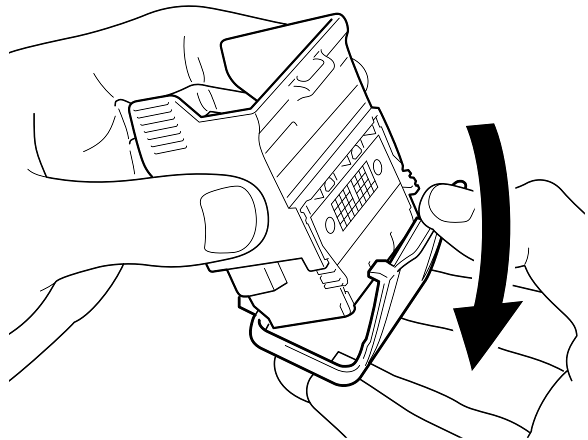

メモ

・はずした保護キャップは、地域の条例にしたがって捨ててください。

12 プリントヘッドに付いているオレンジ色の保護キャップをはずします。


お願い

- ●いったんはずしたオレンジ色の保護キャップは、プリントヘッドに取り付けないでください。ヘッド部に傷がついてきれいにプリントできなくなることがあります。
- ●プリントヘッドを一時的に置くときは、ヘッド部を下向きに置かないでください。ヘッド部を下に向けて置くと、ヘッド部に傷がついてきれいにプリントできなくなることがあります。

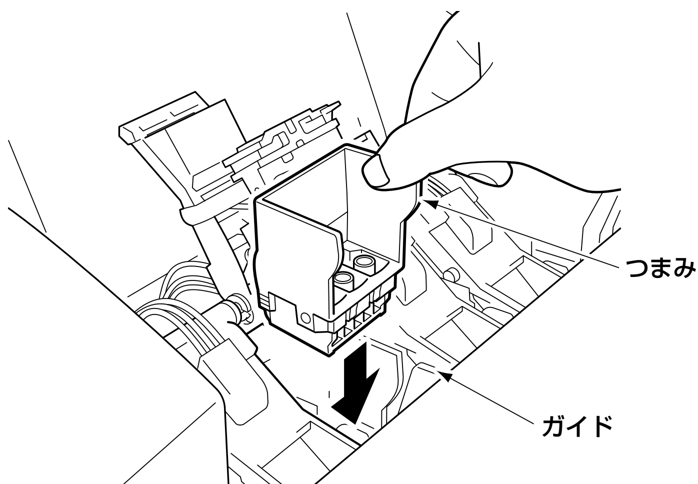


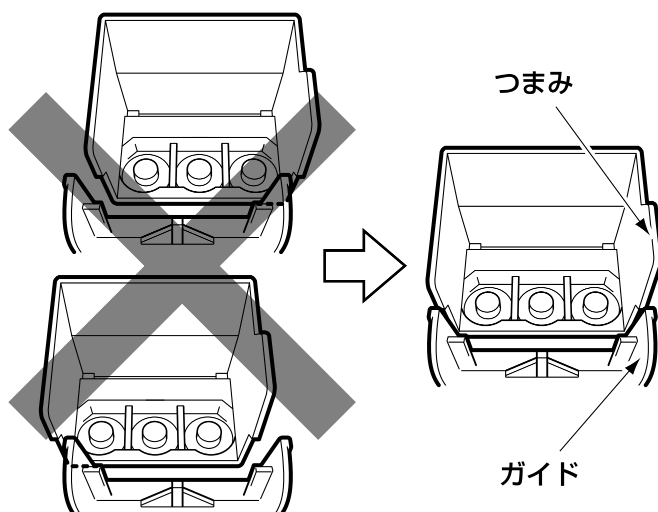
次ページへ続く

13 プリントヘッドのつまみを持って、つまみとガイドが直線になるようにプリントヘッドを取り付ける部分に軽く乗せます。



●ヘッド部や電極部分には触らないでください。機械の故障の原因になります。





14 BJプリントヘッド固定レバーを下げて、プリントヘッドを固定します。

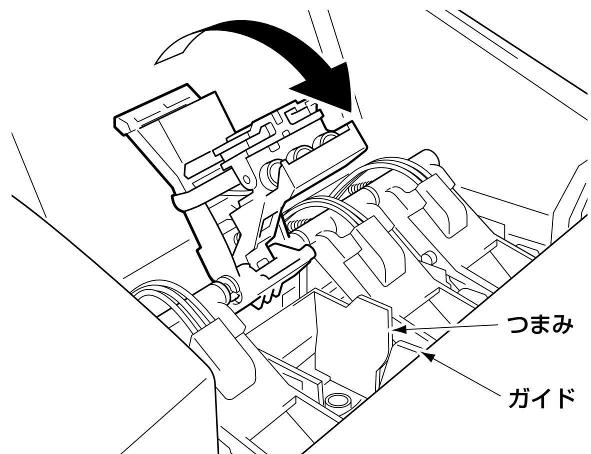
BJプリントヘッド固定レバーが下がらないときは、いったん図の位置までレバーを戻し、再度レバーを下げます。

 注意

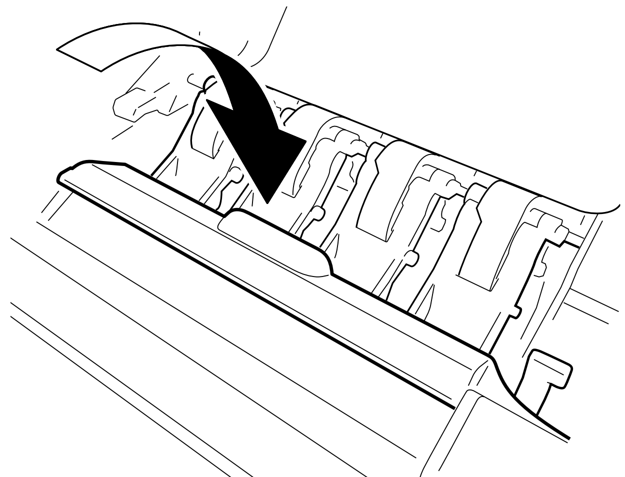
●プリントヘッド固定レバーのインク開口部周辺には触らないでください。インクで手を汚すことがあります。

 お願い

●プリントヘッドのつまみとガイドが揃っていないとBJプリントヘッド固定レバーが下がらないことがあります。無理にレバーを下げると機械の故障の原因になります。
●BJプリントヘッド固定レバーは、カチンという手応えがあるまで下げてください。レバーがきちんと下がっていないとBJプリントヘッド固定カバーを閉めることができません。



15 BJプリントヘッド固定カバーを閉めます。

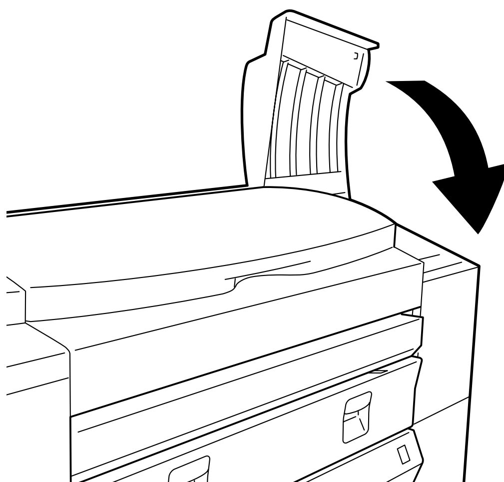


6


メモ

・右上カバーを閉めてから、ユーザーメニューの設定画面に戻るまで約7分必要とします。

16 右上カバーを閉めます。メッセージディスプレイに“ドウサチュウ”が表示され、そのあとユーザーメニューの設定画面に戻ります。



17 印字位置の自動調整をおこないます。

（→印字位置の自動調整のしかた：p.5-10）


お願い

●プリントの品質を維持するため、プリントヘッドを交換したあとは必ず印字位置の自動調整をおこなってください。印字位置調整には多少の時間がかかります。

第7章

ユーザーメニューについて

この章では、ユーザーメニューの構成と機能、および設定のしかたについて説明します。

ユーザーメニューの概要

コンピュータのソフトウェアの設定とは別に、使用状況に合わせてプリンタを設定することができます。プリンタの各設定は、メッセージディスプレイに表示されるメニューを使って設定します。



●メニューの内容を確定してから5秒間は電源を切らないでください。5秒以内に電源を切ると、メニューの設定内容がすべて初期設定に戻る場合があります。

ユーザーメニューの構成

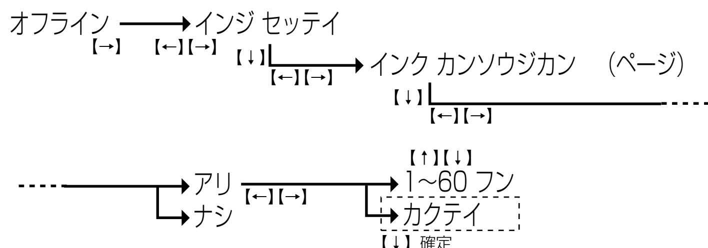
本機のユーザーメニューは、下図のようなツリー状の構成になっています。一番上の階層には種類別に分かれたメニューが配置され、その下の階層には機能を持ったメニューとその設定値が配置されています。

プリンタの状態 | メニュー | 設定値

オフライン
- メンテナンス
  - チェックパターン ― ヨウシ センタク
    - カセットA
    - カセットB
    - カットシ
  - ヘッドイチ チョウセイ（ジドウ）
  - ・・・
- インジ セッテイ
  - オートカット
    - アリ
    - ナシ
    - ホスト
  - ・・・
- パラメータ セッテイ
  - ゲンゴ セッテイ
    - ニホンゴ
    - English
    - ・・・
  - ブザー
    - オン
    - オフ
  - ・・・
- ・・・

ユーザーメニューの設定のしかた

ユーザーメニューは、操作パネルの[上下左右矢印キー]を使って設定します。
ここでは、「インジ セッテイ」メニューの中の「インク カンソウジカン （ページ）」メニューを「15 フン」に設定する場合を例に、メニューのツリー構成にしたがってメニューを設定する方法について説明します。



＜矢印キーの役割＞

- 【←】【→】 ： メニューや設定値を選択します。
- 【↓】 ： 選択しているメニューの設定画面（1つ下の階層）に入ります。また、数値を下げたり設定値を確定します。
- 【↑】 ： 一つ上のメニュー階層に抜けます。また、数値を上げます。

1 **[オンラインキー]を押してプリンタを“オフライン”状態にしたあと、[右矢印キー]を押して「メンテナンス」を表示させます。**

ここからユーザーメニューの設定階層になります。

メンテナンス

2 **[右矢印キー]を押して「インジ セッテイ」を表示させます。**

インジ　セッテイ

3 [下矢印キー]を押して「インジ セッテイ」メニューの階層に入ります。

```
インジ゛  セッテイ
   オート カット
```

4 [右または左矢印キー]を押して「インク カンソウジカン （ページ）」を表示させます。

```
インジ゛  セッテイ
   インク カンソウジ゛カン （ヘ゜ージ゛）
```

5 [下矢印キー]を押して「インク カンソウジカン（ページ）」の設定画面を表示させます。

```
インク カンソウジ゛カン （ヘ゜ージ゛）
  *アリ  ナシ
```

6 [下矢印キー]を押して時間の設定画面を表示させ、[上矢印キー]を押して「15」に設定します。

```
インク カンソウジ゛カン （ヘ゜ージ゛）
   15 フン  カクテイ
```

7 [右矢印キー]を押して、「カクテイ」を選択します。

```
インク カンソウジ゛カン （ヘ゜ージ゛）
   15 フン  カクテイ
```

8 [下矢印キー]を押して設定を確定します。

続けて他のメニューを設定する場合は[上下左右矢印キー]を、ユーザーメニューの設定を終了する場合は[オンラインキー]を2回押してプリンタをオンライン状態にしてください。



メモ

・確定したメニューの内容は、電源を切ってもプリンタ内に保存されます。

ユーザーメニューの持つ機能

ここでは、それぞれのユーザーメニューが持っている機能を一覧で見ることができます。
メニューの概要や操作ガイドの参照ページを知りたいときにお使いください。
機能の詳細については、7-6ページ以降をご覧ください。


お願い

●メニューの設定を確定してから5秒間は電源を切らないでください。5秒以内に電源を切ると、メニューの設定内容がすべて初期設定に戻る場合があります。

機能一覧

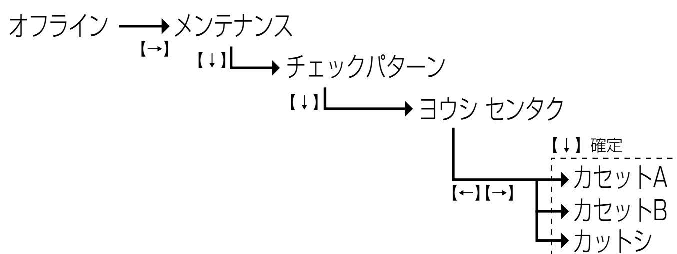
メニュー	機能概要	初期設定	参照ページ
ﾁｪｯｸﾊﾟﾀｰﾝ	テストプリントをする	ｶｾｯﾄA	p.2-14、p.7-6
ﾍｯﾄﾞｲﾁ ﾁｮｳｾｲ(ｼﾞﾄﾞｳ)	印字位置を自動で調整する	ｶｾｯﾄA	p.5-10、p.7-7
ﾍｯﾄﾞｲﾁ ﾁｮｳｾｲ(ﾕｰｻﾞｰ)	印字位置を手動で調整する	ｶｾｯﾄA	p.5-12、p.7-8
ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ	プリントヘッドのノズルの目づまりを回復させる	ALL	p.5-8、p.7-9
ﾍｯﾄﾞｺｳｶﾝ	プリントヘッドを交換するための準備をする	-	p.6-14、p.7-10
ｵｰﾄｶｯﾄ	プリント後に自動でロール紙をカットする	ﾎｽﾄ	p.3-4、p.7-11
ｲﾝｸ ｶﾝｿｳｼﾞｶﾝ (ﾍﾟｰｼﾞ)	プリント後にインクを乾燥させる時間を設ける	ﾅｼ	p.7-12
ｲﾝｸ ｶﾝｿｳｼﾞｶﾝ (ｽｷｬﾝ)	プリントの途中で定期的にインクを乾燥させる時間を設ける	ﾅｼ	p.7-13
ｹﾞﾝｺﾞ ｾｯﾃｲ	メッセージディスプレイに表示する言語を設定する	ﾆﾎﾝｺﾞ	p.7-14
ﾌﾞｻﾞｰ	プリンタにエラーが起きたときにブザーを鳴らす	ｵﾝ	p.7-15
SCSI ID	インタフェースのID番号を設定する	6	p.2-12、p.7-16
ｾｯﾃｲﾁ ｼｮｷｶ	設定値を初期化する	-	p.7-17
ﾖｳｼ ｾｯﾃｲ	ロール紙のメディア種類を設定する	ｺｰﾄｼ	p.4-19、p.7-18
ﾖｳｼｵｸﾘ ｾｯﾃｲ	ロール紙の品質を維持する機能を設定します。	・0h ・5min ・ﾀｲﾌﾟ1	p.7-19
ｿﾌﾄｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	プリンタのソフトウェアバージョンを確認する	-	p.7-20

メンテナンスに関する設定（メンテナンス メニュー）

プリントヘッドの交換やプリントの品質の保持など、メンテナンスに関わるユーザーメニューについて説明します。

テストプリントをする

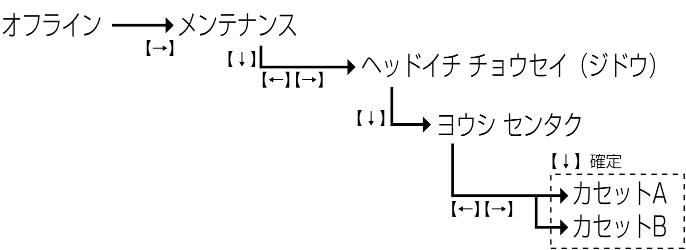
プリントの品質やプリントヘッドのノズルの状態を確認するためのパターンをプリントする機能です。
プリンタの準備や接続が終わったあとやプリンタの状態を確認したいときなど、必要に応じてこの機能をお使いください。
チェックパターンのプリントのしかたについては、「テストプリントする」（→p.2-14）をご覧ください。



設定値の種類	内容
ｶｾｯﾄA	**カセットAのロール紙を使ってプリントします。**
ｶｾｯﾄB	**カセットBのロール紙を使ってプリントします。**
ｶｯﾄｼ	**カット紙を使ってプリントします。**

印字位置を自動で調整する

より精度の高いきれいなプリント結果を得るために、印字位置を自動で調整する機能です。この機能は、プリントヘッドを交換したときや紙間の設定をおこなったあと、またはプリントした画像で直線がまっすぐに見えないときに使います。通常はこの自動調整をお使いください。
詳しくは、「印字位置の調整」(→p.5-10)をご覧ください。

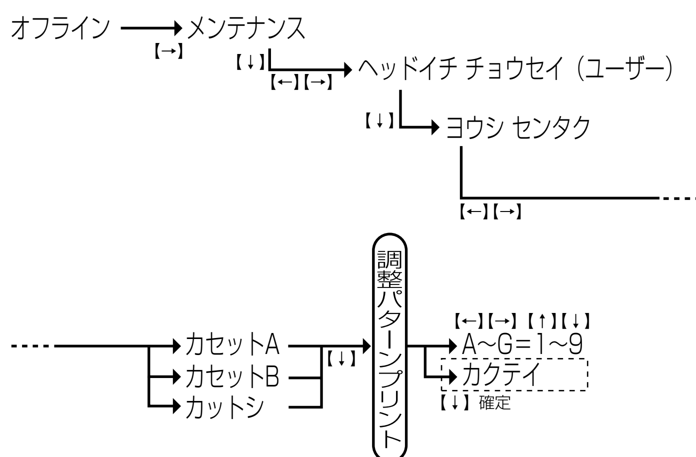


設定値の種類	内容
ｶｾｯﾄA	カセットAのロール紙を使ってプリントします。
ｶｾｯﾄB	カセットBのロール紙を使ってプリントします。

7

印字位置を手動で調整する

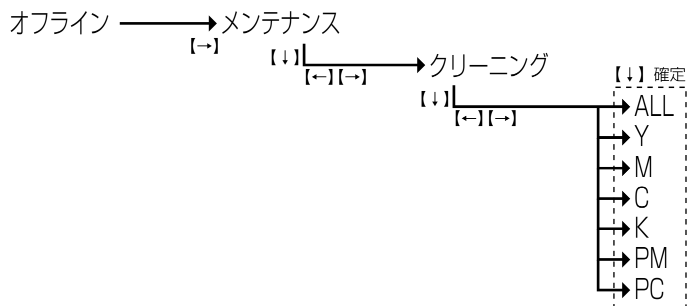
自動の印字位置調整で正確に調整できなかった場合に、手動で調整するための機能です。
詳しくは、「印字位置の調整」（→p.5-10）をご覧ください。



設定値の種類	内容
ｶｾｯﾄA	**カセットAのロール紙を使ってプリントします。**
ｶｾｯﾄB	**カセットBのロール紙を使ってプリントします。**
ｶｯﾄｼ	**カット紙を使ってプリントします。**

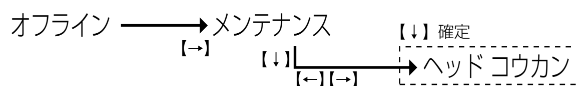
プリントヘッドのノズルをクリーニングする

プリントヘッドのノズルの目づまりを回復させる機能です。この機能は、ノズルから正しくインクが出ていないときに使います。詳しくは、「ヘッドのクリーニング」（→p.5-8）をご覧ください。



プリントヘッドを交換する

プリントヘッドを交換するための準備をおこなう機能です。
プリントヘッドを交換する目安や交換のしかたについては、「BJプリントヘッド交換の目安」（→p.6-8）や「BJプリントヘッドの交換のしかた」（→p.6-14）をご覧ください。

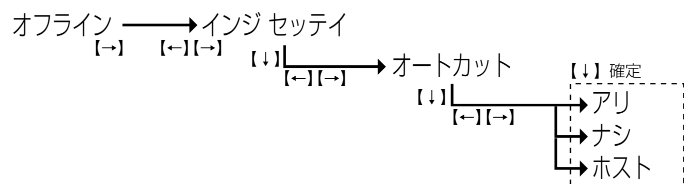


プリントに関する設定（インジ セッテイ メニュー）

プリント後のロール紙カット機能やインクの乾燥時間の設定など、プリントに関わるユーザーメニューについて説明します。

プリント後に自動でロール紙をカットする

1ページのプリントが終わるごとに、自動でロール紙をカットする機能です。ページごとに出力紙を切り分けたいときにこの機能をお使いください。
また、連続プリントをおこなうときやオプションの巻き取り装置をお使いの場合は、この機能を「ナシ」に設定してください。
ロール紙のカットについての詳細は、「ロール紙をカットする」（→p.3-4）をご覧ください。



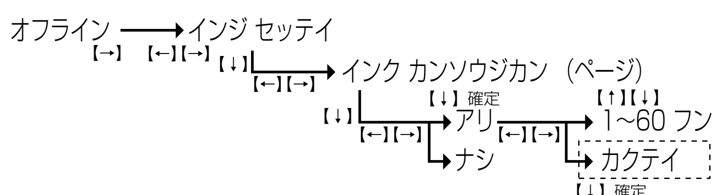
設定値の種類	内容
ｱﾘ	プリントが終わると、1ページごとに自動でロール紙をカットする機能です。
ﾅｼ	プリントが終わっても1ページごとにロール紙をカットせず、連続して次のプリントを始めます。
ﾎｽﾄ	プリンタドライバの自動カットの設定にしたがいます。

プリント後にインクを乾燥させる時間を設ける



- 実際にインクが乾燥するまでの時間は、用紙の種類や本機をお使いになっている環境によって多少変化します。
- キヤノン推奨用紙をお使いのときは、この機能を設定する必要はありません。プリントの品質を維持するために、キヤノン推奨用紙をお使いになることをおすすめします。

ロール紙のプリントで、「オートカット」メニューを「アリ」に設定している場合に、1ページのプリントが終わるごとに、インクを乾燥させる時間をおいてから用紙を排紙する機能です。キヤノン推奨用紙以外の用紙を使ってグラフィックの画像をプリントすると、インクの乾きが遅いことがあります。その場合にこの機能をお使いください。



設定値の種類	内容
ｱﾘ(1~60 ﾌﾝ)	プリントが終わってから設定した時間後に用紙を排紙します。（1分ごとに設定可）
ﾅｼ	プリントが終わるとそのまま用紙を排紙します。



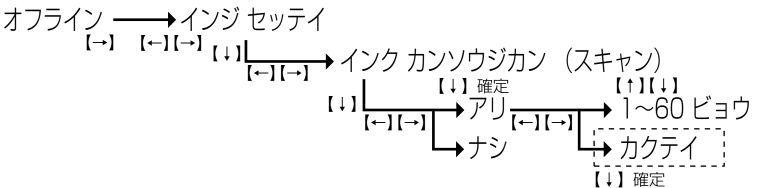
- この機能をお使いになると、連続プリントをしている場合にプリント時間が長くなります。
- この機能は、設定が「アリ」のときは、本体の設定を優先し、設定が「ナシ」のときは、ドライバの設定を優先します。
- 設定した「インクカンソウジカン（ページ）」の時間のカウントが働いているときに、オンラインキーを押して、ページ間ポーズ状態にすると、時間のカウントは停止し、再度オンラインキーを押して、ページ間ポーズ状態を解除すると、そのカウントを再開します。

プリントの途中で定期的にインクを乾燥させる時間を設ける


メモ

- 実際にインクが乾燥するまでの時間は、用紙の種類や本機をお使いになっている環境によって多少変化します。
- キヤノン推奨用紙をお使いのときは、この機能を設定する必要はありません。プリントの品質を維持するために、キヤノン推奨用紙をお使いになることをおすすめします。

プリントしながら、1ラインプリントするごとにインクを乾燥させる時間を設ける機能です。キヤノン推奨用紙以外の用紙を使って高濃度の写真画像をプリントすると、インクの乾きが遅いことがあります。その場合にこの機能をお使いください。



設定値の種類	内容
ｱﾘ(1~60 ﾋﾞｮｳ)	**プリントの途中で、定期的に設定した時間だけプリントを停止します。（1秒ごとに設定可）**
ﾅｼ	**途中で停止することなくプリントを続けます。**


メモ

- この機能をお使いになると、1ページごとのプリント時間が長くなります。
- この機能は、設定が「アリ」のときは、本体の設定を優先し、設定が「ナシ」のときは、ドライバの設定を優先します。

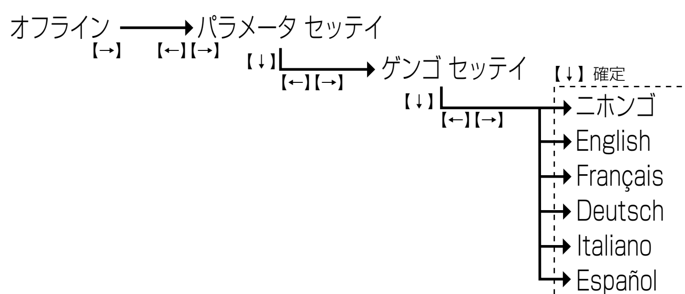
7

プリンタの機能に関する設定（パラメータ セッテイ およびその他のメニュー）

ブザーの設定やインタフェースの設定など、プリンタの機能に関わるユーザーメニューについて説明します。

メッセージディスプレイに表示する言語を設定する

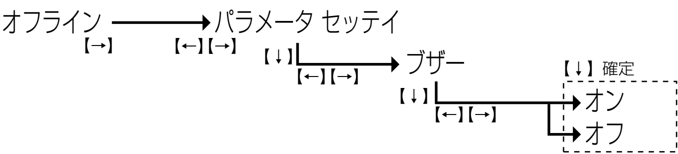
メッセージディスプレイに表示させる言語を設定する機能です。現在表示されている言語以外の言語の表示に変更したいときにこの機能をお使いください。



設定値の種類	内容
ﾆﾎﾝｺﾞ	日本語のメッセージがメッセージディスプレイに表示されます。
English	英語のメッセージがメッセージディスプレイに表示されます。
Français	フランス語のメッセージがメッセージディスプレイに表示されます。
Deutsch	ドイツ語のメッセージがメッセージディスプレイに表示されます。
Italiano	イタリア語のメッセージがメッセージディスプレイに表示されます。
Español	スペイン語のメッセージがメッセージディスプレイに表示されます。

プリンタにエラーが起きたときにブザーを鳴らす

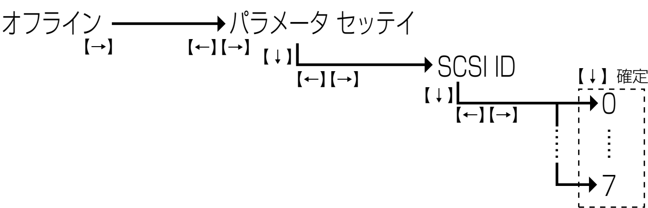
プリンタにエラーが起きたとき、メッセージディスプレイに表示されるメッセージの他に、エラーが起きたことをお客様にお知らせするブザーを鳴らせる機能です。この機能は、本機から離れて作業をすることが多い場合に便利です。



設定値の種類	内容
ｵﾝ	エラーが起きたときにブザーが鳴ります。
ｵﾌ	エラーが起きてもブザーは鳴りません。

インタフェースのID番号を設定する

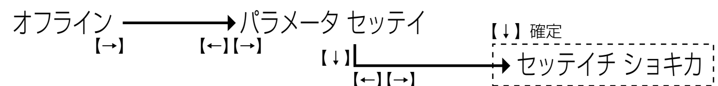
SCSIインターフェースで接続した本機をコンピュータに認識させるために、SCSIインタフェースのID番号を設定する機能です。SCSIケーブルを接続したあとにID番号を設定してください。（→SCSIインタフェースのIDを設定する：p.2-12）



設定値の種類	内容
0~7	0から7番の中でSCSIインタフェースのID番号を設定します。工場出荷時には「6」に設定されています。

設定値を初期化する

「インジ セッテイ」および「パラメータ セッテイ」で設定した設定値を初期化する機能です。初期化をおこなうと、設定を変更したメニューの設定値が工場出荷時の値にリセットされます。



●初期化できるメニューと工場出荷時の値

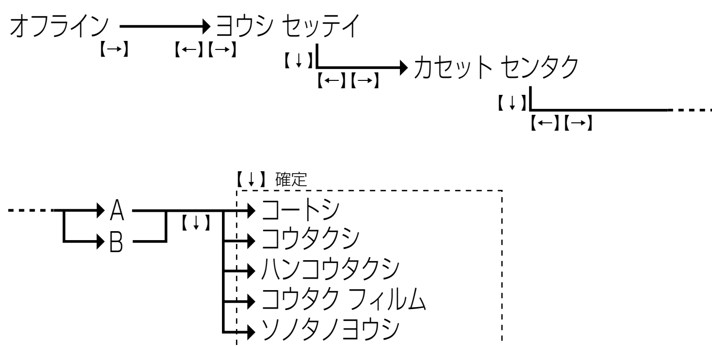
- ・ヘッドイチ　チョウセイ（ユーザー）　：5（→p.7-8）
- ・オートカット　：ホスト（→p.7-11）
- ・インク　カンソウジカン　（ページ）　：ナシ（→p.7-12）
- ・インク　カンソウジカン　（スキャン）　：ナシ（→p.7-13）
- ・ブザー　：オン（→p.7-15）


お願い

●初期化をおこなったあとは、ユーザーメニューの「ヘッドイチチョウセイ（ジドウ）」メニューを実行して、各色の印字位置を調整してください。（→印字位置の自動調整：p.5-10）

ロール紙のメディア種類を設定する

ロール紙のメディア種類を設定する機能です。このメニューは、ロール紙を交換したときに直接設定できるメニューで、設定した値は保存されています。通常はユーザーメニューとして設定し直す必要はありません。設定した値を確認するときにこのメニューをお使いください。（→ロール紙を交換する：p.4-9）



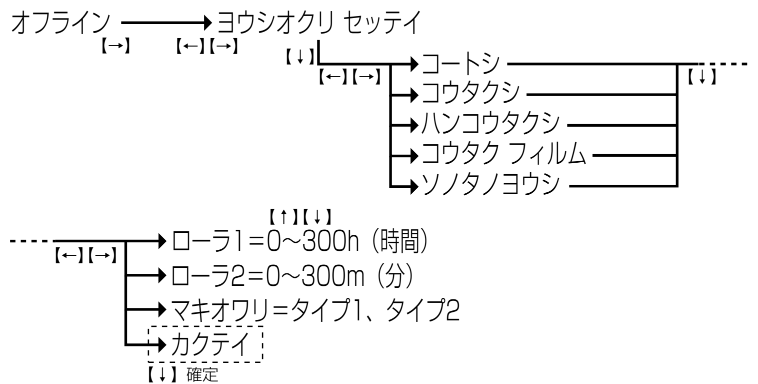
設定値の種類	内容
ｺｰﾄｼ	コート紙をお使いになるときに選択します。
ｺｳﾀｸｼ	光沢紙をお使いになるときに選択します。
ﾊﾝｺｳﾀｸｼ	半光沢紙をお使いになるときに選択します。
ｺｳﾀｸﾌｨﾙﾑ	光沢フィルムをお使いになるときに選択します。
ｿﾉﾀﾉﾖｳｼ	上記以外の用紙の種類をお使いになるときに選択します。

ロール紙の品質維持機能を設定する

ロール紙の種類によっては、一定時間お使いにならないでいると部分的に変色する場合があります。
本機は、用紙の変色を防ぐため、用紙の種類に合わせて以下の2つの動作を自動でおこなっています。

（1）一定時間経過すると、プリント時に用紙の先端を95mmカットしてからプリントを開始する。
（2）「オートカット」メニューを「ナシ」に設定している場合—一定時間ごとに用紙を2mmずつ送り出し、100mmになると用紙を戻す。

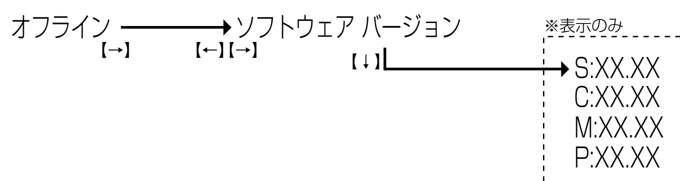
このメニューでは、上記2通りの“一定時間”について設定します。キヤノン推奨用紙以外の用紙（タイプ2）をお使いのとき、この機能を設定してください。
また、ロール紙の終端の形態に合わせ、本機では自動で終端の処理をおこなっています。このメニューでは、この機能についても設定します。



設定値の種類	内容
ﾛｰﾗ1(0~300h)	設定した時間が経過すると、プリント前に用紙の先端を95mmカットします。用紙が黄色に変色する場合は数値を下げてください。初期値は0で、この機能が働かないように設定されています。（5時間ごとに設定可）
ﾛｰﾗ2(0~300min)	設定した時間ごとに用紙を2mmずつ送ります。用紙の変色度が強まる場合は数値を下げてください。（5分ごとに設定可）
ﾏｷｵﾜﾘ (ﾀｲﾌﾟ1､ﾀｲﾌﾟ2)	キヤノン推奨用紙をお使いのときは「タイプ1」を、推奨紙以外の用紙をお使いの場合は「タイプ2」を選択します。 ・「タイプ1」…》ロール紙の終端までプリントを続け排紙します。 ・「タイプ2」…》ロール紙の終端部分を自動カットで切り離し、ロール紙カセットの中に巻き戻します。

プリンタのソフトウェアバージョンを確認する

プリンタ内部のソフトウェアバージョンを表示する機能です。表示されるバージョンは4種類あります。サービスコールエラー（→p.8-15）が表示されて、お買い求めの販売店または担当サービスに連絡する際に、エラー番号と合わせてこのバージョンをご連絡ください。



第8章

メッセージ ディスプレイについて

この章では、メッセージディスプレイに表示されるメッセージの内容と対処のしかたについて説明します。

メッセージディスプレイの見かた

メッセージディスプレイには、プリンタの状態、メニュー設定状態、お知らせ/エラーに関するメッセージなど、様々な情報が表示されます。
ここでは、それぞれの情報について基本的な見かたを説明します。

プリンタの状態

本機には、以下の8種類の状態があり、メッセージディスプレイの上段にそれぞれの状態を示すメッセージが表示されます。

●初期化状態
電源を入れた際にプリンタの初期化をおこなっている状態です。電源を入れるとすぐに“ショキカチュウ”と表示されます。

ショキカチュウ


●オンライン状態
コンピュータとの通信がおこなえる状態でプリント待ちの状態です。メッセージディスプレイに“レディ”と表示されます。

レディ

●オフライン状態
ユーザーメニューの設定や用紙の搬送ができます。この状態では、データを受信することができません。メッセージディスプレイに“オフライン”と表示されます。

オフライン

●プリント状態

コンピュータから送られてきたデータをプリントしている状態です。メッセージディスプレイに“プリントチュウ”と表示されます。

```
プ゜リントチュウ
カセット　X
```

● ページ間ポーズ状態

プリント中に［オンラインキー］を押して連続プリントを一時停止している状態です。メッセージディスプレイに“ページカン　ポーズ”と表示されます。

```
ヘ゜ーシ゛カンホ゜ース゛
```

● 調整状態

メニュー内の「ヘッドイチ　チョウセイ（ジドウ）」メニューを使って、印字位置の自動調整をおこなっている状態です。メッセージディスプレイに“チョウセイチュウ”と表示されます。

```
チョウセイチュウ
```





● 動作状態

メニュー内の「クリーニング」や「ヘッドコウカン」メニューを実行してプリンタが動作している状態です。メッセージディスプレイに"ドウサチュウ"と表示されます。また、「チェックパターン」や「ヘッドイチ　チョウセイ（ユーザー）」メニューを実行して内部プリントをおこなっている状態です。このとき、メッセージディスプレイには"チェックパターン プリントチュウ""チョウセイパターン プリントチュウ""カクニンパターン プリントチュウ"と表示されます。

ﾄﾞｳｻﾁｭｳ

ﾁｪｯｸﾊﾟﾀｰﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄﾁｭｳ
██・・・

ﾁｮｳｾｲﾊﾟﾀｰﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄﾁｭｳ
██・・・

ｶｸﾆﾝﾊﾟﾀｰﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄﾁｭｳ
██・・・

● 省電力状態

25分以上放置した場合、消費電力を少なくしています。

ｵﾌﾗｲﾝ

メニュー設定状態


メモ

・メッセージ中の「＊」は現在の設定、「＿」は選択している設定値を表わします。

オフライン状態で[右矢印キー]を押すことで、ユーザーメニューの設定階層に入ります。

これは、ユーザーメニューの「インク　カンソウジカン（ページ）」メニューを「ナシ」に設定している表示例です。ユーザーメニューの設定状態では、メッセージディスプレイの上段にメニュー名、下段に設定値が表示されます。ユーザーメニューの詳細については、「第7章 ユーザーメニューについて」をご覧ください。

お知らせ/エラーに関するメッセージ

お客様に対処していただかないとプリントを開始できないとき、または本機が正しく動かなかったり正常にプリントできないようなトラブルが起きたときに、お知らせ/エラーに関するメッセージが表示されブザーが鳴ります。メッセージディスプレイの上段に状況、下段に対処のしかたが表示されます。
お知らせ/エラーに関するメッセージについて、詳しくは「メッセージの内容と対処のしかた」（→p.8-6）をご覧ください。

これは、右上カバーが開いていることをお知らせしている表示例です。右上カバーを閉めると、このメッセージは消えて、プリンタは“レディ”状態に戻ります。

メッセージの内容と対処のしかた

ここでは、お知らせ/エラーに関するメッセージの内容と対処のしかたについて説明します。

メッセージ一覧

メッセージの順番は、上段に表示されるメッセージの頭文字を50音順に並べ、そのあとにアルファベットをABC順に並べて記載しています。

メッセージ表示	該当するページ
インクボトルヲ　セットシ レバーヲ　サゲテクダサイ	→p.8-8
オフライン インクナシ　X	→p.8-8
カセットAノ　ロールシガ　ツマリマシタ トップカバーヲアケテ　カクニンシテクダサイ	→p.8-8
カセットBノ　ロールシガ　ツマリマシタ トップカバーヲアケテ　カクニンシテクダサイ	→p.8-8
カセットAヲ　マキモドシテクダサイ カクニン　↓	→p.8-9
カセットBヲ　マキモドシテクダサイ カクニン　↓	→p.8-9
カットシガ　ツマリマシタ ヨウシヲ　トリノゾイテ　クダサイ	→p.8-9
キュウシチュウノ　カセットAガ　アイテイマス ヨウシヲ　トリノゾイテ　クダサイ	→p.8-9
キュウシチュウノ　カセットBガ　アイテイマス ヨウシヲ　トリノゾイテ　クダサイ	→p.8-10
トップカバーガ　アイテイマス カバーヲ　シメテクダサイ	→p.8-10
ハイインクタンク　エラー タンクヲ　セットシテクダサイ	→p.8-10
ハイインクタンク　マンパイ ハイインクタンクヲ　コウカンシテクダサイ	→p.8-10
ハイシグチノヨウシヲ トリノゾイテ　クダサイ	→p.8-11
プリントチュウ インクナシ　X	→p.8-11
ページカンポーズ	→p.8-11
マエカバーガ　アイテイマス カバーヲ　シメテクダサイ	→p.8-11
ミギウエカバーガ　アイテイマス カバーヲ　シメテクダサイ	→p.8-11
レディ カセットAノ　ロールシガ　キュウシサレテイマス	→p.8-12

メッセージ表示	該当するページ
レバーaガ　カイジョサレテイマス レバーヲ　モドシテクダサイ	→p.8-12
レバーcガ　カイジョサレテイマス レバーヲ　モドシテクダサイ	→p.8-12
レバーdガ　カイジョサレテイマス レバーヲ　モドシテクダサイ	→p.8-12
ロールシカセットAガ　アイテイマス ロールシカセットヲ　シメテクダサイ	→p.8-13
ロールシカセットAガ　キュウシデキマセン ヨウシヲ　サイセット　シテクダサイ	→p.8-13
ロールシカセットAガ　ツマリマシタ ヨウシヲ　トリノゾイテ　クダサイ	→p.8-13
ロールシカセットBガ　アイテイマス ロールシカセットヲ　シメテクダサイ	→p.8-13
ロールシカセットBガ　キュウシデキマセン ヨウシヲ　サイセット　シテクダサイ	→p.8-14
ロールシカセットBガ　ツマリマシタ ヨウシヲ　トリノゾイテ　クダサイ	→p.8-14
BJプリントヘッドX　エラー カイフクドウサヲ　オコナイマス　カクニン↓	→p.8-14
BJプリントヘッドXヲ コウカンシ　レバーヲ　サゲテクダサイ	→p.8-14
BJプリントヘッドXヲ ソウチャクシ　レバーヲ　サゲテクダサイ	→p.8-15
BXXXX	→p.8-15
EXXXX	→p.8-15
WXXXX	→p.8-16～8-22

メッセージの対処のしかた

表示されているお知らせ/エラーメッセージの一覧および対処のしかたは次の表のとおりです。対処のしかたにしたがって対処してください。

```
インクボ゛トルヲ　セットシ
レバ゛ーヲ　サゲ゛テクダ゛サイ
```

メッセージの内容：インクボトルがセットされていません。または、インクボトル固定レバーが下がっていません。

対処のしかた：インクボトルをセットし、インクボトル固定レバーを下げて、右下カバーを閉めてください。

```
オフライン
インクナシ　X
```

メッセージの内容：×色のインクがほとんどありません。

対処のしかた：すみやかに該当する色のインクボトルを交換してください。（→インクボトルの交換のしかた：p.6-9）

```
カセットAノ　ロールシガ゛　ツマリマシタ
トップ゜カバ゛ーヲアケテ　カクニンシテクダ゛サイ
```

メッセージの内容：紙づまりが起きて、ロール紙カセットAの用紙を給紙することができませんでした。

対処のしかた：「メッセージ1と4の紙づまりの処理のしかた」（→p.10-18）にしたがって、用紙を取り除いてください。

```
カセットBノ　ロールシガ゛　ツマリマシタ
トップ゜カバ゛ーヲアケテ　カクニンシテクダ゛サイ
```

メッセージの内容：紙づまりが起きて、ロール紙カセットBの用紙を給紙することができませんでした。

対処のしかた：「メッセージ1と4の紙づまりの処理のしかた」（→p.10-18）にしたがって、用紙を取り除いてください。

```
カセットAヲ　マキモドシテクダサイ
カクニン　↓
```

メッセージの内容：ロール紙がカセットから送り出されている状態なので、チェックパターンのプリントや印字位置の調整ができません。

対処のしかた：[下矢印キー]を押してプリンタをオンライン状態にした後、[排紙カットキー]を押してロール紙をカットし、ロール紙がカセットに巻き戻ってから再度おこなってください。

```
カセットBヲ　マキモドシテクダサイ
カクニン　↓
```

メッセージの内容：ロール紙がカセットから送り出されている状態なので、チェックパターンのプリントや印字位置の調整ができません。

対処のしかた：[下矢印キー]を押してプリンタをオンライン状態にした後、[排紙カットキー]を押してロール紙をカットし、ロール紙がカセットに巻き戻ってから再度おこなってください。

8



```
カットシガ゛　ツマリマシタ
ヨウシヲ　トリノゾ゛イテ　クダ゛サイ
```

メッセージの内容：紙づまりが起きて、カット紙をセットできませんでした。

対処のしかた：「メッセージ3の紙づまりの処理のしかた」（→p.10-32）にしたがって、用紙を取り除いてください。

```
キュウシチュウノ　カセットAガ゛　アイテイマス
ヨウシヲ　トリノゾ゛イテ　クダ゛サイ
```

メッセージの内容：ロール紙カセットAの用紙を給紙している途中でカセットを開けられたので、用紙を給紙することができません。

対処のしかた：「メッセージ5の紙づまりの処理のしかた」（→p.10-42）にしたがって、用紙を取り除いてください。

```
キュウシチュウノ　カセットBガ゛　アイテイマス
ヨウシヲ　トリノゾ゛イテ　クダ゛サイ
```

メッセージの内容：ロール紙カセットBの用紙を給紙している途中でカセットを開けられたので、用紙を給紙することができません。

対処のしかた：「メッセージ5の紙づまりの処理のしかた」（→p.10-42）にしたがって、用紙を取り除いてください。

```
トップ゜カバ゛ーガ゛　アイテイマス
カバ゛ーヲ　シメテクダ゛サイ
```

メッセージの内容：トップカバーが開いています。

対処のしかた：トップカバーを静かに閉めてください。

```
ハイインクタンク　エラー
タンクヲ　セットシテクダ゛サイ
```

メッセージの内容：廃インクタンクがセットされていない、または左下カバーが開いています。

対処のしかた：廃インクタンクをセットし、左下カバーを静かに閉めてください。（→廃インクタンクの交換：p.9-13）

```
ハイインクタンク　マンパ゜イ
ハイインクタンクヲ　コウカンシテクダ゛サイ
```

メッセージの内容：廃インクタンクがいっぱいになりました。

対処のしかた：廃インクタンクを交換してください。（→廃インクタンクの交換：p.9-13）

```
ハイシグ゛チノヨウシヲ
トリノゾ゛イテ゛クダ゛サイ
```

メッセージの内容：排紙口付近で用紙がつまりました。
対処のしかた：排紙口につまっている用紙を取り除いてください。

```
プ゜リントチュウ
インクナシ　X
```

メッセージの内容：×色のインクがほとんどありません。
対処のしかた：すみやかに該当する色のインクボトルを交換してください。（→インクボトルの交換のしかた：p.6-9）

```
ペ゜ージ゛カンポ゜ーズ゛
```

メッセージの内容：連続プリントを一時停止しています。
対処のしかた：［オンラインキー］を押してください。一時停止していたプリント動作が再開します。

```
マエカバ゛ーガ゛　アイテイマス
カバ゛ーヲ　シメテクダ゛サイ
```

メッセージの内容：前カバーが開いています。
対処のしかた：前カバーを静かに閉めてください。

```
ミギ゛ウエカバ゛ーガ゛　アイテイマス
カバ゛ーヲ　シメテクダ゛サイ
```

メッセージの内容：右上カバーが開いています。
対処のしかた：右上カバーを静かに閉めてください。

```
レディ
カセットAノ ロールシガ キュウシサレテイマス
```

メッセージの内容：カセットAのロール紙がプリント開始位置にセットされています。

対処のしかた：しばらくの間プリントをおこなわないとき、またはカセットBのロール紙やカット紙をお使いの場合にロール紙を戻してください。［オンラインキー］を押してプリンタを“オフライン”状態にしたあと、［用紙戻しキー］を押すとロール紙をカセットの中に戻すことができます。

```
レバーaガ カイジョサレテイマス
レバーヲ モドシテクダサイ
```

メッセージの内容：リリースレバーaを上げたまま、元に戻していません。

対処のしかた：トップカバーを開けてレバーを戻してください。（→p.10-26 手順8-e）

```
レバーcガ カイジョサレテイマス
レバーヲ モドシテクダサイ
```

メッセージの内容：リリースレバーcを下げたまま、元に戻していません。

対処のしかた：前カバーを開けてレバーを戻してください。（→p.10-39 手順6-d）

```
レバーdガ カイジョサレテイマス
レバーヲ モドシテクダサイ
```

メッセージの内容：リリースレバーdを下げたまま、元に戻していません。

対処のしかた：前カバーを開けてレバーを戻してください。（→p.10-27 手順9）

```
ロールシカセットAガ　アイテイマス
ロールシカセットヲ　シメテクダ゛サイ
```

メッセージの内容：ロール紙カセットAが開いています。
対処のしかた　　：ロール紙カセットAを静かに閉めてください。

```
ロールシカセットAガ　キュウシデ゛キマセン
ヨウシヲ　サイセット　シテクダ゛サイ
```

メッセージの内容：ロール紙カセットAの用紙を給紙することができませんでした。
対処のしかた　　：「メッセージ2の紙づまりの処理のしかた」（→p.10-30）にしたがって、用紙を取り除いてください。

```
ロールシカセットAガ　ツマリマシタ
ヨウシヲ　トリノゾ゛イテ　クダ゛サイ
```

メッセージの内容：紙づまりが起きて、ロール紙カセットAの用紙を給紙することができませんでした。
対処のしかた　　：「メッセージ1と4の紙づまりの処理のしかた」（→p.10-18）にしたがって、用紙を取り除いてください。

```
ロールシカセットBガ　アイテイマス
ロールシカセットヲ　シメテクダ゛サイ
```

メッセージの内容：ロール紙カセットBが開いています。
対処のしかた　　：ロール紙カセットBを静かに閉めてください。

8

```
ロールシカセットBガ゛ キュウシデ゛キマセン
ヨウシヲ サイセット シテクダ゛サイ
```

メッセージの内容：ロール紙カセットBの用紙を給紙することができませんでした。
対処のしかた　　：「メッセージ2の紙づまりの処理のしかた」（→p.10-30）にしたがって、用紙を取り除いてください。

```
ロールシカセットBガ゛ ツマリマシタ
ヨウシヲ トリノゾ゛イテ クダ゛サイ
```

メッセージの内容：紙づまりが起きて、ロール紙カセットBの用紙を給紙することができませんでした。
対処のしかた　　：「メッセージ1と4の紙づまりの処理のしかた」（→p.10-18）にしたがって、用紙を取り除いてください。

```
BJプ゜リントヘッド゛X エラー
カイフクド゛ウサヲ オコナイマス　　カクニン↓
```

メッセージの内容：プリントヘッドXのノズルがつまっているため、本機はノズルのクリーニング待ち状態になっています。
対処のしかた　　：［下矢印キー］を押して、クリーニング動作を開始してください。

```
BJプ゜リントヘッド゛Xヲ
コウカンシ レバ゛ーヲ サゲ゛テクダ゛サイ
```

メッセージの内容：プリントヘッドXのノズルがつまっています。
対処のしかた　　：Xの位置のプリントヘッドを交換してください。（→BJプリントヘッドの交換のしかた：p.6-14）

```
BJプ リントヘッド Xヲ
ソウチャクシ レバ ーヲ サゲ テクダ サイ
```

メッセージの内容：プリントヘッドXが正しく取り付けられていない、またはBJプリントヘッド固定レバーが正しくセットされていません。

対処のしかた：右上カバーを開けて、Xの位置のプリントヘッドとBJプリントヘッド固定レバーを正しくセットし、BJプリントヘッド固定カバーを閉めてください。（→BJプリントヘッドの交換のしかた：p.6-14）それでもこのメッセージが消えない場合は、該当する位置のプリントヘッドを交換してください。（→BJプリントヘッドの交換のしかた：p.6-14）

```
BXXXX
```

メッセージの内容：本機に何か異常が起きています。

対処のしかた：いったん電源を切り、5秒以上待ってからもう一度電源を入れ直してください。それでもこのメッセージが消えない場合は、すみやかに電源を切り、本機をお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

```
EXXXX
```

メッセージの内容：本機に何か異常が起きています。

対処のしかた：いったん電源を切り、5秒以上待ってからもう一度電源を入れ直してください。それでもこのメッセージが消えない場合は、すみやかに電源を切り、本機をお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

W2102

メッセージの内容：用紙幅の検知に失敗しました。
対処のしかた：いったん電源を切り、用紙が汚れていないか確認してください。汚れている場合は、用紙を取り替えるか切り取るかして、電源を入れ直してください。それでもこのメッセージが消えない場合は、すみやかに電源を切り、本機をお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

W2105

メッセージの内容：用紙幅の検知に失敗しました。
対処のしかた：いったん電源を切り、用紙が汚れていないか確認してください。汚れている場合は、用紙を取り替えるか切り取るかして、電源を入れ直してください。それでもこのメッセージが消えない場合は、すみやかに電源を切り、本機をお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

W2114

メッセージの内容：用紙斜行の検知に失敗しました。
対処のしかた：いったん電源を切り、用紙が汚れていないか確認してください。汚れている場合は、用紙を取り替えるか切り取るかして、電源を入れ直してください。それでもこのメッセージが消えない場合は、すみやかに電源を切り、本機をお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

W2115

メッセージの内容：用紙斜行の検知に失敗しました。
対処のしかた：いったん電源を切り、用紙が汚れていないか確認してください。汚れている場合は、用紙を取り替えるか切り取るかして、電源を入れ直してください。それでもこのメッセージが消えない場合は、すみやかに電源を切り、本機をお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

W2301

メッセージの内容：拍車ローラが開きません。
対処のしかた：いったん電源を切り、トップカバーを静かに開けて、用紙がつまっているかどうか確認し、つまっているときは用紙を取り除いて電源を入れ直してください。
それでもこのメッセージが消えない場合は、すみやかに電源を切り、本機をお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

W2302

メッセージの内容：拍車ローラが閉じません。
対処のしかた：いったん電源を切り、トップカバーを静かに開けて、用紙がつまっているかどうか確認し、つまっているときは用紙を取り除いて電源を入れ直してください。
それでもこのメッセージが消えない場合は、すみやかに電源を切り、本機をお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

W2501

メッセージの内容：カッターが正常に動作しません。
対処のしかた：いったん電源を切り、トップカバーを静かに開けて、用紙がつまっているかどうか確認し、つまっているときは用紙を取り除いて電源を入れ直してください。
それでもこのメッセージが消えない場合は、すみやかに電源を切り、本機をお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

W2502

メッセージの内容：カッターが正常に動作しません。
対処のしかた：いったん電源を切り、トップカバーを静かに開けて、用紙がつまっているかどうか確認し、つまっているときは用紙を取り除いて電源を入れ直してください。
それでもこのメッセージが消えない場合は、すみやかに電源を切り、本機をお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

W3006

メッセージの内容：時間設定機能がうまく働きません。

対処のしかた：いったん電源を切り、5秒以上待ってからもう一度電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えない場合は、すみやかに電源を切り、本機をお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

W5501

メッセージの内容：通信エラーです。

対処のしかた：いったん電源を切り、SCSIケーブルを抜き差して、差し込み不良などが無いことを確認し電源を入れ直してください。
それでもこのメッセージが消えない場合は、すみやかに電源を切り、本機をお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

W6802

メッセージの内容：ﾍｯﾄﾞ ｲﾁ ﾁｮｳｾｲ(ｼﾞﾄﾞｳ)機能がうまく働きません。

対処のしかた：いったん電源を切り、用紙が汚れていないか確認してください。汚れている場合は、用紙を取り替えるか切り取るかして、電源を入れ直してください。それでもこのメッセージが消えない場合は、すみやかに電源を切り、本機をお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

W6810

メッセージの内容：用紙幅の検知に失敗しました。

対処のしかた：いったん電源を切り、用紙が汚れていないか確認してください。汚れている場合は、用紙を取り替えるか、切り取るかして電源を入れ直してください。
それでもこのメッセージが消えない場合は、すみやかに電源を切り、本機をお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

```
W6820
```

メッセージの内容：ヘッドチョウセイ（ジドウ）機能がうまく働きません。

対処のしかた：用紙の汚れや、ヘッドの目つまりが原因です。電源を入れ直して、用紙が汚れている場合は用紙を交換し、ヘッドのクリーニングを行った後もう一度ﾍｯﾄﾞﾁｮｳｾｲを実施してください。
それでもこのメッセージが消えない場合は、すみやかに電源を切り、本機をお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

```
W7100
```

メッセージの内容：プリンタの電源を入れたときに、プリントヘッドがきちんと取り付けられていません。

対処のしかた：いったん電源を切り、プリントヘッドがきちんと取り付けられているか確認し、取り付け直してください。その後、電源を入れ直して印字位置の自動調整をおこなってください。（→p.5-10）
それでもこのメッセージが消えない場合は、すみやかに電源を切り、本機をお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。


```
W7280
```

メッセージの内容：プリントヘッドの自動ノズルチェック動作に失敗しました。

対処のしかた：いったん電源を切り、電源を入れ直してください。それでもこのメッセージが消えない場合は、すみやかに電源を切り、本機をお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

W7801

メッセージの内容：プリントヘッドがきちんと取り付けられていません。

対処のしかた：いったん電源を切り、プリントヘッドがきちんと取り付けられているか確認し、取り付け直してください。その後、電源を入れ直して印字位置の自動調整をおこなってください。（→p.5-10）
それでもこのメッセージが消えない場合は、すみやかに電源を切り、本機をお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

W8101

メッセージの内容：用紙の位置が適切な位置にありません。左側に寄っています。

対処のしかた：電源を入れ直してロール紙カセットを開け、用紙を正しくセットしてください。ロール紙をお使いの場合は、巻きに乱れが無いか確認し、ある場合は直してください。
それでもこのメッセージが消えない場合は、すみやかに電源を切り、本機をお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

W8102

メッセージの内容：用紙の位置が適切な位置にありません。右側に寄っています。

対処のしかた：電源を入れ直してロール紙カセットを開け、用紙を正しくセットしてください。ロール紙をお使いの場合は、巻きに乱れが無いか確認し、ある場合は直してください。
それでもこのメッセージが消えない場合は、すみやかに電源を切り、本機をお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

```
Wb001
```

メッセージの内容：カッターが正常に動作しません。
対処のしかた：いったん電源を切り、トップカバーを静かに開けて、用紙がつまっているかどうか確認し、つまっているときは用紙を取り除いて電源を入れ直してください。
それでもこのメッセージが消えない場合は、すみやかに電源を切り、本機をお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

```
Wb002
```

メッセージの内容：キャリッジの初期化動作に失敗しました。
対処のしかた：いったん電源を切り、トップカバーを静かに開けて、用紙がつまっているかどうか確認し、つまっているときは用紙を取り除いて電源を入れ直してください。
それでもこのメッセージが消えない場合は、すみやかに電源を切り、本機をお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。


```
Wb102
```

メッセージの内容：紙づまりの自動復帰動作に失敗しました。
対処のしかた：いったん電源を切り、トップカバーを静かに開けて、用紙がつまっているかどうか確認し、つまっているときは用紙を取り除いて電源を入れ直してください。
それでもこのメッセージが消えない場合は、すみやかに電源を切り、本機をお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

```
Wc000
```

メッセージの内容：キャリッジが正常に動作しません。
対処のしかた：いったん電源を切り、トップカバーを静かに開けて、用紙がつまっていたら用紙を取り除き、リリースレバーaが上がっていたら下げて元の位置に戻して電源を入れ直してください。また、レールが汚れていてキャリッジが移動できなくなっている可能性があります。その場合はレール部を清掃し、電源を入れ直してください。（→レール部：p.9-5）
それでもこのメッセージが消えない場合は、すみやかに電源を切り、本機をお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

```
Wc001
```

メッセージの内容：用紙を正常に搬送しません。
対処のしかた：いったん電源を切り、トップカバーを静かに開けて、用紙がつまっているかどうか確認し、つまっているときは用紙を取り除いて電源を入れ直してください。
それでもこのメッセージが消えない場合は、すみやかに電源を切り、本機をお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

```
Wc002
```

メッセージの内容：キャリッジが正常に動作しません。
対処のしかた：電源を切ってレール部を清掃し、電源を入れ直してください。
（→レール部：p.9-5）
それでもこのメッセージが消えない場合は、すみやかに電源を切り、本機をお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

第9章

プリンタの保守

この章では、本機の日常の清掃および点検や、廃インクタンクの交換について説明します。

日常のお手入れ

本機をながくお使いいただくために、日常のお手入れのしかたを説明します。

プリンタの清掃

紙づまりなどの給紙不良やプリント品質の低下を防ぐために、定期的にプリンタを清掃してください。特に、プラテン周辺は汚れやすいのでこまめに清掃してください。



警告

- 清掃のときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。
- 機械を分解したり、改造したりしないでください、内部には高温・高圧の部分があり、火災や感電の原因になります。
- 機械の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスが機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 清掃のときは、中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。



注意

- 機械内部にクリップやホッチキスの針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが機械内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になります。
- 清掃など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が機械内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

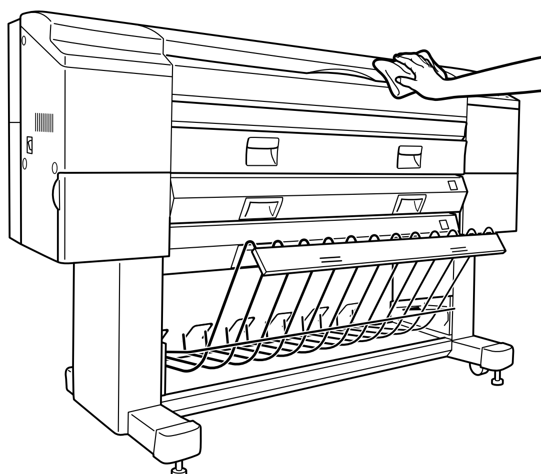


お願い

- 有機溶剤、スプレー清浄剤などは使用しないでください。これらのものをお使いになると、プリンタ表面の色が落ちたり外装が溶けたりすることがあります。
- プラテンやピンチローラの清掃をおこなう前に、キャリッジがホームポジションにあることを確認してください。

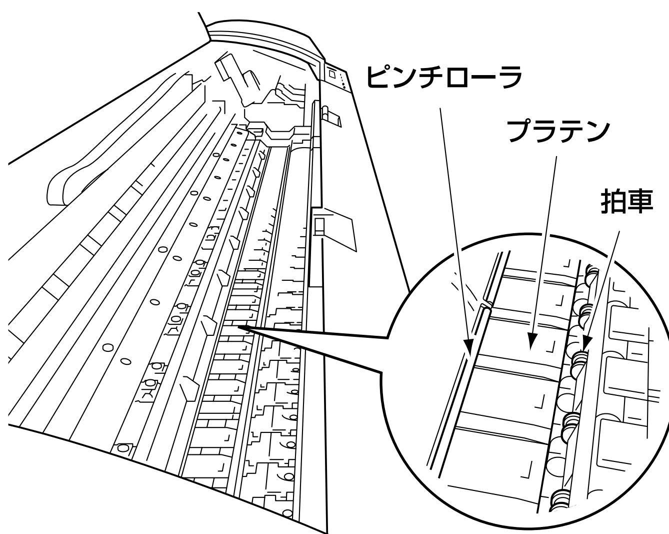
●外装カバー

汚れが気になり出したら、水を含ませてよくしぼった布で拭いたあと、乾拭きします。



●プラテン周辺部（プラテン、ピンチローラ）

水を含ませてよくしぼった布で拭いたあと、乾拭きします。
（清掃の目安は2日に1回程度です）

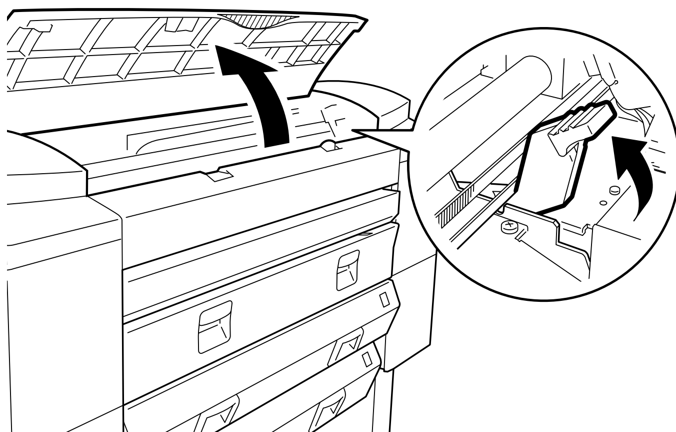



お願い

●プラテンを拭くときは拍車に布が触れないように注意してください。布をひっかけて拍車が壊れると、紙づまりの原因になります。

1 電源を切り、電源コードを抜きます。

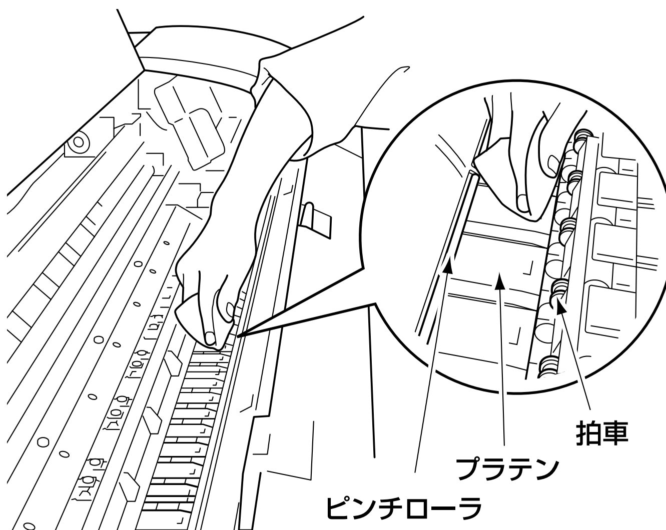
2 トップカバーを開け、リリースレバーaを上げて搬送部を解除します。



3 水を含ませてよくしぼった布で拭いた後、乾拭きします。



●プラテンやピンチローラを清掃するときは、手前にある拍車に布が触れないようにご注意ください。布をひっかけて拍車が壊れると、紙づまりの原因になります。

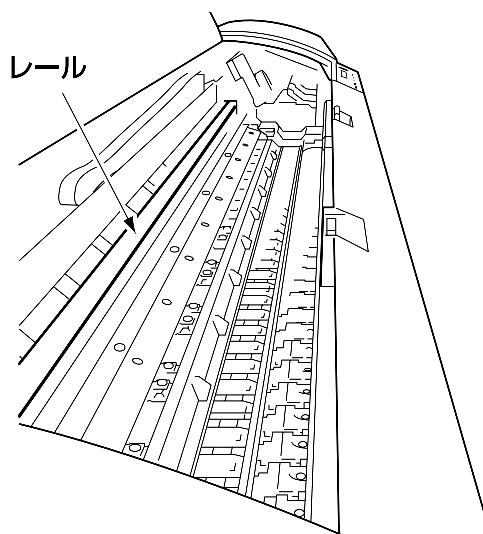


4 リリースレバーaを元に戻し、トップカバーを静かに閉めます。

5 電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れます。

●レール部

毛羽立たない乾いた布（木綿布など）で乾拭きします。
（清掃の目安は、3ヶ月に1回程度です。）

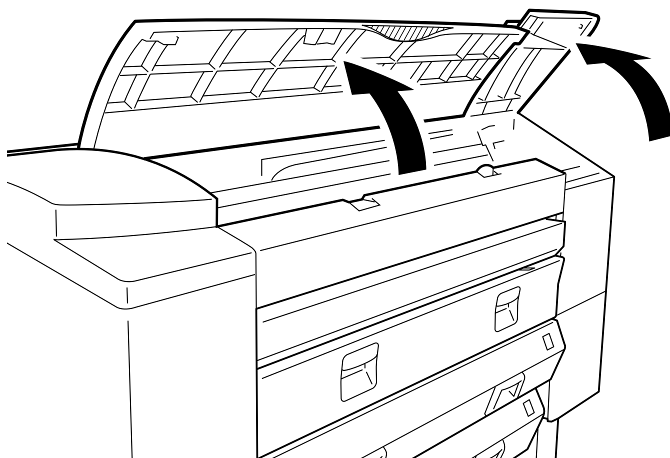



お願い

●レールを拭くときはリニアスケールに布が触れないように注意してください。布をひっかけてリニアスケールが傷付くと、故障の原因になります。

次ページへ続く

1 電源は入れたまま、右上カバーとトップカバーを開けます。

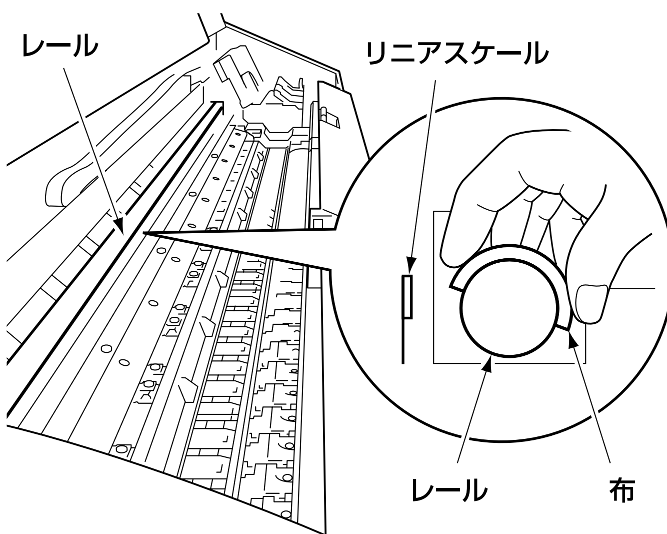


2 電源を切り、電源コードを抜きます。

3 毛羽立たない乾いた布（木綿布など）で、乾拭きします。下図のように上半分を拭きます。


お願い

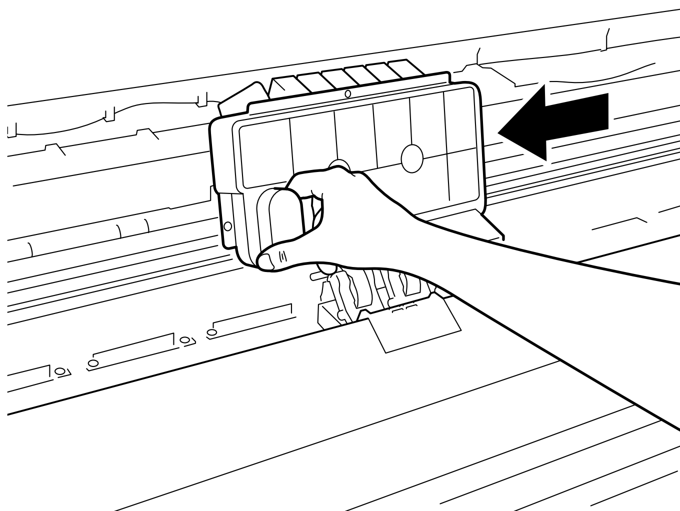
●レールを清掃するときは、奥側にあるリニアスケールに布が触れないようにご注意ください。布をひっかけてリニアスケールが壊れると、故障の原因になります。



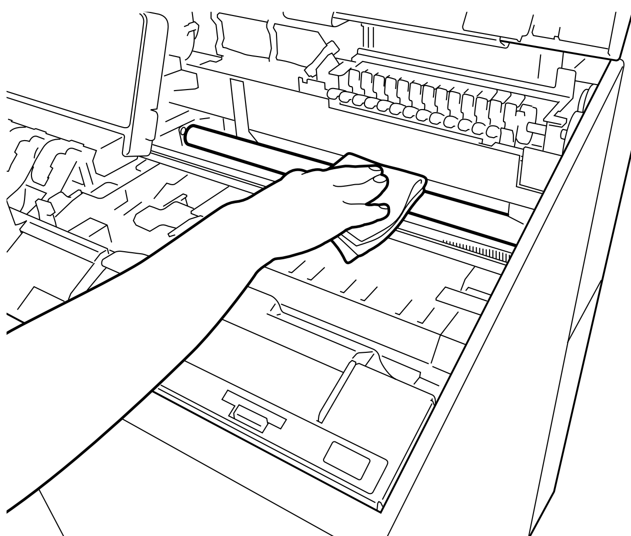
4 キャリッジを中央に移動させます。



●キャリッジはゆっくりと移動させてください。速く移動させようとすると、機械の故障の原因になることがあります。



5 ホームポジション部のレールを拭きます。

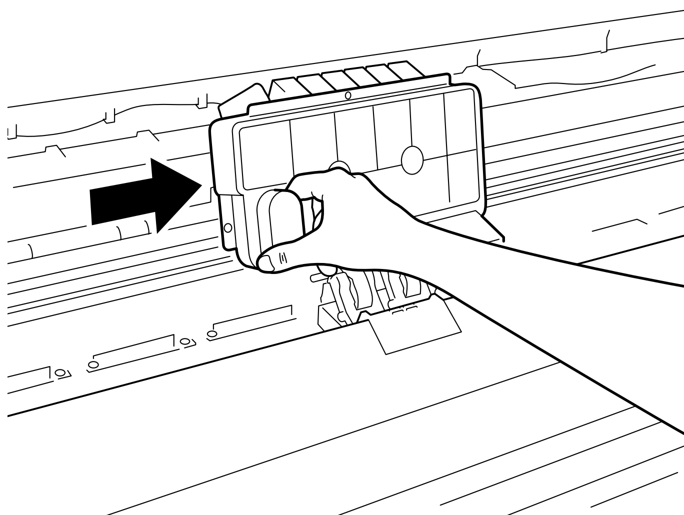


次ページへ続く

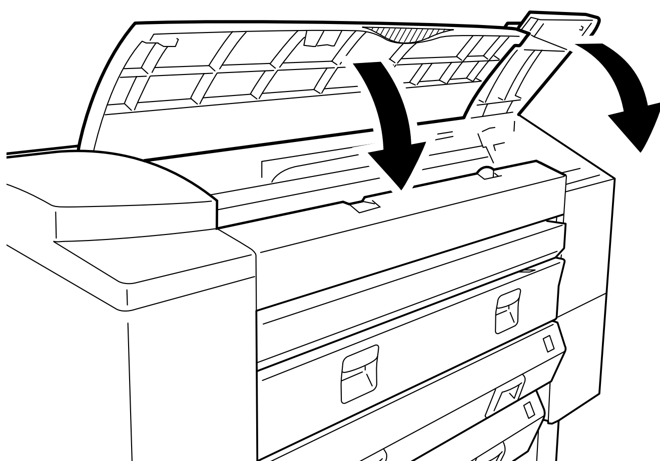
6 清掃後、キャリッジを右端に戻します。



●キャリッジはゆっくりと移動させてください。速く移動させようとすると、機械の故障の原因になることがあります。



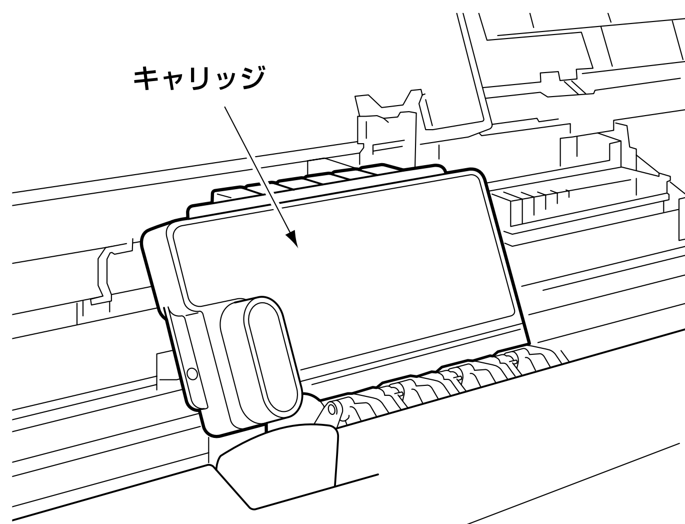
7 右上カバーとトップカバーを閉めます。



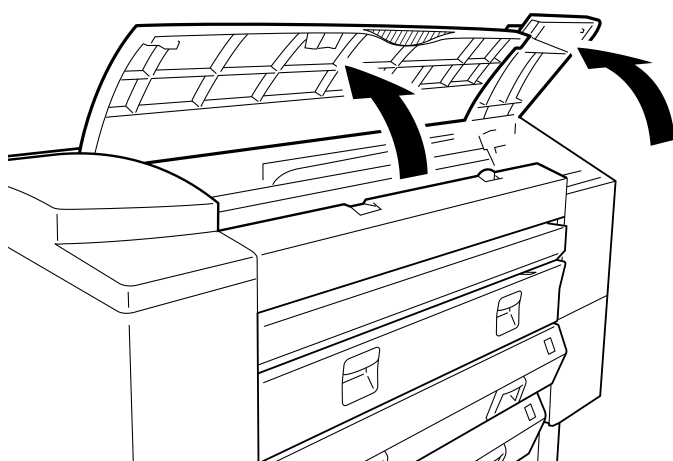
8 電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れます。

●キャリッジ部

汚れが気になり出したら水を含ませてよくしぼった布で拭いたあと、乾拭きします。



1 電源は入れたまま、右上カバーとトップカバーを開けます。



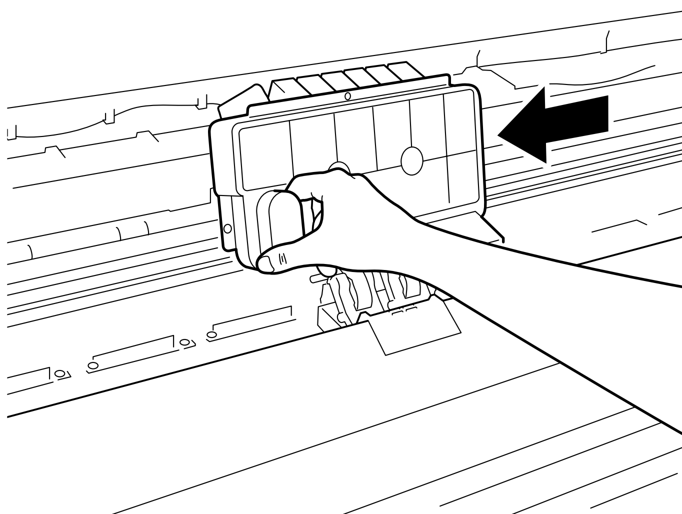
2 電源を切り、電源コードを抜きます。

次ページへ続く

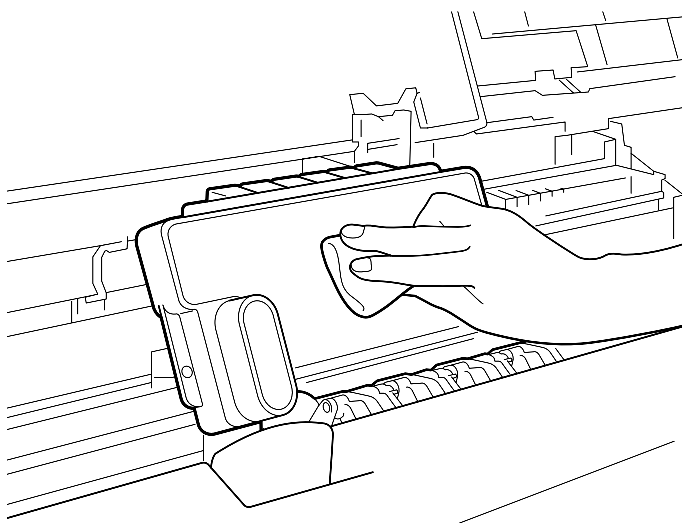
3 キャリッジを中央に移動させます。



●キャリッジはゆっくりと移動させてください。速く移動させようとすると、機械の故障の原因になることがあります。



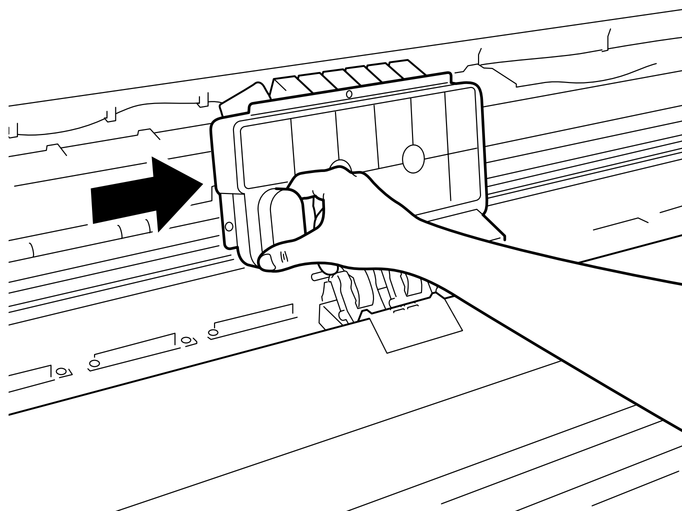
4 水を含ませてよくしぼった布で拭いたあとに、乾拭きします。



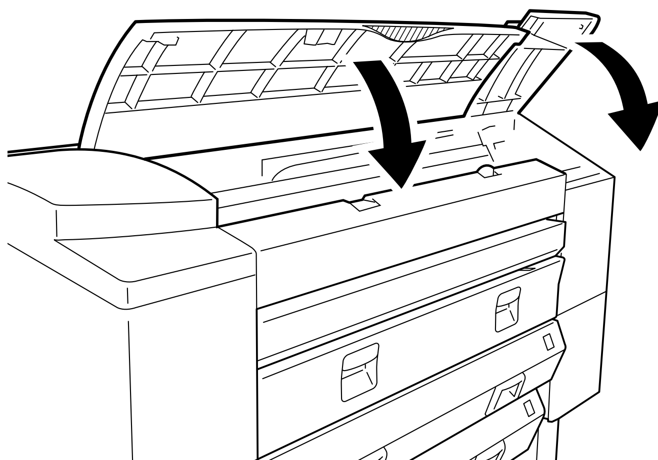
5 掃除後、キャリッジを右端に戻します。


お願い

●キャリッジはゆっくりと移動させてください。速く移動させようとすると、機械の故障の原因になることがあります。



6 右上カバーとトップカバーを閉めます。



7 電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れます。

プリントヘッドのクリーニングについて

本機は、プリントヘッドのヘッド部のノズルの目づまりが起きないよう、定期的に自動でヘッドクリーニングをおこないます。
また、新しいプリントヘッドを交換したときにも、本機はプリントの品質を保持するために自動的にヘッドクリーニングをおこないます。
それでも画像がかすれたりインクの出が悪くなったときは、「クリーニング」メニューで任意にヘッドクリーニングをおこなうことができます。
必要に応じてヘッドクリーニングをおこなってください。
ヘッドクリーニングのしかたについては、第5章 よりきれいにプリントするための「ヘッドのクリーニング」（→P.5-8）をご覧ください。


お願い

●ヘッドクリーニングはインクを多く消費します。必要なとき以外はヘッドクリーニングをおこなわないでください。

ヘッドクリーニングをおこなってもプリント結果が改善されないときは、プリントヘッドの寿命が考えられます。（→プリント結果を見て交換する：P.6-8）

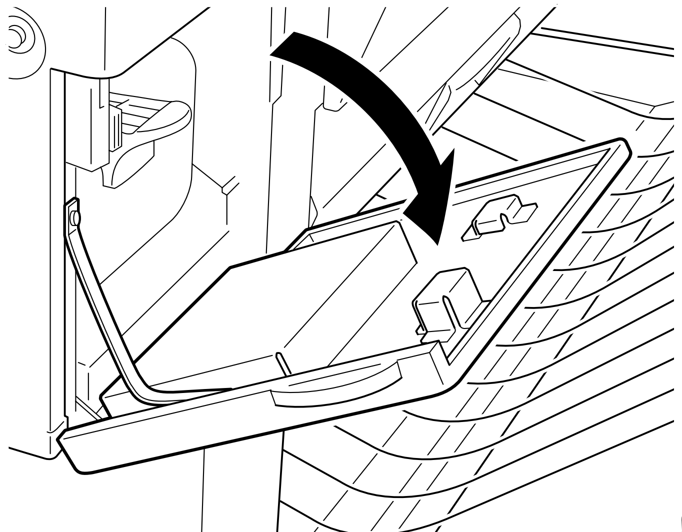
廃インクタンクの交換

本機は、安定したプリントの品質を得るために、必要に応じてヘッド内のインクを吸引し、廃インクタンク内に回収しています。“ハイインクタンクヲ コウカンシテクダサイ”というメッセージが表示されたら廃インクタンクを交換してください。

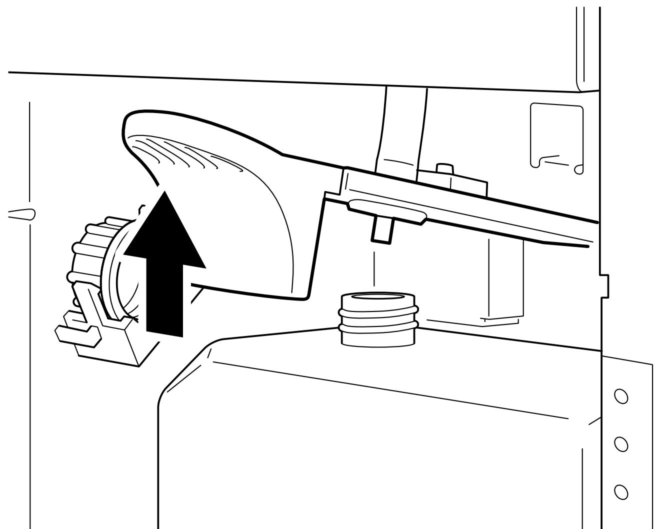
廃インクタンクの交換のしかた

1 電源を切ります。

2 左下カバーを開けます。



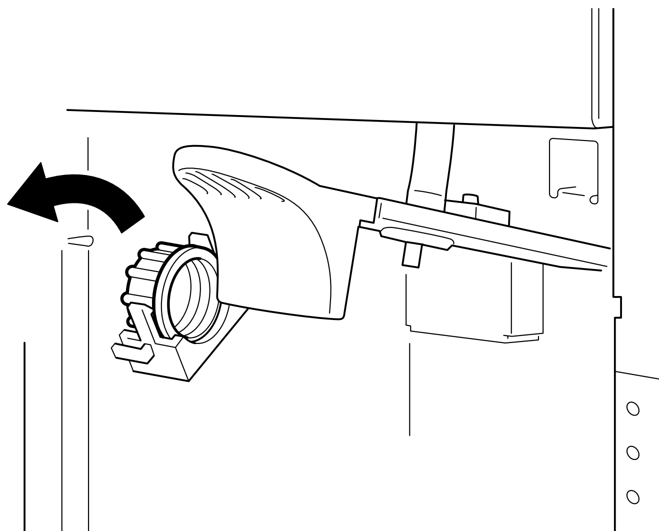
3 廃インクタンク固定レバーを解除します。



次ページへ続く

9

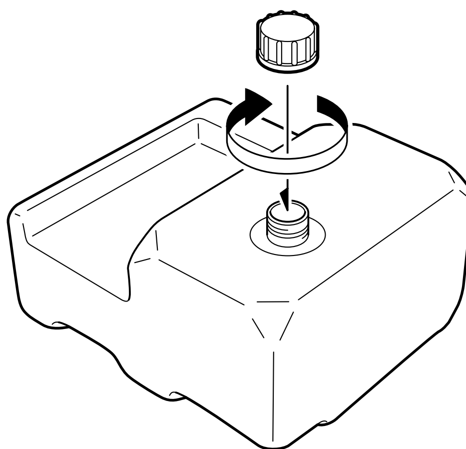
4 廃インクタンクキャップをキャップ置きから取り出します。



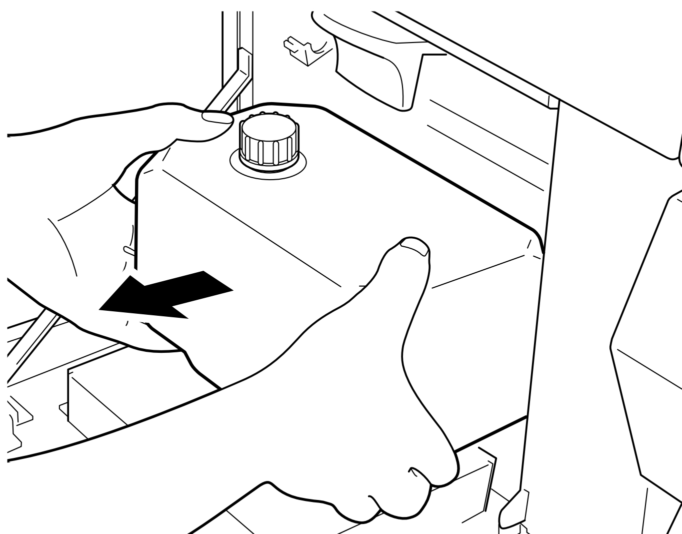
5 廃インクタンクを少し手前に引き出して、口にキャップをします。

 注意

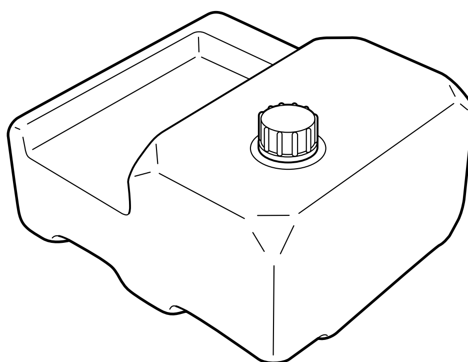
● 廃インクタンクにキャップをするとき、廃インクタンクの口の周りや固定レバーに付いているチューブに触れないように注意してください。インクで手を汚すことがあります。また、インクがこぼれないように廃インクタンクにしっかりとキャップを閉めてください。



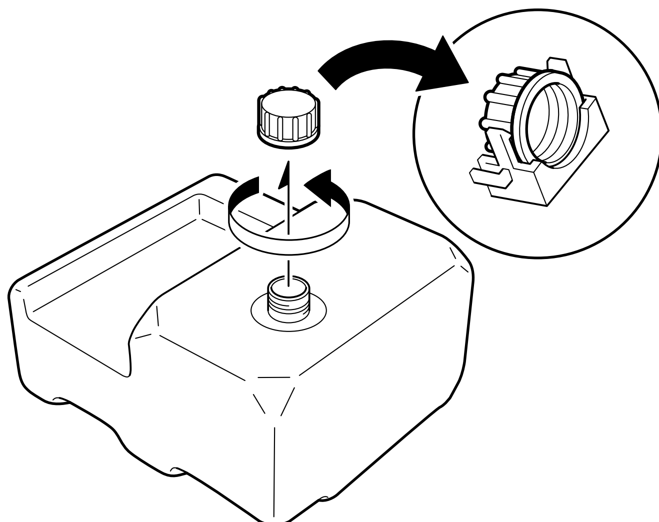
6 廃インクタンクを手前側に静かに引き抜きます。



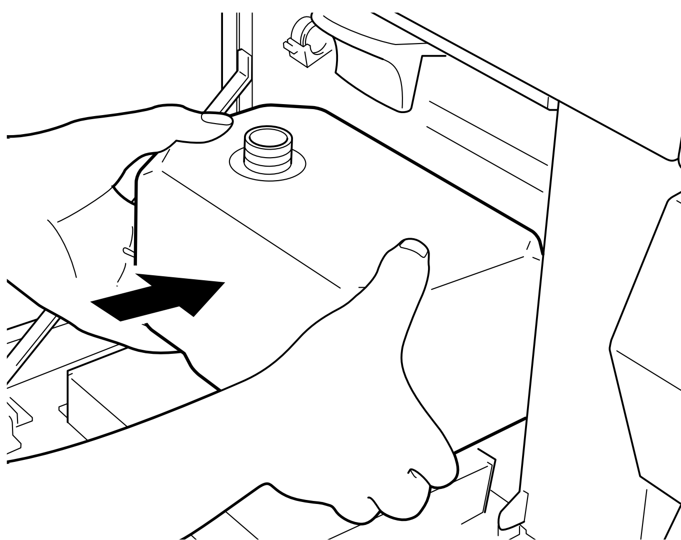
7 新しい廃インクタンクを用意します。



8 廃インクタンクキャップを外し、キャップ置きに置きます。



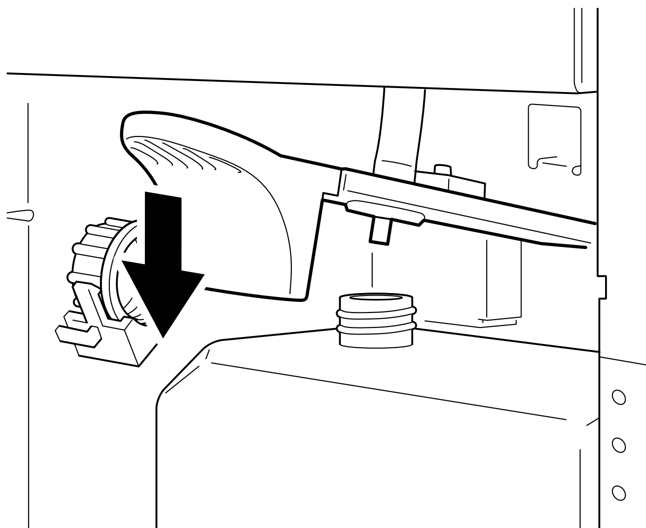
9 新しい廃インクタンクをセットします。



10 廃インクタンク固定レバーをセットします。

 注意

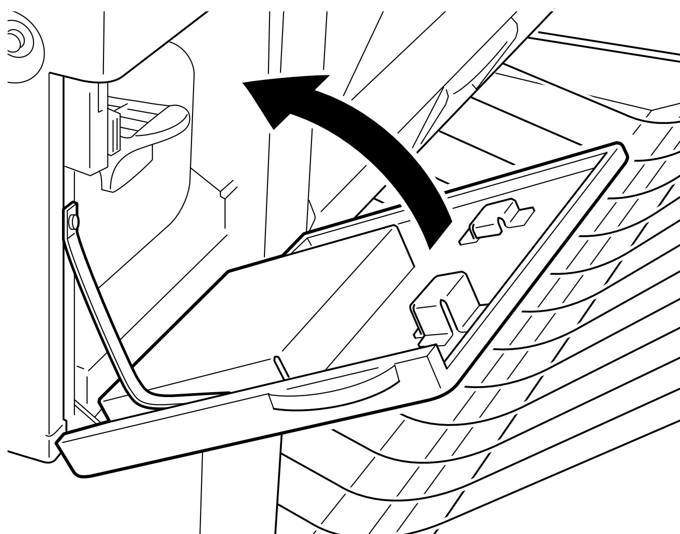
●廃インクタンク固定レバーをセットするときは、レバーに付いているチューブが廃インクタンクの口の中に入るようにセットしてください。正しくセットされないと、廃インクが漏れて周囲が汚れます。




メモ

・使用済みの廃インクタンクは、回収のご協力をお願いします。
（→P.6-6）
・お捨てになる場合には、地域の条例にしたがってください。

11 左下カバーを閉じます。



12 電源を入れます。

第10章

困ったときは

この章では、本機が正常に動作しないとき、画像の品質に問題があるときの対処のしかたを説明します。
故障かなと思ったとき、必要に応じてお読みください。

きれいにプリントされないとき

画像に縦／横線のずれや黒スジ／白スジが出たりインクがかすれたりするなど、きれいにプリントされないときの原因と対処方法について説明します。
原因項目を確認し、対処方法にしたがってください。

インクが出ない、プリントがかすれる

原因	対処方法
プリントヘッドのヘッド部分が目づまりしています。	ヘッドのクリーニングを2〜3回おこなってください。（→ヘッドのクリーニング：P5-8）それでも直らない場合はプリントヘッドの寿命です。新しいプリントヘッドと交換してください。（→BJプリントヘッドの交換のしかた：P6-14）

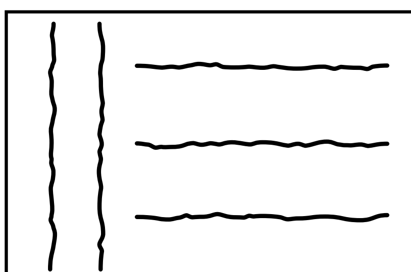
プリント画像が汚れる

原因	対処方法
プリントヘッドのヘッド部と用紙のプリント面がこすれています。	紙間選択レバーを使って用紙とヘッド部の間隔を広げてください。（→紙間を設定する：P5-2）
キヤノン推奨用紙以外の用紙を使って高濃度の画像をプリントしています。	キヤノン推奨用紙以外の用紙を使って高濃度の画像をプリントすると、用紙が波打ち、プリント面とヘッド部がこすれて汚れることがあります。キヤノン推奨用紙をお使いになることをおすすめします。(→用紙の種類とサイズ：P4-2）また、プリンタドライバ側で「濃度」の設定を調整してプリントしてください。詳しくは各プリンタドライバガイドをご覧ください。

インクがにじんでいる

原因	対処方法
インクのにじみやすい用紙を使用しています。	キヤノン推奨用紙をお使いになることをおすすめします。（→用紙の種類とサイズ：P4-2）
本機にセットされている用紙の種類とプリンタドライバ側の「用紙種類」の設定が合っていません。	本機にセットしている用紙の種類とプリンタドライバ側の「用紙種類」の設定を合わせてください。詳しくは各プリンタドライバガイドをご覧ください。
印刷濃度の設定が高すぎます。	プリンタドライバ側で「濃度」の設定を調整してプリントしてください。詳しくは各プリンタドライバガイドをご覧ください。

直線がまっすぐに見えない



原因	対処方法
プリントヘッドと用紙の間隔が広くなっています。	紙間選択レバーを上向きに起こしてプリントヘッドの位置を下げ、ヘッドと用紙の間隔を狭めてください。（→紙間を設定する：P5-2）
各色の印字位置がずれています。	ユーザーメニューの「ヘッドイチ　チョウセイ（ジドウ）」メニューを実行して、各色の印字位置のずれを調整してください。（→印字位置の調整：P5-10）

プリント画像がうすい

原因	対処方法
用紙の種類や用紙の品質に問題があります。	キヤノン推奨用紙をお使いになることをおすすめします。（→用紙の種類とサイズ：P4-2）
本機の推奨環境で使用されていません。	本機の推奨環境で本機をお使いください。本機の推奨環境は以下の通りです。 温度：15～30℃、湿度：10～80%
印刷濃度の設定が低すぎます。	プリンタドライバ側で「濃度」の設定を調整してプリントしてください。詳しくは各プリンタドライバガイドをご覧ください。
プリンタドライバ側の「カラーバランス」の設定が適切ではありません。	プリンタドライバ側で「カラーバランス」の設定を調整してプリントしてください。詳しくは各プリンタドライバガイドをご覧ください。
プリントヘッドのノズルがつまっています。	ユーザーメニューの「チェック　パターン」メニューを使ってテストプリントをおこない、ノズルの状態を確認してください。（→テストプリントする：P2-14） ノズルがつまっている色を確認したら、「クリーニング」メニューを設定してノズルのクリーニングをおこなってください。（→ヘッドのクリーニング：P5-8） クリーニングを3回までおこなってもノズルの目づまりが回復しないときは、新しいプリントヘッドに交換してください。（→BJプリントヘッドの交換のしかた：P6-15）

横方向に白スジや黒スジが出る

原因	対処方法
各色の印字位置がずれています。	ユーザーメニューの「ヘッドイチ　チョウセイ（ジドウ）」メニューを実行して、各色の印字位置のずれを調整してください。（→印字位置の調整：P5-10）
プリントヘッドのヘッド部分が目づまりしています。	ユーザーメニューの「チェック　パターン」メニューを使ってテストプリントをおこない、ノズルの状態を確認してください。（→テストプリントする：P2-13） ノズルがつまっている色を確認したら、「クリーニング」メニューを設定してノズルのクリーニングをおこなってください。（→ヘッドのクリーニング：P5-8） クリーニングを3回までおこなってもノズルの目づまりが回復しないときは、新しいプリントヘッドに交換してください。（→BJプリントヘッドの交換のしかた：P6-14）

横方向にムラがある

原因	対処方法
各色の印字位置がずれています。	ユーザーメニューの「ヘッドイチ　チョウセイ（ジドウ）」メニューを実行して、各色の印字位置のずれを調整してください。（→印字位置の調整：P5-10）
プリンタドライバ側の「印刷品位」の設定が適切ではありません。	プリンタドライバ側で「印刷品位」の設定を調整してプリントしてください。詳しくは各プリンタドライバガイドをご覧ください。

画面上の色味とプリントの色味が異なる

原因	対処方法
各色の印字位置がずれています。	ユーザーメニューの「ヘッドイチ　チョウセイ（ジドウ）」メニューを実行して、各色の印字位置のずれを調整してください。（→印字位置の調整：P5-10）
プリントヘッドと用紙の間隔が広くなっています。	紙間選択レバーを上向きに起こしてプリントヘッドの位置を下げ、ヘッドと用紙の間隔を狭めてください。（→紙間を設定する：P5-2）
プリンタドライバ側の「マッチング方法」の設定が適切ではありません。	プリンタドライバ側で「マッチング方法」の設定を調整してプリントしてください。詳しくは各プリンタドライバガイドをご覧ください。
プリンタドライバ側の「カラーバランス」の設定が適切ではありません。	プリンタドライバ側で「カラーバランス」の設定を調整してプリントしてください。詳しくは各プリンタドライバガイドをご覧ください。
プリンタドライバ側の「ガンマ係数」の設定が適切ではありません。	プリンタドライバ側で「ガンマ係数」の設定を調整してプリントしてください。詳しくは各プリンタドライバガイドをご覧ください。


メモ

・コンピュータのディスプレイ上の色味とプリンタでプリントしたときとの色味とでは、発色方法が違うため色合いに差異が生じることがあります。ディスプレイ上では、赤、緑、青の「光の三原色」と呼ばれる3色の組み合わせで様々な色を表現しますが、プリント画像では、イエロー、マゼンタ、シアンの「色の三原色」を組み合わせて様々な色を再現しているからです。

カラーで作成した画像がモノクロでプリントされる

原因	対処方法
アプリケーションソフトの設定がカラーデータになっていません。	アプリケーションソフト上でカラーデータの設定にしてください。
プリンタドライバ側で「グレースケール印刷」が設定されています。	プリンタドライバ側で「グレースケール印刷」の設定を解除してプリントしてください。詳しくは各プリンタドライバガイドをご覧ください。

プリントした用紙が汚れる

原因	対処方法
プラテンまたはピンチローラが汚れています。	プラテンまたはピンチローラを清掃します。（→プリンタの清掃：P9-3）
高濃度の画像をプリントしています。	高濃度の画像をプリントするときはユーザーメニューの「インク　カンソウジカン（ページ）」または「インク　カンソウジカン（スキャン）」メニューを使って用紙上のインクを乾燥させてください。（→プリント後にインクを乾燥させる時間を設ける：P7-12、プリントの途中で定期的にインクを乾燥させる時間を設ける：P7-13）

用紙の端部が汚れる

原因	対処方法
プラテンまたはピンチローラが汚れています。	プラテンまたはピンチローラを清掃します。（→プリンタの清掃：P9-3）

プリントした画像が用紙におさまらない

原因	対処方法
Windowsのコンピュータをお使いの場合、プリンタドライバ側の「用紙サイズ」と「用紙方向」の設定が適切ではありません。	プリンタドライバ側で「用紙サイズ」と「用紙方向」設定を調整してプリントしてください。詳しくは各プリンタドライバガイドをご覧ください。
Macintoshのコンピュータをお使いの場合、プリンタドライバ側の「印刷方向」の設定が適切ではありません。	プリンタドライバ側で「印刷方向」設定を調整してプリントしてください。詳しくは各プリンタドライバガイドをご覧ください。
プリンタドライバ側の「拡大/縮小」の設定が適切ではありません。	プリンタドライバ側で「拡大/縮小」の設定を調整してプリントしてください。詳しくは各プリンタドライバガイドをご覧ください。

ロール紙の先端が変色する

原因	対処方法
キヤノン推奨用紙以外の用紙を使っていて、「ヨウシオクリ　セッテイ」メニューの時間設定をしていない。	用紙が黄色に変色する場合は「ローラ1」の設定を、用紙の白色度が強まる場合は「ローラ2」の設定をおこなってください。（→ロール紙の品質維持機能を設定する：P7-19）

ロール紙の終端部が機械内部でつまる

原因	対処方法
キヤノン推奨用紙以外の用紙を使っていて、「ヨウシオクリ　セッテイ」メニューで「マキオワリ」の設定が適切でありません。	「マキオワリ」の設定で「タイプ2」を選択してください。（→ロール紙の品質維持機能を設定する：P7-19）

10

プリンタが正常に動作しないとき

本機が正常に動作しないときの原因と対処方法について説明します。
正常に動作できないとき、本機はメッセージを表示したりブザーを鳴らしたりします。
まずは本機のメッセージディスプレイにエラーメッセージが表示されているか確かめ、エラーメッセージが表示されている場合には「第8章メッセージディスプレイについて」の対処方法にしたがって対処してください。エラーメッセージが表示されない場合は以下の原因項目を確かめ、対処方法にしたがって対処してください。

プリンタドライバがインストールできない

原因	対処方法
お使いのコンピュータのOSに合ったドライバを選択していません。	正しいプリンタドライバをインストールしてください。詳しくは各プリンタドライバガイドをご覧ください。
プリンタドライバのインストール手順が間違っています。	プリンタドライバガイドのインストール手順にしたがってプリンタドライバをインストールしてください。
コンピュータのメモリが不足しています。	コンピュータ上でアプリケーションソフトを複数同時に起動させていると、システムのメモリが不足し、正常にプリンタドライバをインストールできないことがあります。このような場合は、他のアプリケーションソフトを全て終了させ、再度プリンタドライバをインストールしてください。
コンピュータのハードディスク容量が不足しています。	コンピュータ側でハードディスクの空き容量を十分確保してください。（→動作環境について：P2-2）
プリンタドライバインストール用ディスクが壊れています。	プリンタドライバインストール用ディスクが壊れている可能性があります。コンピュータ側でディスクが読めるかどうか確かめてください。読めないときは、本機をお買い求めになった販売店または担当サービスにご連絡ください。

プリンタの電源が入らない

原因	対処方法
電源プラグが本機やコンセントにしっかり差し込まれていません。	電源プラグを確実に接続してください。（→電源に接続する：P2-6）
電源スイッチが入っていません。	電源スイッチを入れてください。（→電源を入れる/切る：P2-9）
コンセントに電源がきていません。	適切なコンセントに電源プラグを差し込んでください。


お願い

●上記項目に問題がない場合は電源を入れ直してください。それでもプリンタが動作を始めないときは、電源を切り、本機をお買い求めになった販売店または担当サービスにご連絡ください。

電源は入るが、オンライン状態にならない

原因	対処方法
トップカバーをはじめとするすべてのカバー類（右下カバーを除く）やロール紙カセットが閉まっていません。	カバー類やロール紙カセットを確実に閉めてください。

プリントが始まらない

原因	対処方法
SCSIケーブルが接続されていません。	SCSIケーブルを確実に接続してください。
SCSIケーブルの仕様が本機やコンピュータの仕様に合っていません。	SCSIケーブルの仕様が本機やコンピュータの仕様に合っているか確かめ、適切なSCSIケーブルを接続してください。（→SCSIケーブルの接続のしかた：P2-3） SCSIケーブルの不具合については、SCSIケーブルの販売元にご相談ください。
コンピュータが本機を認識していません。	コンピュータの電源を入れてから本機の電源を入れたり、コンピュータの電源を入れた後にID設定をおこなってもコンピュータは本機を認識できません。コンピュータを再起動してください。
併用して接続（デイジーチェーン接続）している他のSCSI機器を使用しています。	本機でプリントするときは、RIP（オプション）以外に併用して接続（デイジーチェーン接続）している他のSCSI機器を使用しないでください。
プリンタの状態がオンラインになっていません。	［オンラインキー］を押してオンライン状態にしてください。
用紙がセットされていません。	用紙をセットしてください。（→ロール紙を交換する：P4-9、カット紙をセットする：P4-20）
ファイルの種類を確かめてください。	高濃度の写真画像やグラフィック画像など、容量の大きいデータはコンピュータやプリンタでデータを処理したり転送するための時間がかかるため、プリントしていないように見えることがあります。プリントをいったんキャンセルし元のデータを保存してください。 そのあと、コンピュータに標準添付されているソフト（Windows:ワードパッド、Macintosh:SimpleText）を使って容量の小さいデータを作成し正常にプリントできるか試してください。

原因	対処方法
Windowsのコンピュータをお使いの場合、本機が通常使うプリンタに設定されていません。	コンピュータ側で本機を通常使うプリンタに設定してください。
Macintoshのコンピュータをお使いの場合、セレクタで本機を選択していません。	コンピュータ側のセレクタで本機を選択してください。
コンピュータ側でプリンタが一時停止になっています。	コンピュータ側で一時停止の設定を解除してください。
Windowsのコンピュータをお使いの場合、プリンタポートの設定が合っていません。	コンピュータ側でプリンタポートの設定を確かめ、適切な設定にしてください。
Macintoshのコンピュータをお使いの場合、Apple Talkの設定が合っていません。	コンピュータ側でApple Talkの設定を確かめ、適切な設定にしてください。
本機の使用環境に合っていないコンピュータを使用しています。	本機を使用できるコンピュータのシステム条件を確かめてください。（→動作環境について：P2-2）
SCSIカードの仕様が本機の仕様に合っていません。	キヤノン推奨のSCSIカードを使用することをおすすめします。（→動作環境について：P2-2）


メモ

・プリンタにデータが送られてきてからプリントが始まるまでの時間は、コンピュータの処理能力、アプリケーションソフト、データの内容によって異なります。

プリントが途中で停止する

原因	対処方法
プリント中に、トップカバーをはじめとするすべてのカバー類（右下カバーを除く）やロール紙カセットが開いています。	カバーやカセットを閉めてください。
プリント中に[キャンセルキー]を押しています。	プリント中に[キャンセルキー]を押すと、1ライン分のプリント終了後にプリント動作を停止します。この状態を解除するには[上矢印キー]を押してください。
プリント中に[オンラインキー]を押しています。	プリント中に[オンラインキー]を押すと、オンラインLEDが点滅し、そのページをプリント終了した段階で本機は動作を停止します。この状態を解除するには、もう一度[オンラインキー]を押してください。
ユーザーメニューの「インク　カンソウジカン（ページ）」メニュ―が「アリ」になっています。	「インク　カンソウジカン（ページ）」を「アリ」に設定していると、複数枚連続してプリントするとき１ページごとにインクの乾燥時間をおいてからプリントするため、プリントが途中で停止しているように見えることがあります。設定した時間経過後にプリントが終了します。プリント濃度の高いものをプリントするときは「インク　カンソウジカン（ページ）」を利用します。（→プリント後にインクを乾燥させる時間を設ける：P7-12）
ユーザーメニューの「インジ　セッテイ」メニューの「インク　カンソウジカン（スキャン）」メニューが「アリ」になっています。	「インク　カンソウジカン（スキャン）」を「アリ」に設定していると1ラインずつプリントごとにインクの乾燥時間をおいてからプリントするため、プリントが途中で停止しているように見えることがあります。（→プリントの途中で定期的にインクを乾燥させる時間を設ける：P7-13）
ファイルの種類を確かめてください。	高濃度の写真画像やグラフィック画像など、容量の大きいデータは、コンピュータやプリンタでデータを処理したり転送するための時間がかかるため、プリントしていないように見えることがあります。プリントをいったんキャンセルし元のデータを保存してください。そのあと、コンピュータに標準添付されているソフト（Windows:ワードパッド、Macintosh:SimpleText）を使って容量の小さいデータを作成してプリントできるか試してください。
コンピュータの仕様が、本機の動作保証環境に満足していません。	コンピュータの仕様が動作保証環境に満足するよう環境を整えてください。（→動作環境について：P2-2）

用紙をうまく送らない、用紙がつまる

原因	対処方法
用紙がきちんとセットされていません。	ロール紙は、スピンドルに正しく取り付けた状態でロール紙カセットにセットしてください。そのとき、用紙がたるまないように注意してください。 カット紙は用紙をまっすぐにセットしてください。 （→ロール紙を交換する：P4-9、カット紙をセットする：P4-20）
用紙の種類や用紙の品質に問題があります。	キヤノン推奨用紙をお使いになることをおすすめします。（→用紙の種類とサイズ：P4-2）または、古い用紙や折り目のある用紙を使用しないでください。新しい用紙をお使いください。
本機の推奨環境で使用されていません。	本機の推奨環境で本機をご使用ください。本機の推奨環境は以下の通りです。 温度：15～30℃、湿度：10～80%

プリントした用紙がカールする

原因	対処方法
用紙の種類や用紙の品質に問題があります。	キヤノン推奨用紙をお使いになることをおすすめします。プリント濃度に見合った用紙をご使用ください。 （→用紙の種類とサイズ：P4-2）
本機の推奨環境で使用されていません。	本機の推奨環境で本機をご使用ください。本機の推奨環境は以下の通りです。 温度：15～30℃、湿度：10～80%
本機にセットされている用紙の種類とドライバの「用紙の種類」の設定が合っていません。	本機にセットしている用紙の種類と、ドライバの「用紙の種類」の設定を合わせてください。詳しくは各プリンタドライバガイドをご覧ください。

プリント後、用紙がカットされない

原因	対処方法
ユーザーメニューの「オートカット」メニューが「ナシ」に設定されています。	設定を「アリ」にしてください。（→プリント後に自動でロール紙をカットする：P7-11）

用紙がきれいにカットされない

原因	対処方法
用紙の種類や用紙の品質に問題があります。	キヤノン推奨用紙をお使いになることをおすすめします。（→用紙の種類とサイズ：P4-2）

巻き取り装置を使用しているのに、巻き取りを行わない

原因	対処方法
巻き取り用の紙管が正しくセットされていません。	紙管を正しくセットします。（→巻き取り装置の使いかた：P11-3）
巻き取り装置の[Manually/Auto選択スイッチ]が[Manually]になっています。	[Manually/Auto選択スイッチ]を[Auto]に設定してください。（→巻き取り装置の使いかた：P11-3）
用紙をたるませすぎています。	用紙をたるませすぎるとセンサに用紙がかからず用紙を巻き取りません。巻き取り装置が正常に動作するように用紙を巻き取ってください。（→巻き取り装置の使いかた：P11-3）
用紙ガイドがきちんとセットされていません。	用紙ガイドを正しくセットしてください。（→巻き取り装置の使いかた：P11-3）

巻き取り装置を使用しているのに、プリント後、用紙をオートカットしてしまう

原因	対処方法
ユーザーメニューの「オートカット」メニューが「アリ」に設定されています。	設定を「ナシ」にしてください。（→プリント後に自動でロール紙をカットする：P7-11）

巻き取っている用紙が斜行してしまう

原因	対処方法
巻き取る用紙が紙管に正しくセットされていません。	用紙を正しくセットします。（→巻き取り装置の使いかた：P11-3）
巻き取り用の紙管が正しくセットされていません。	紙管を正しくセットします。（→巻き取り装置の使いかた：P11-3）

用紙がつまったとき

用紙に折り目やシワがあったり用紙がカールしていると、用紙のロード中やプリント中に紙づまりが起きることがあります。紙づまりが起きるとキャリッジは動作を停止し、メッセージディスプレイにメッセージが表示されます。
このメッセージは、紙づまりが発生した箇所によって6種類に分かれています。これらのメッセージが表示されたら、次の手順で紙づまりの処理をおこない、つまっている用紙を取り除いてください。



注意

●用紙を取り除くとき、用紙上のインクが手や服につかないように注意してください。
●用紙を取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように注意してください。

紙づまりの処理のしかた

表示されるメッセージによって、以下の6種類の紙づまりの処理のしかたがあります。表示されたメッセージを確認して、それぞれの手順にしたがって紙づまりの処理をおこなってください。



メモ

・メッセージ1と4の紙づまりの処理手順を簡単に示したフローを次ページに掲載しています。参考にお使いください。

1 “ ロールシカセットAガ　ツマリマシタ
ヨウシヲ　トリノゾイテ　クダサイ ”
（→p.10-18）

2 “ ロールシカセットAガ　キュウシデキマセン
ヨウシヲ　サイセット　シテクダサイ ”
（→p.10-30）

3 “ カットシガ　ツマリマシタ
ヨウシヲ　トリノゾイテ　クダサイ ”
（→p.10-32）

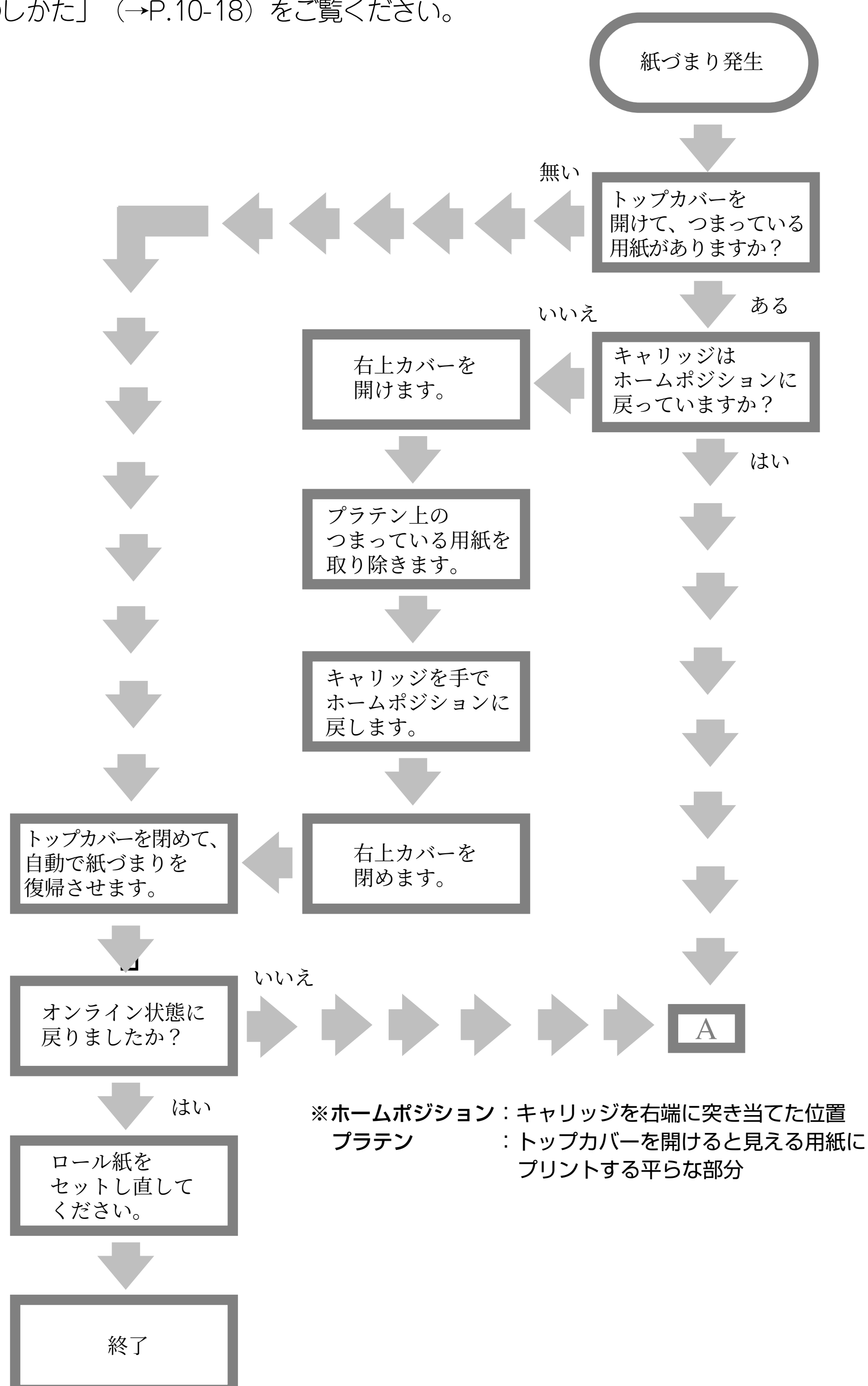
4 “ カセットAノ　ロールシガ　ツマリマシタ
トップカバーヲアケテ　カクニンシテクダサイ ”
（→p.10-18）

5 “ キュウシチュウノ　カセットAガ　アイテイマス
ヨウシヲ　トリノゾイテ　クダサイ ”
（→p.10-42）

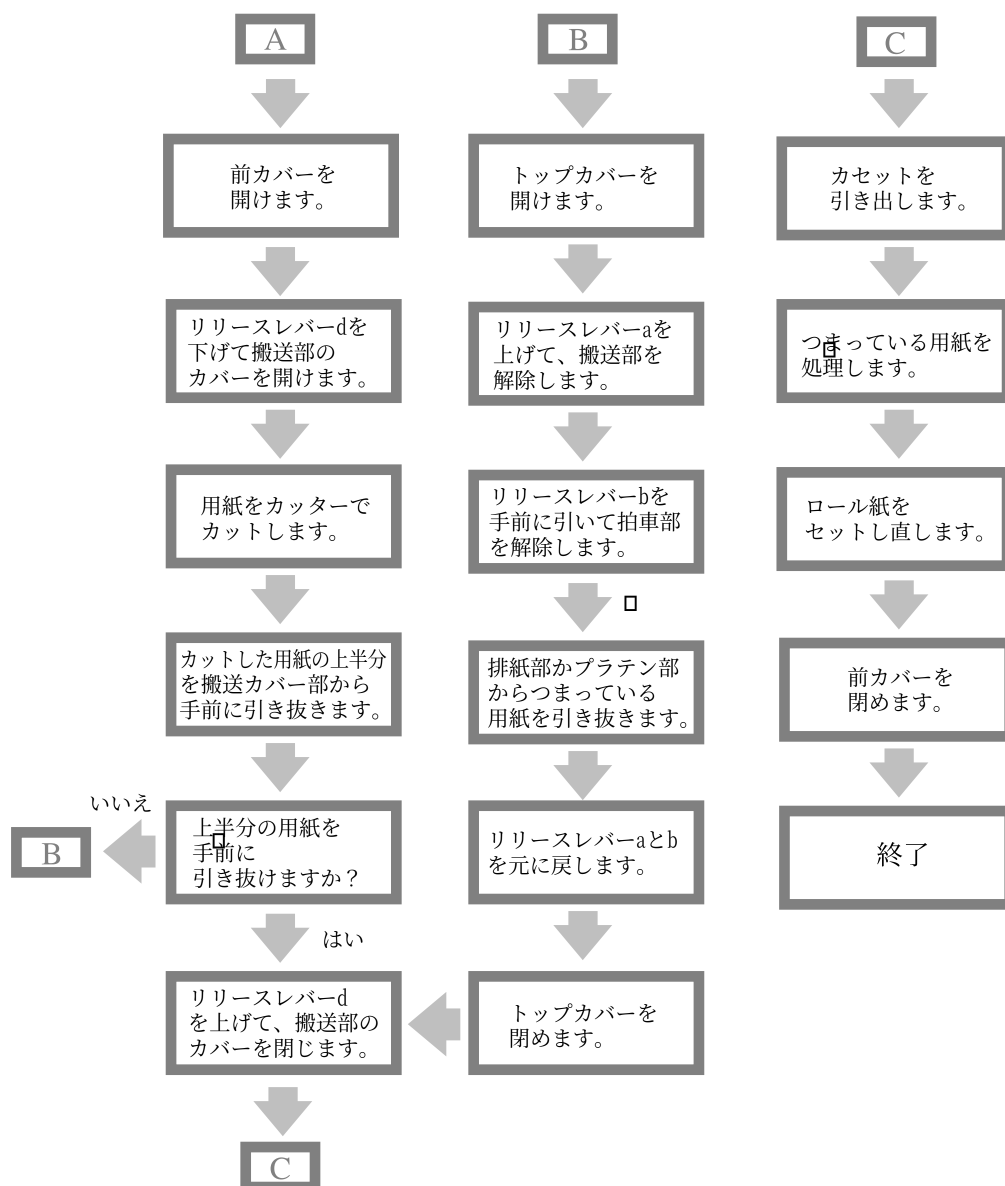
6 “ ハイシグチノヨウシヲ
トリノゾイテ　クダサイ ”
（→p.10-53）

＜メッセージ1と4の紙づまり処理フロー＞

以下は、メッセージ1と4の紙づまり処理手順を簡単に示したフローです。詳しい処理方法については、「メッセージ1と4の紙づまりの処理のしかた」（→P.10-18）をご覧ください。



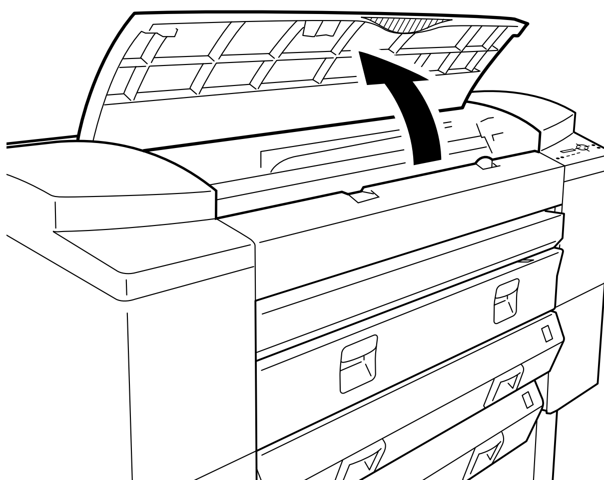
※ホームポジション：キャリッジを右端に突き当てた位置
プラテン　　　　　：トップカバーを開けると見える用紙にプリントする平らな部分


A
前カバーを
開けます。
リリースレバーdを
下げて搬送部の
カバーを開けます。
用紙をカッターで
カットします。
カットした用紙の上半分
を搬送カバー部から
手前に引き抜きます。
上半分の用紙を
手前に
引き抜けますか？
いいえ
B
はい
リリースレバーd
を上げて、搬送部の
カバーを閉じます。
C
B
トップカバーを
開けます。
リリースレバーaを
上げて、搬送部を
解除します。
リリースレバーbを
手前に引いて拍車部
を解除します。
排紙部かプラテン部
からつまっている
用紙を引き抜きます。
リリースレバーaとb
を元に戻します。
トップカバーを
閉めます。
C
カセットを
引き出します。
つまっている用紙を
処理します。
ロール紙を
セットし直します。
前カバーを
閉めます。
終了

● メッセージ1と4の紙づまりの処理のしかた

1 紙づまりが起きたら、プリンタの動作が停止していることを確認します。

2 トップカバーを静かに開けます。



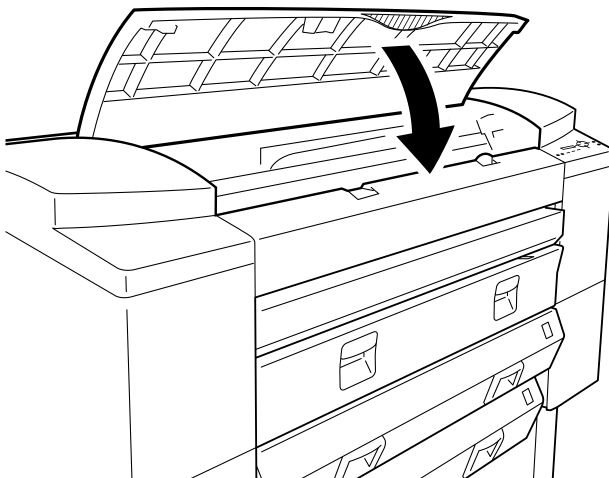
3 プラテン上に用紙があるか確認します。

・用紙がある場合は「手順4」に進んでください。
（→p.10-19）

・用紙がない場合は「手順3-a」に進んでください。
（→p.10-19）

3-a トップカバーを静かに閉めます。

用紙が自動的に巻き戻り、オンライン状態になります。オンライン状態にならない場合は、再度トップカバーを開けて「手順5」に進んでください。



3-b ロール紙をセットし直します。（→ロール紙を交換する：p.4-9）

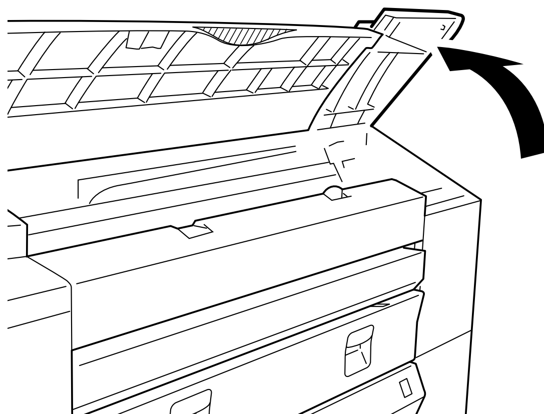
3-c 紙づまりの処理は終了しました。再度プリントしてください。

4 キャリッジがホームポジションに戻っているか確認します。

- ホームポジションに戻っている場合は「手順5」に進んでください。（→p.10-21）
- ホームポジションに戻っていない場合は「手順4-a」に進んでください。（→p.10-20）

次ページへ続く

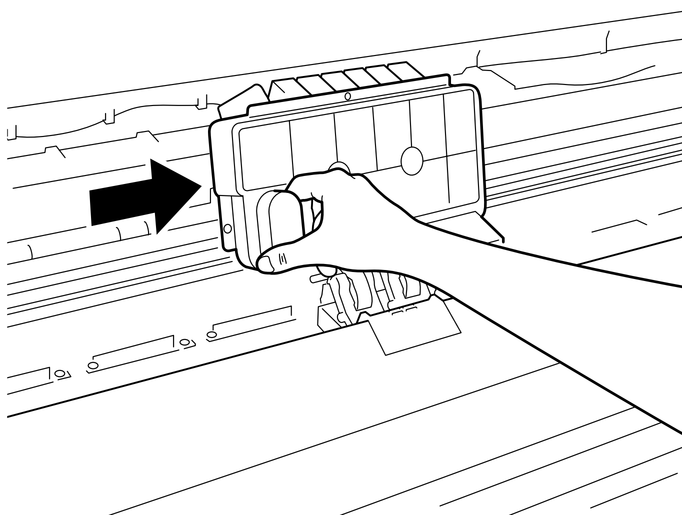
4-a 右上カバーを静かに開けます。



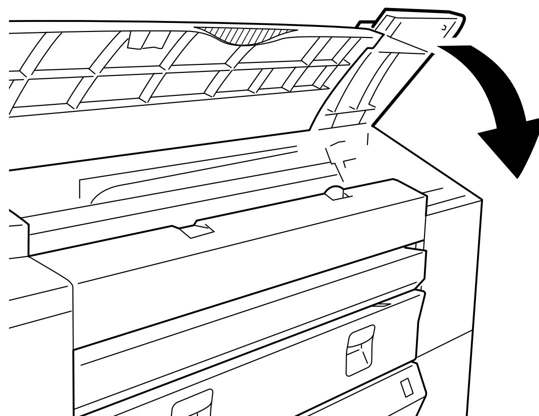
4-b プラテン上の紙づまりを取り除き、キャリッジを右端に戻します。


お願い

●用紙がつまっているまま　キャリッジを移動すると、ヘッド部を傷つける場合があります。ヘッド部が傷つかないように、まず紙間選択レバーを横向きに倒してヘッド部と用紙の間隔を広げてください。そのあと、用紙を平らにするか取り除いてからキャリッジをホームポジションに戻してください。
●キャリッジはゆっくりと移動させてください。速く移動させようとすると、機械の故障の原因になることがあります。

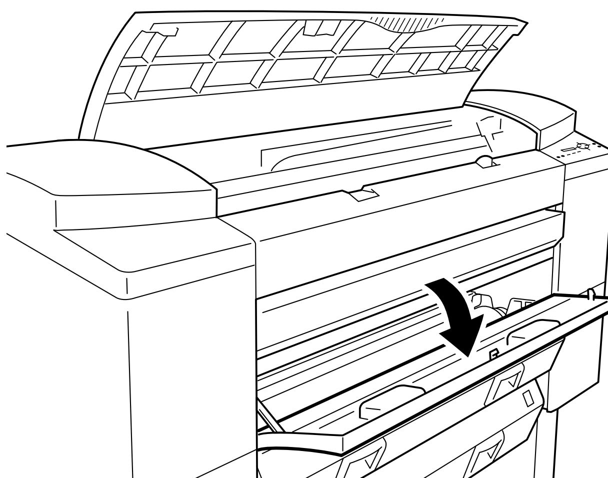


4-c 右上カバーを静かに閉めます。



4-d 「手順3-a」に進んでください。（→p.10-19）

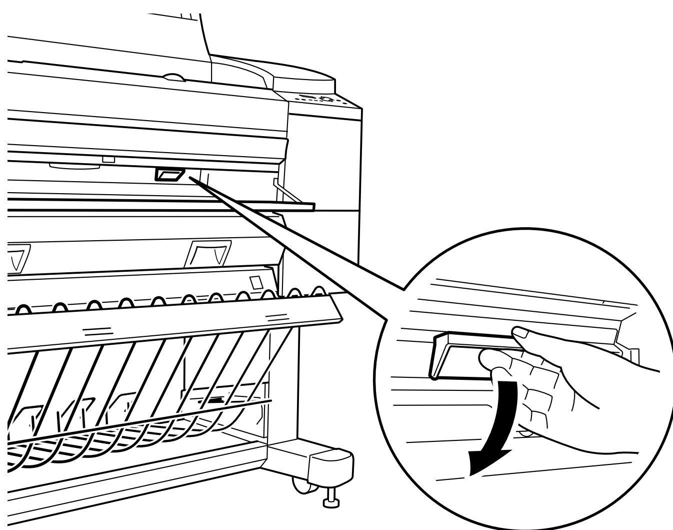
5 前カバーを開けます。



次ページへ続く

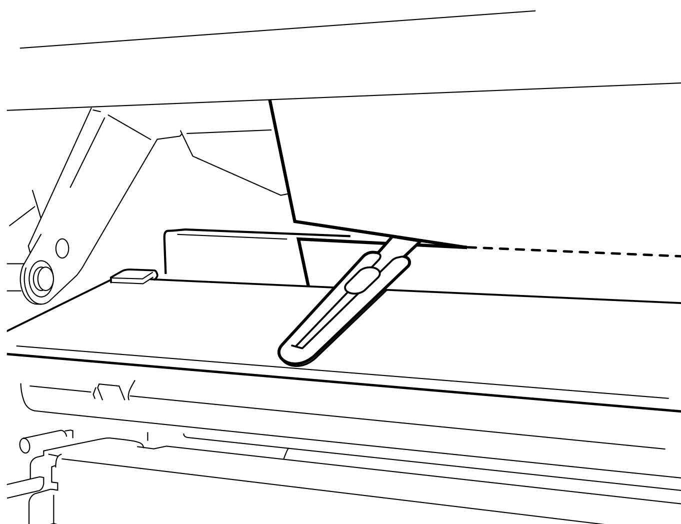
10

6 リリースレバーdを下げて搬送部のカバーを開けます。



7 カッターナイフで用紙を切ります。

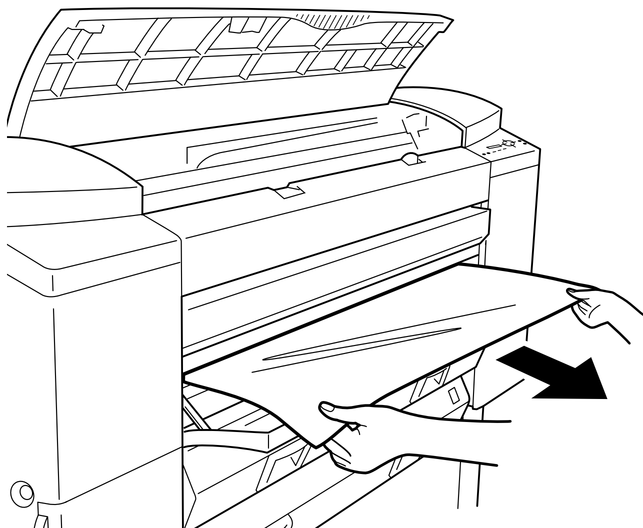
 注意 ●カッターナイフや用紙の端部で手を切らないように気を付けてください。



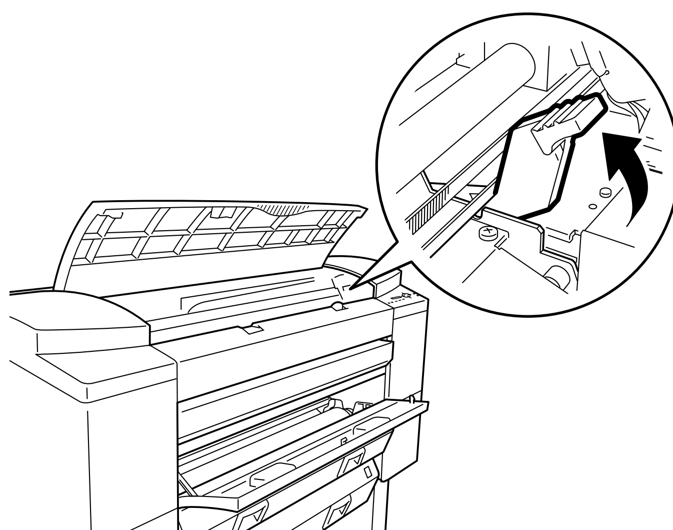
8 用紙の先端を持って、紙づまりをした用紙を手前に引いて取り出します。

・用紙を取り出せたらトップカバーを静かに閉めて「手順9」に進んでください。（→p.10-27）

・用紙を取り出せない場合は「手順8-a」に進んでください。（→p.10-23）

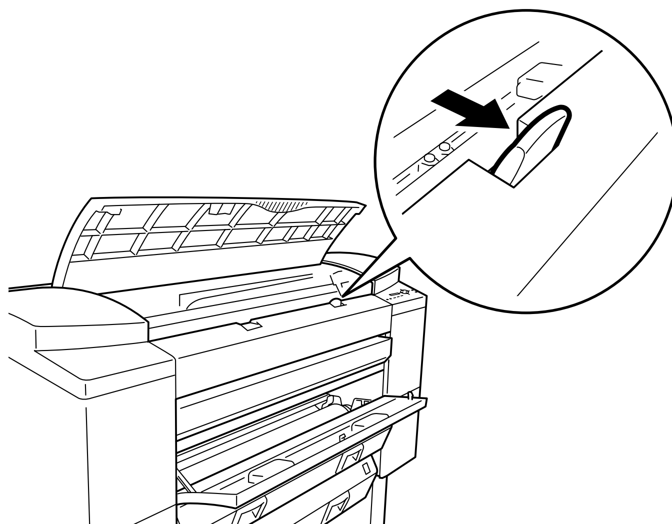


8-a リリースレバーaを上げて搬送部を解除します。



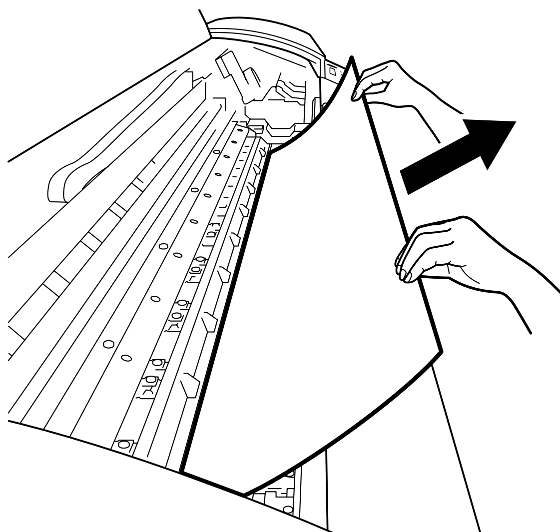
次ページへ続く

8-b リリースレバーbを手前に引いて拍車部を解除します。

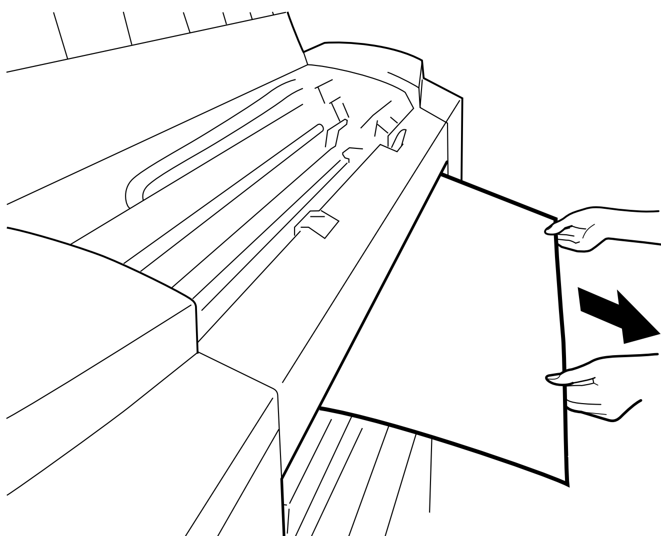


8-c 用紙の先端を持って、紙づまりをした用紙を取り出します。

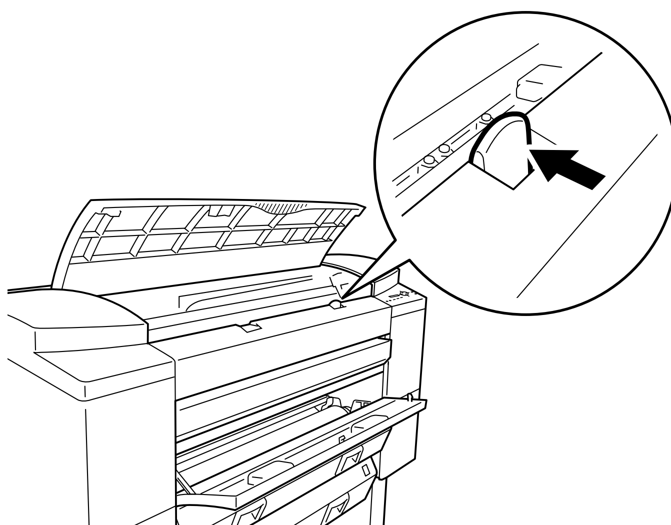
・プラテン上に用紙がある場合



・排紙口に用紙がある場合



8-d リリースレバーbを元に戻します。



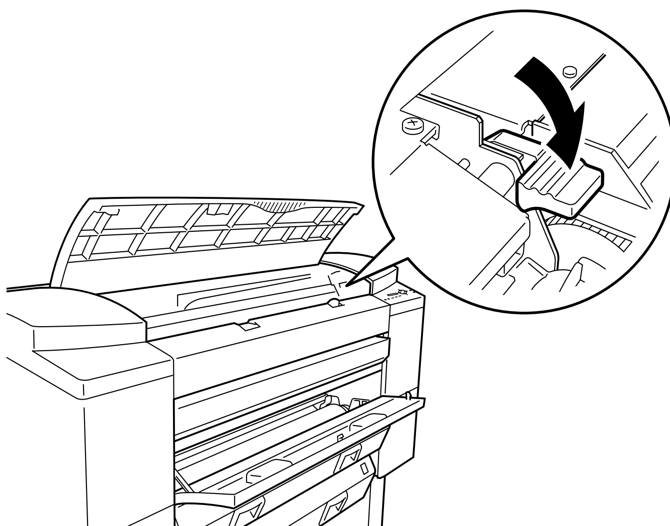
次ページへ続く

10

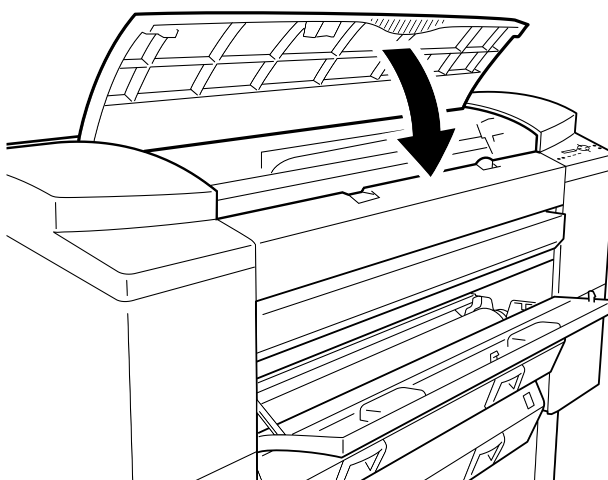
8-e リリースレバーaを止まるところまでしっかりと下げて元に戻します。


お願い

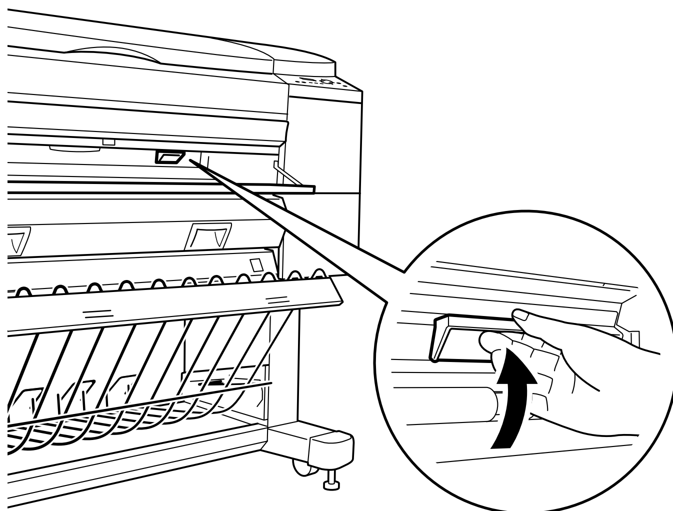
● リリースレバーaは確実に下げてください。レバーが下がっていないとキャリッジの移動の妨げになります。



8-f トップカバーを静かに閉めます。

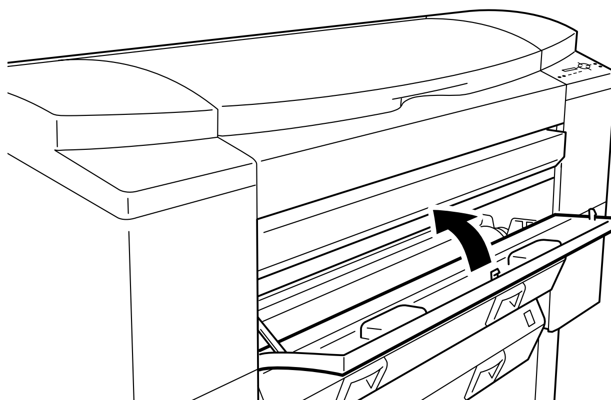


9 リリースレバーdを上げて搬送部のカバーを閉めます。



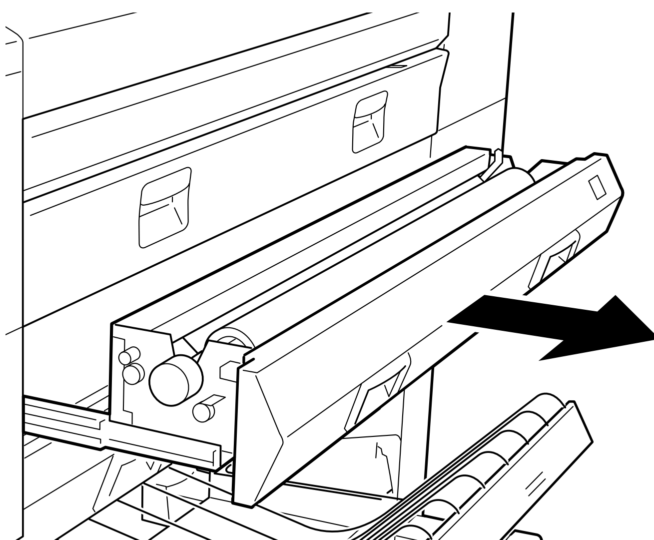
10 前カバーを静かに閉めます。

初期化動作を始めます。メッセージディスプレイ上のエラーメッセージの表示が消えるのを待ちます。

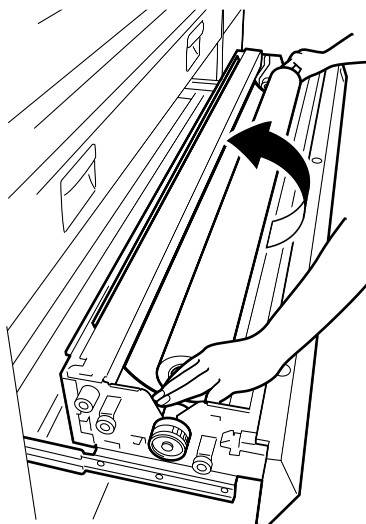


次ページへ続く

11 ロール紙カセットを引き出します。



12 スピンドルを持って、ロール紙を巻き戻します。

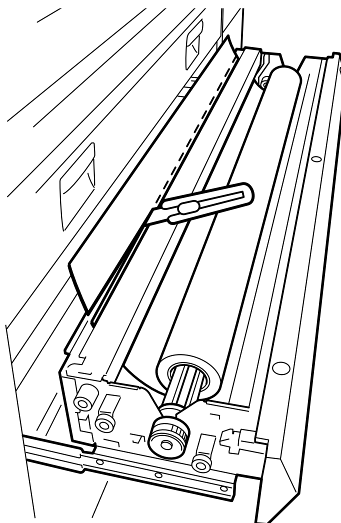


13 カッターナイフで用紙の先端をカットします。

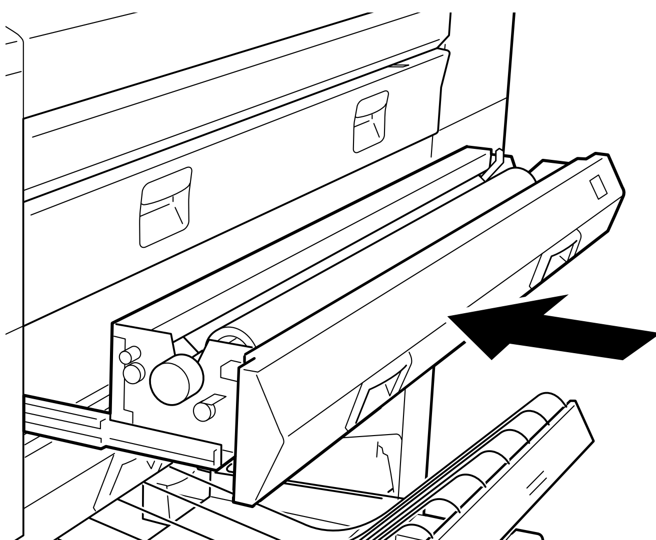
カッターナイフをガイド板にそわせてまっすぐに切ってください。



注意 ●カッターナイフや用紙の端部で手を切らないように気を付けてください。



14 ロール紙カセットを閉めます。

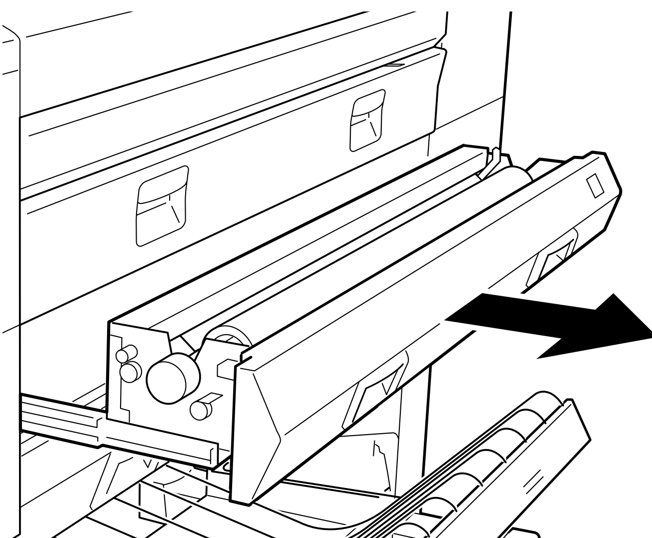


15 紙づまりの処理は終了しました。再度プリントしてください。

●メッセージ2の紙づまりの処理のしかた

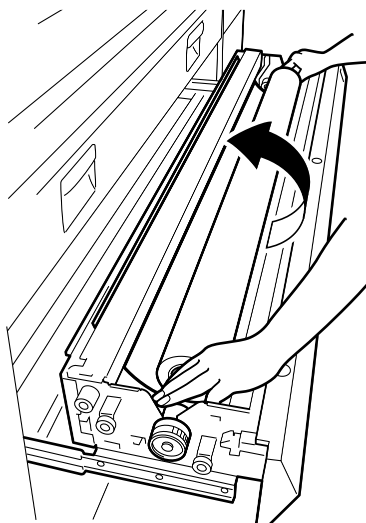
1 紙づまりが起きたら、プリンタの動作が停止していることを確認します。

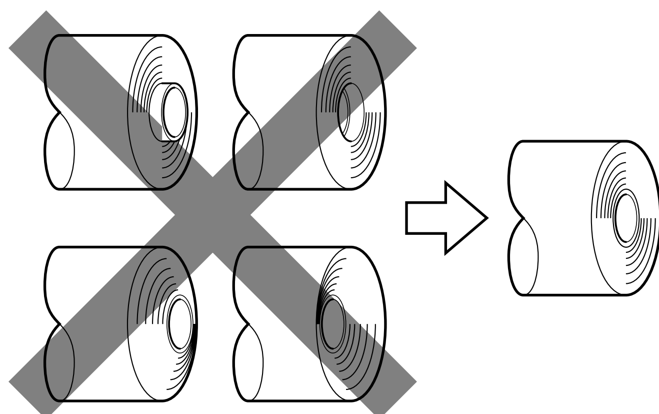
2 カセットを引き出します。



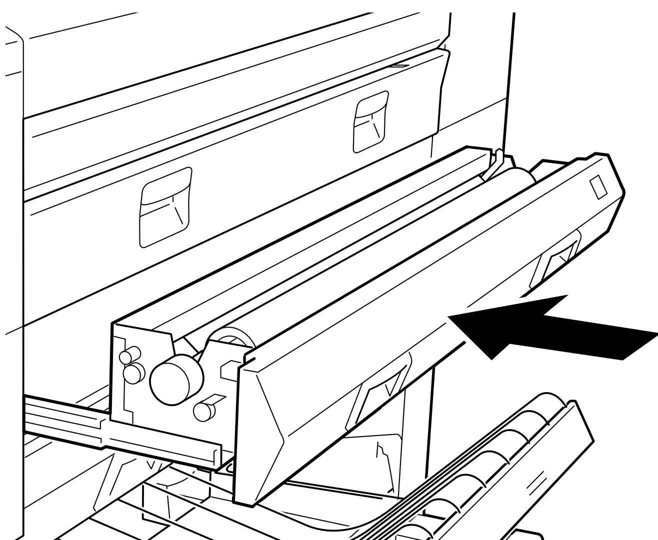
3 スピンドルを持って、ロール紙を巻き戻します。

用紙の先端が折れていたり、破けているときは、その部分を切り除いてください。また、ロール紙の巻きむらがあるときは端部をそろえてください。





4 ロール紙を再度セットして、ロール紙カセットを閉めます。

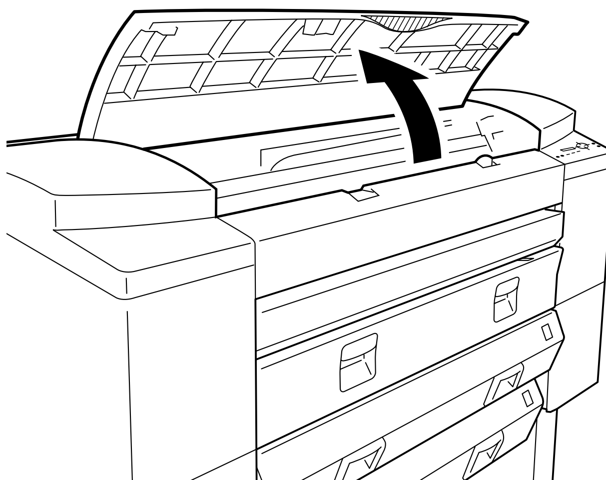


5 紙づまりの処理は終了しました。
再度プリントしてください。

●メッセージ3の紙づまりの処理のしかた（カット紙がつまった場合）

1 紙づまりが起きたら、プリンタの動作が停止していることを確認します。

2 トップカバーを静かに開けます。

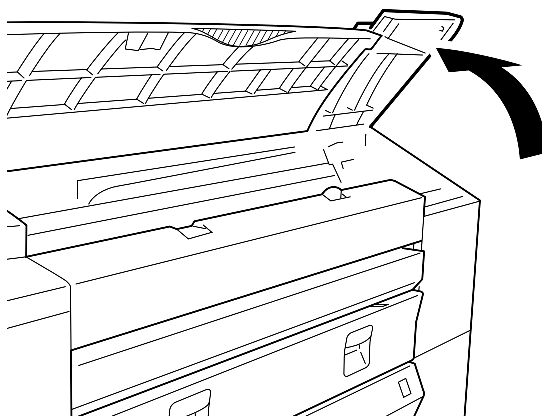


3 キャリッジがホームポジションに戻っているか確認します。

・ホームポジションに戻っている場合は「手順4」に進んでください。（→p.10-34）

・ホームポジションに戻っていない場合は「手順3-a」に進んでください。（→p.10-33）

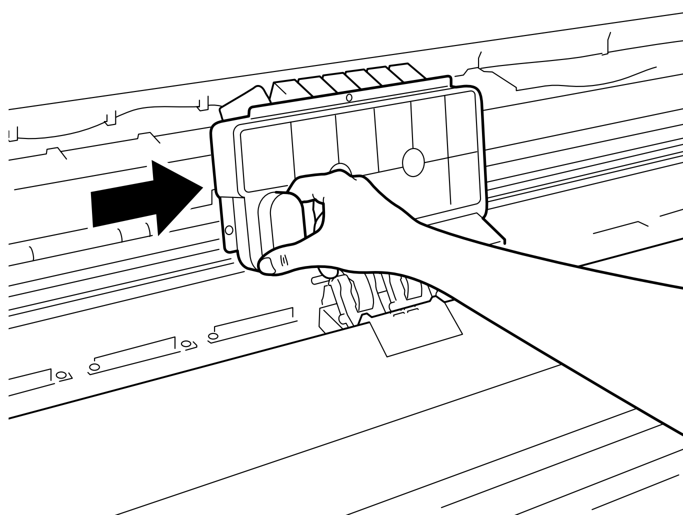
3-a 右上カバーを静かに開けます。



3-b プラテン上の紙づまりを取り除き、キャリッジを右端に戻します。

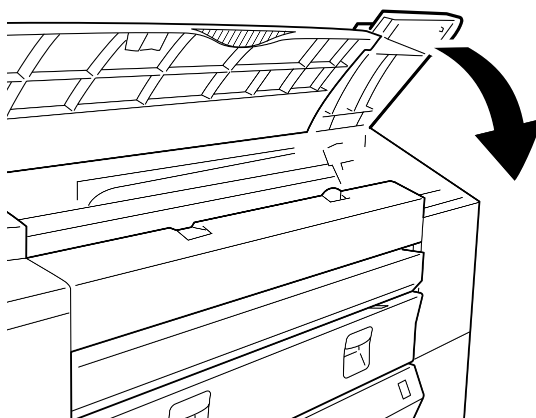

お願い

- ●用紙がつまっているまま　キャリッジを移動すると、ヘッド部を傷つける場合があります。ヘッド部が傷つかないように、まず紙間選択レバーを横向きに倒してヘッド部と用紙の間隔を広げてください。そのあと、用紙を平らにするか取り除いてからキャリッジをホームポジションに戻してください。
- ●キャリッジはゆっくりと移動させてください。速く移動させようとすると、機械の故障の原因になることがあります。

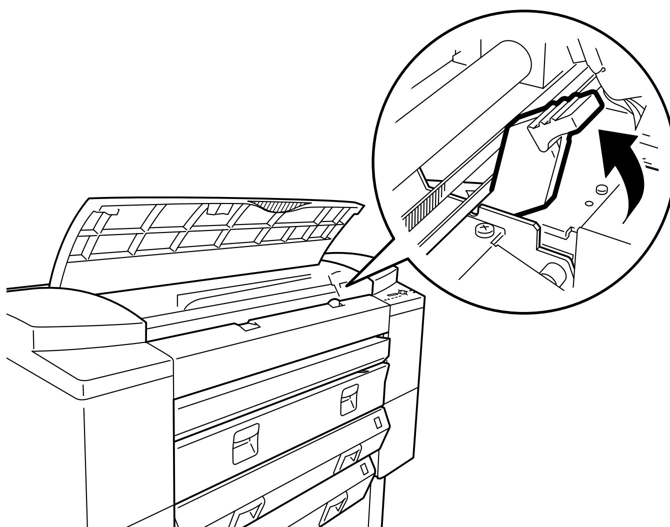


次ページへ続く

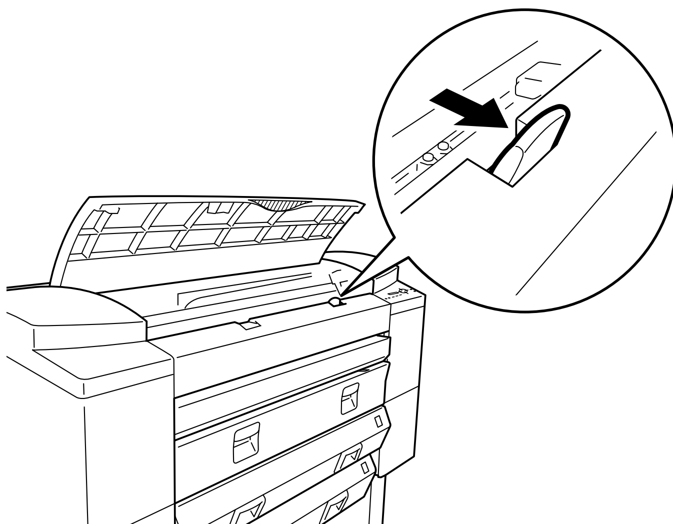
3-c 右上カバーを静かに閉めます。



4 リリースレバーaを上げて搬送部を解除します。

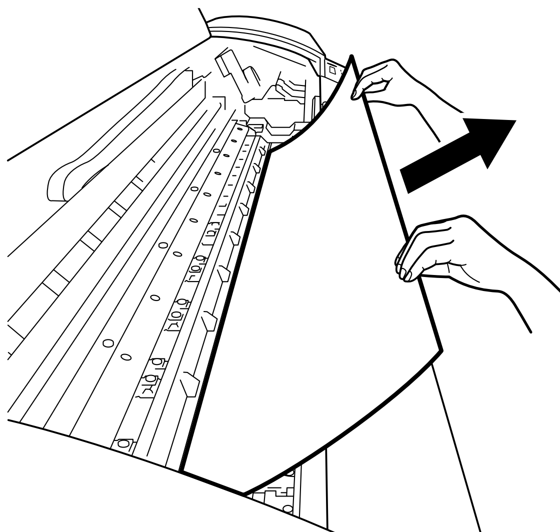


5 リリースレバーbを手前に引いて拍車部を解除します。



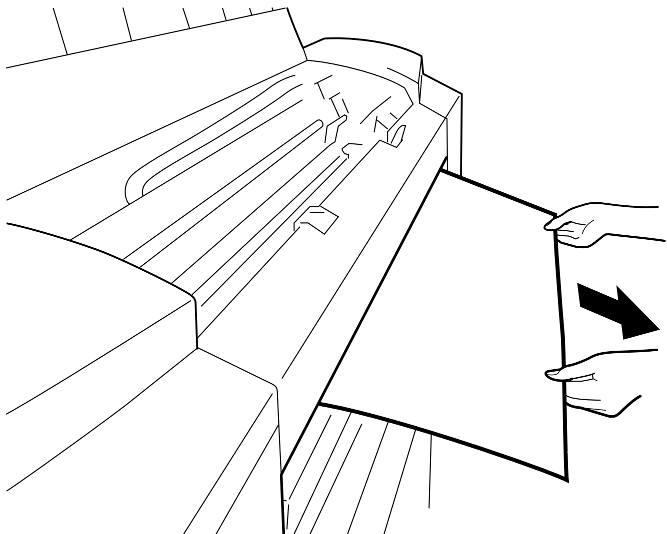
6 紙づまりをした用紙を取り出します。

・用紙を取り出せたら、前カバーをいったん開閉し「手順7」に進んでください。
（→p.10-40）
・用紙を取り出せない場合は「手順6-a」に進んでください。
（→p.10-37）

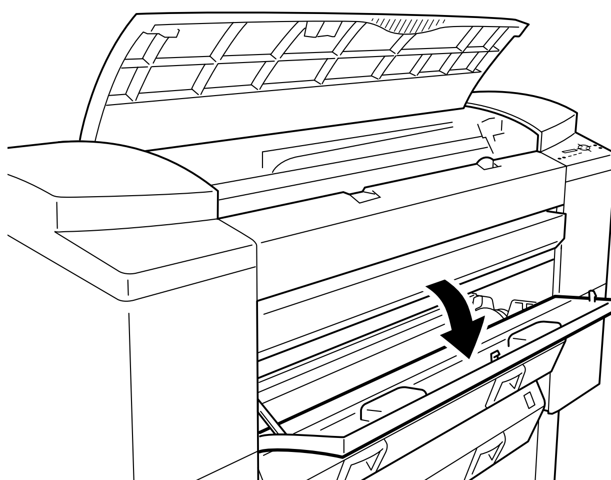


次ページへ続く

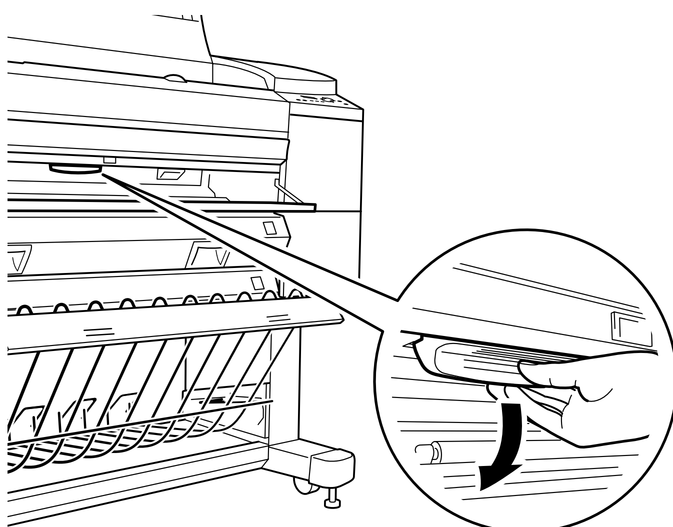




6-a 前カバーを開けます。

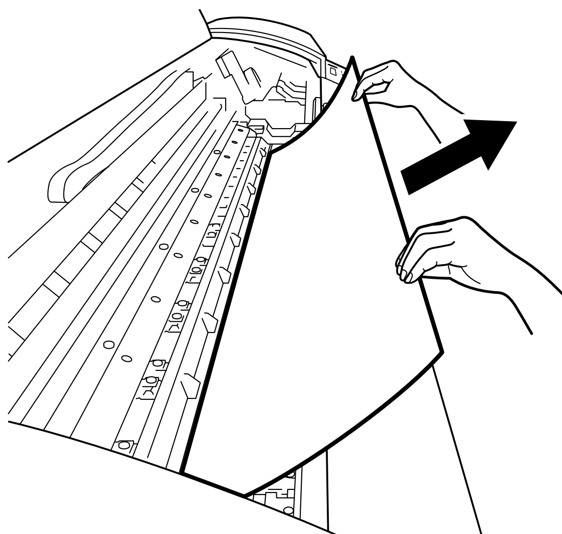


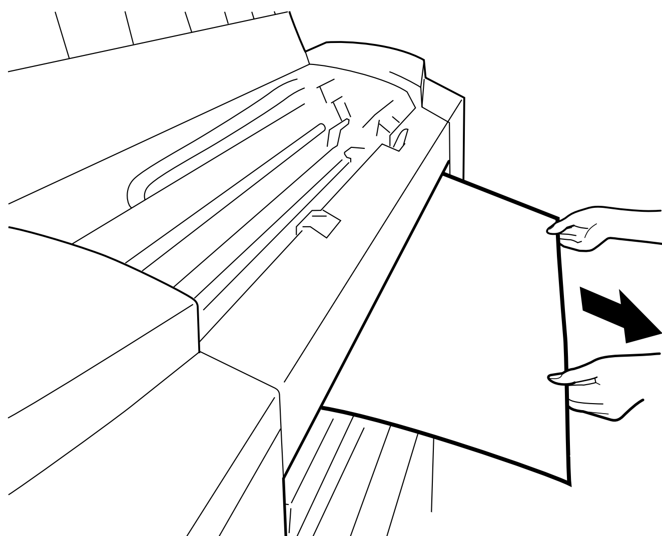
6-b リリースレバーcをつまんで下げ、カット紙の搬送部を解除します。



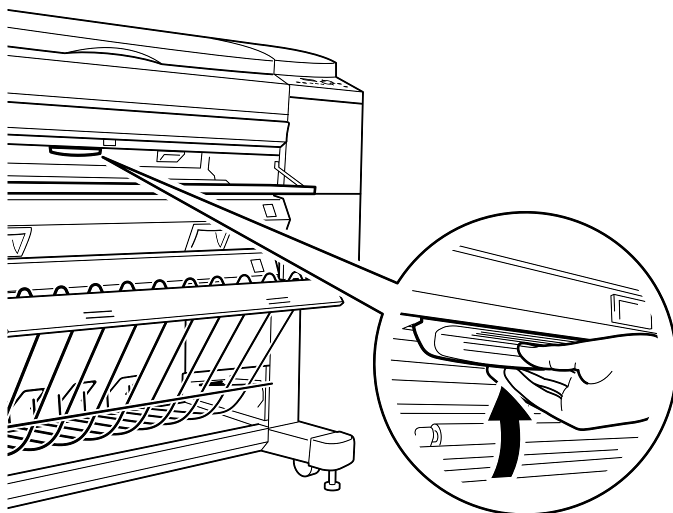
次ページへ続く

6-c 紙づまりをした用紙を取り出します。

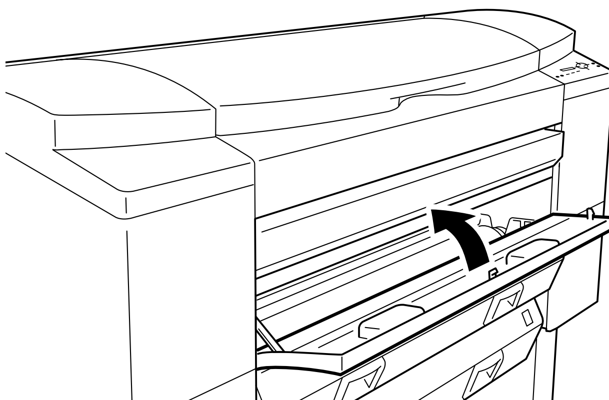




6-d リリースレバーcを元に戻します。

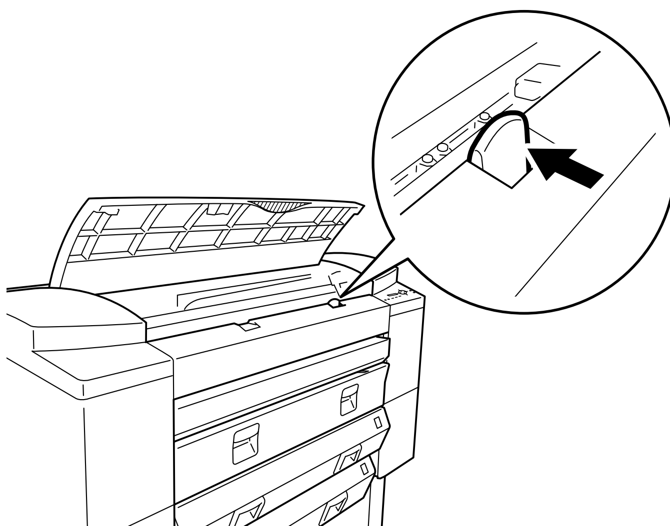


6-e 前カバーを静かに閉めます。



次ページへ続く

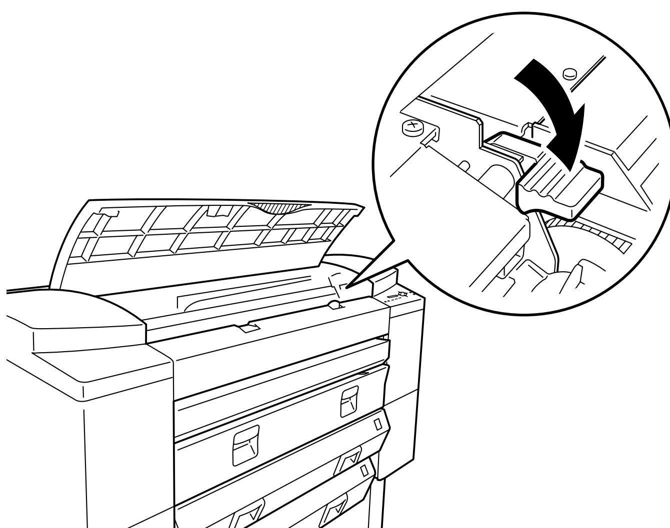
7 リリースレバーbを元に戻します。



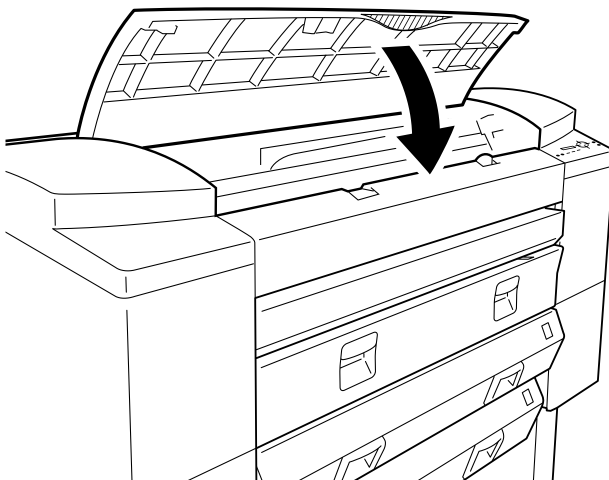
8 リリースレバーaを止まるところまでしっかりと下げて元に戻します。


お願い

● リリースレバーaは確実に下げてください。レバーが下がっていないとキャリッジの移動の妨げになります。



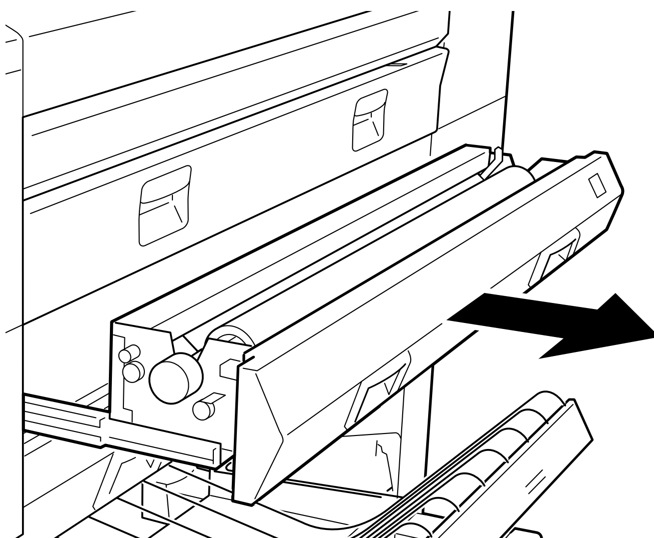
9 トップカバーを静かに閉めます。



10 紙づまりの処理は終了しました。
カット紙をセットし直して、再度プリントしてください。（→カット紙をセットする：p.4-20）

●メッセージ5の紙づまりの処理のしかた

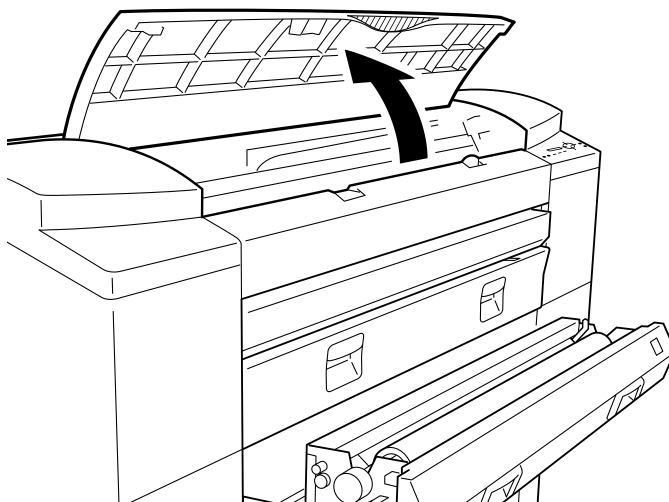
1 メッセージディスプレイに表示しているカセットを引き出します。



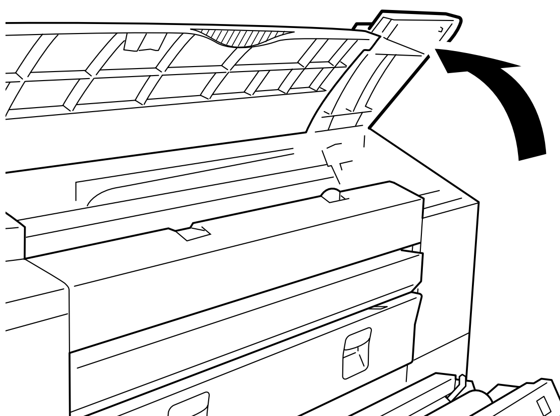

お願い

●紙づまりがあるか確認します。紙づまりがある場合は、紙づまり処理が終了するまでカセットを閉めないでください。紙づまりがないときは、用紙を再びセットし直して紙づまりの処理は終了です。再度プリントしてください。

2 トップカバーを静かに開けます。



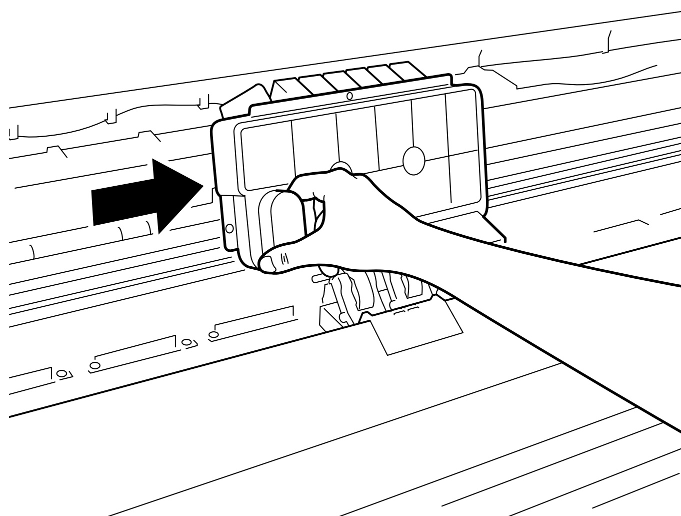
3 右上カバーを静かに開けます。



4 キャリッジを右端に戻します。

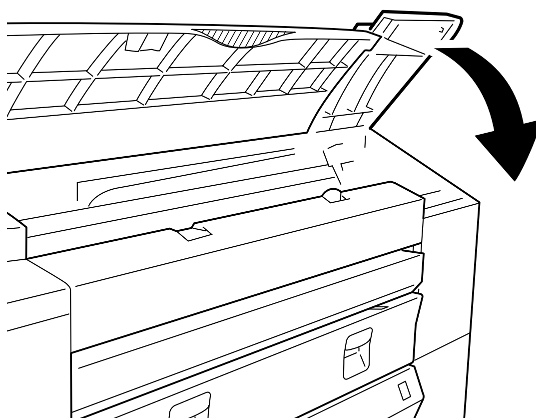

お願い

●キャリッジはゆっくりと移動させてください。速く移動させようとすると、機械の故障の原因になることがあります。

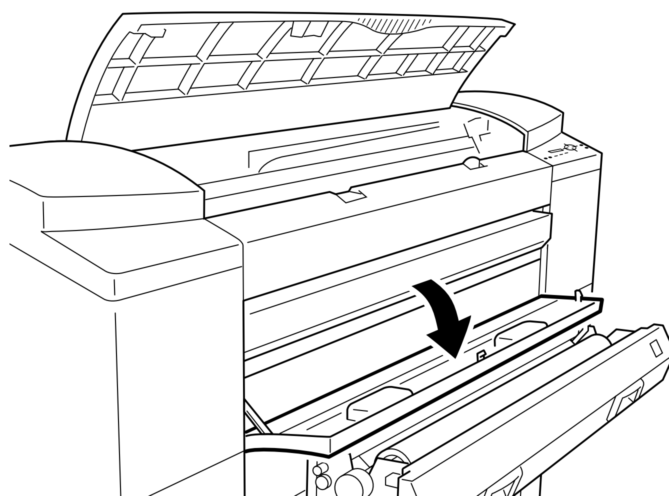


次ページへ続く

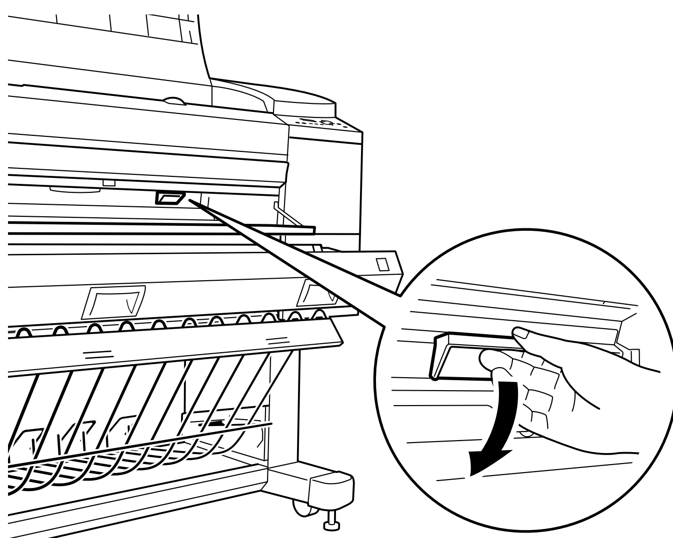
5 右上カバーを静かに閉めます。



6 前カバーを開けます。

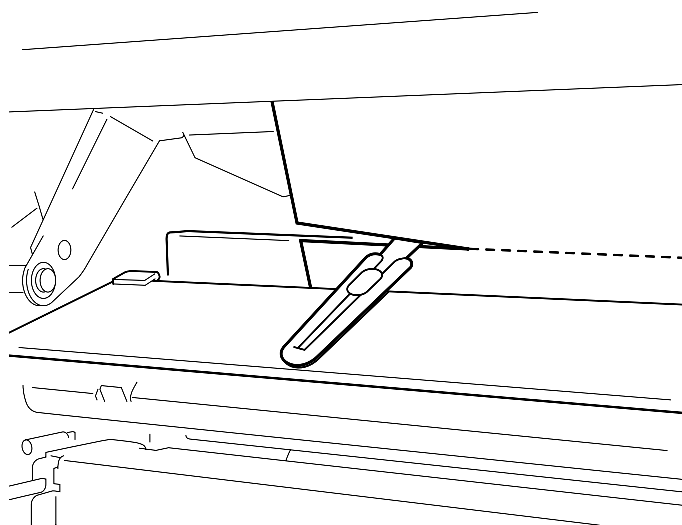


7 リリースレバーdを下げて搬送部のカバーを開けます。



8 カッターナイフで用紙を切ります。

 **注意** ●カッターナイフや用紙の端部で手を切らないように気を付けてください。

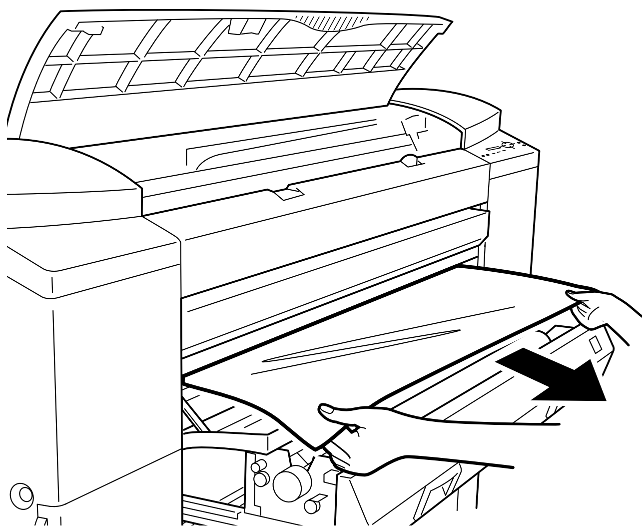


次ページへ続く

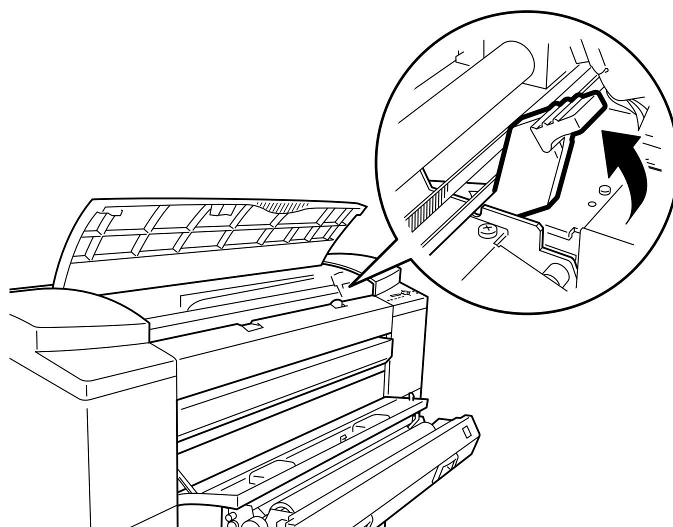
9 用紙の先端を持って、紙づまりをした用紙を手前に引いて取り出します。

・用紙を取り出せたらトップカバーを静かに閉めて「手順10」に進んでください。（→p.10-50）

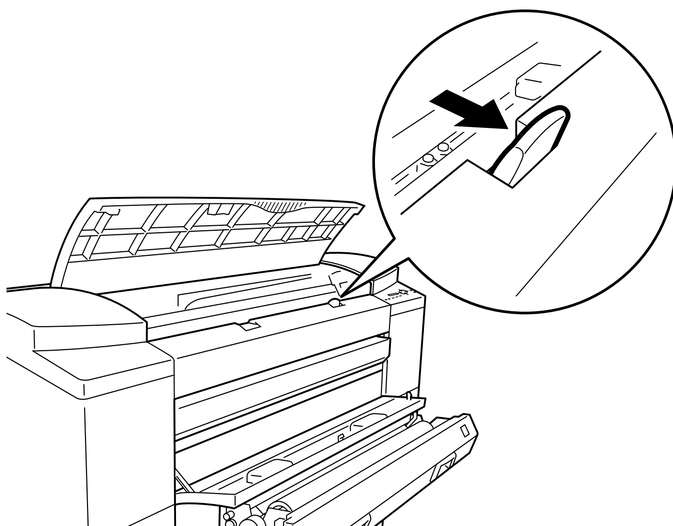
・用紙を取り出せない場合は「手順9-a」に進んでください。（→p.10-46）



9-a リリースレバーaを上げて搬送部を解除します。

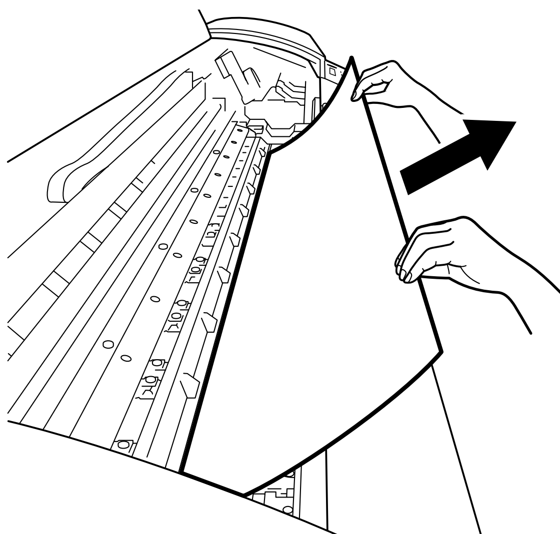


9-b リリースレバーbを手前に引いて拍車部を解除します。



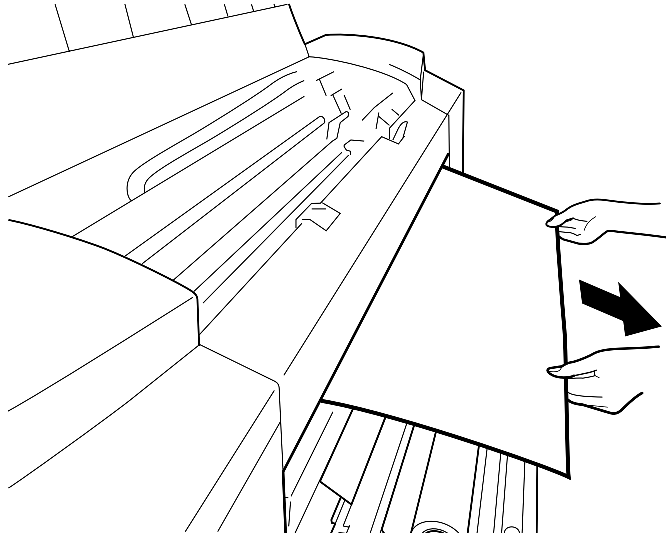
9-c 用紙の先端を持って、紙づまりした用紙を取り出します。

・プラテン上に用紙がある場合

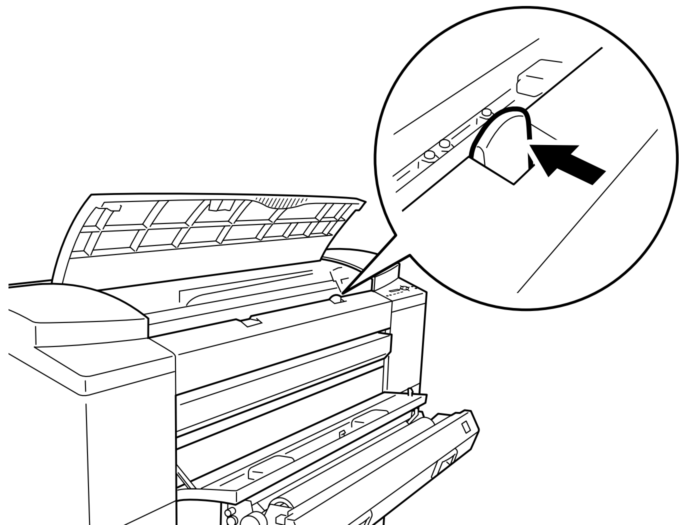


次ページへ続く

・排紙口に用紙がある場合



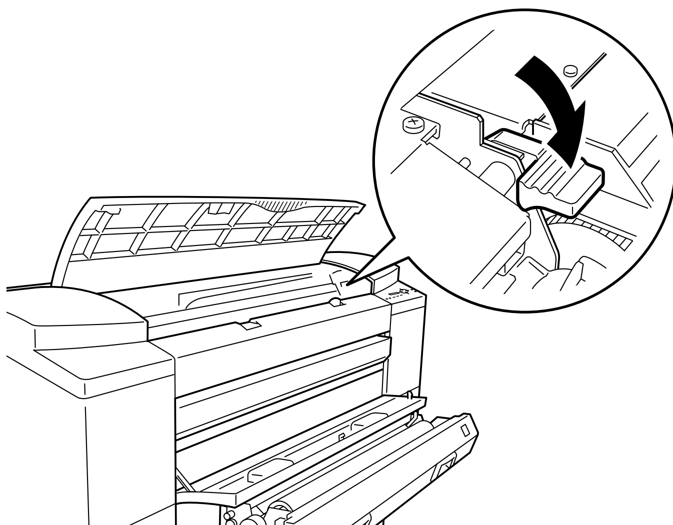
9-d リリースレバーbを元に戻します。



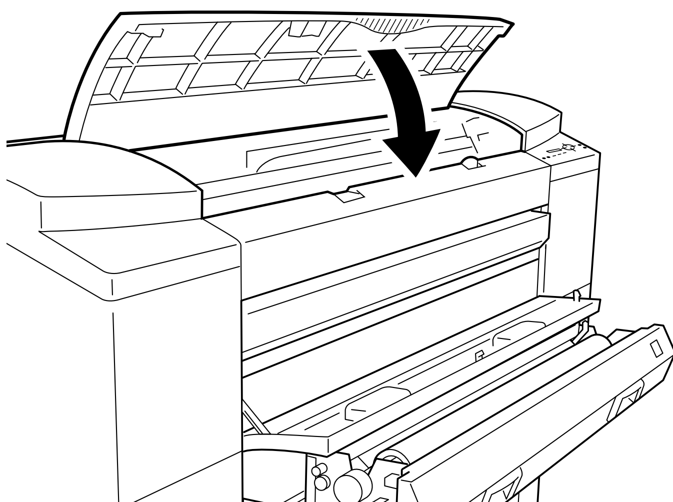
9-e リリースレバーaを止まるところまでしっかりと下げて元に戻します。


お願い

● リリースレバーaは確実に下げてください。レバーが下がっていないとキャリッジの移動の妨げになります。

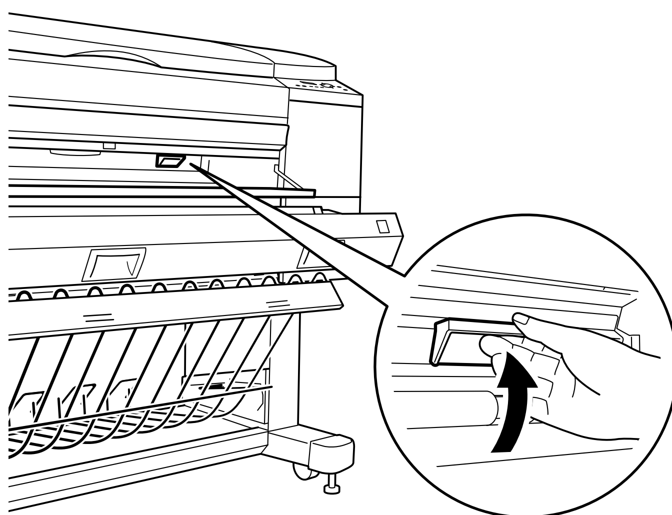


9-f トップカバーを静かに閉めます。



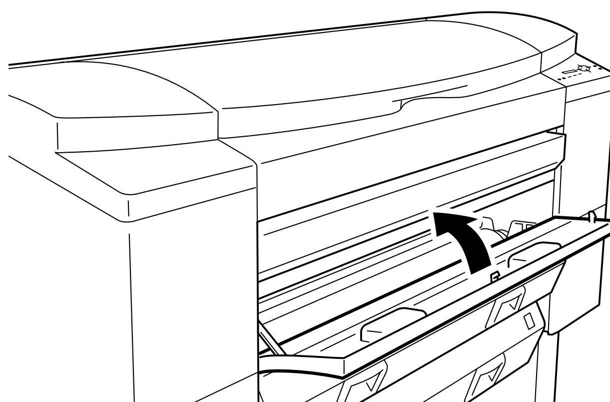
次ページへ続く

10 リリースレバーdを上げて搬送部のカバーを閉めます。

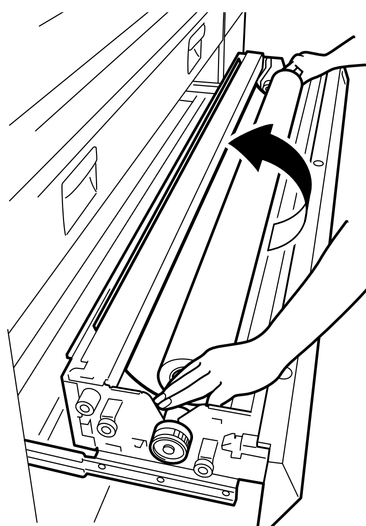


11 前カバーを静かに閉めます。

初期化動作を始めます。メッセージディスプレイ上のエラーメッセージの表示が消えるのを待ちます。



12 スピンドルを持って、ロール紙を巻き戻します。

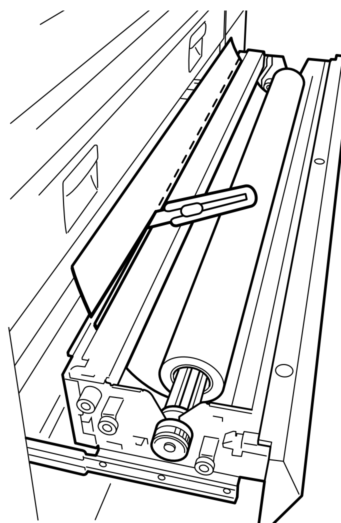


13 カッターナイフで用紙の先端をカットします。

カッターナイフをガイド板にそわせてまっすぐに切ってください。

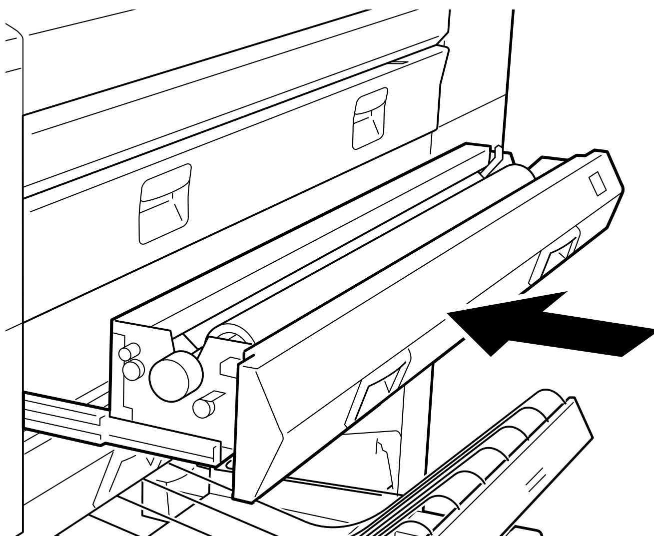
 注意

● カッターナイフや用紙の端部で手を切らないように気を付けてください。



次ページへ続く

14 ロール紙カセットを閉めます。

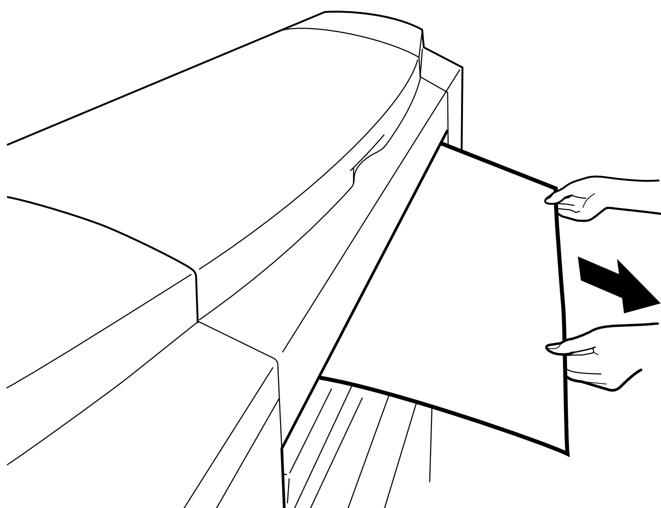


15 紙づまりの処理は終了しました。
再度プリントしてください。

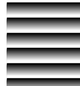
●メッセージ6の紙づまりの処理のしかた

1 紙づまりが起きたら、プリンタの動作が停止していることを確認します。

2 用紙の先端を持って紙づまりをした用紙を取り出します。



3 紙づまりの処理は終了しました。
再度プリントしてください。



第11章

オプションについて

この章では、本機で用意されているオプション品とその使いかたについて説明します。

オプション品の紹介

本機には巻き取り装置、スピンドルおよびハードウェアRIPがオプションとして用意されています。
各オプションの購入についての詳細は、本機をお買い求めの販売店または担当サービスにお問い合わせください。

巻き取り装置

プリントしたロール紙を自動的にスムーズに巻き取ります。長尺プリントした出力紙の保管やお客様への納品に便利です。
巻き取り装置の商品名称は次の通りです。

巻き取り装置　TU-01

スピンドル

本機ご購入時に51mm（2インチ）タイプのスピンドルが2本付属しています。このほかにオプションとして76mm（3インチ）タイプのスピンドルを用意しています。スピンドルを数本ご用意いただくと、用紙の種類や用紙幅、紙管径の異なるロール紙を交互にお使いになる場合に便利です。
スピンドルの商品名称は次の通りです。

ロールホルダーセット　RH-03（51mm/2インチ）
RH-04（76mm/3インチ）

ハードウェアRIP

本機をネットワーク環境で使用したり、PostScriptデータをきれいにプリントするために必要となるRIPサーバです。Ethernetに接続されたTCP/IP、EtherTalk、IPX/SPXなどの各ネットワークプロトコルを同時にサポートし、MacintoshやWindowsコンピュータが混在するネットワーク環境でも本機をお使いになることができます。
ハードウェアRIPの商品名称は次の通りです。

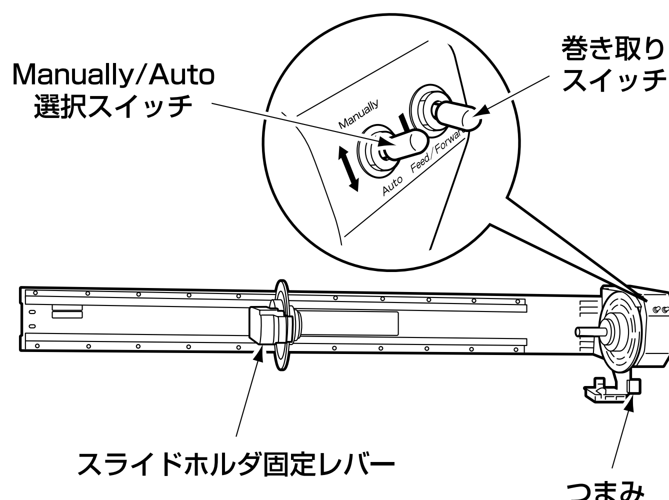
キヤノン　ハードウェアリップ　W20

巻き取り装置の使いかた

本機に用意されている巻き取り装置をお使いになると、プリントしたロール紙を自動的にスムーズに巻き取ることができます。長尺プリントした出力紙を保管するのに大変便利です。



- 巻き取れるロール紙の長さは、新品のロール紙1本分（約45m）です。
- 省電力状態のときは、巻き取り装置は作動しません。
  オンラインキーを押して省電力状態を解除してからお使いください。



ロール紙を巻き取る

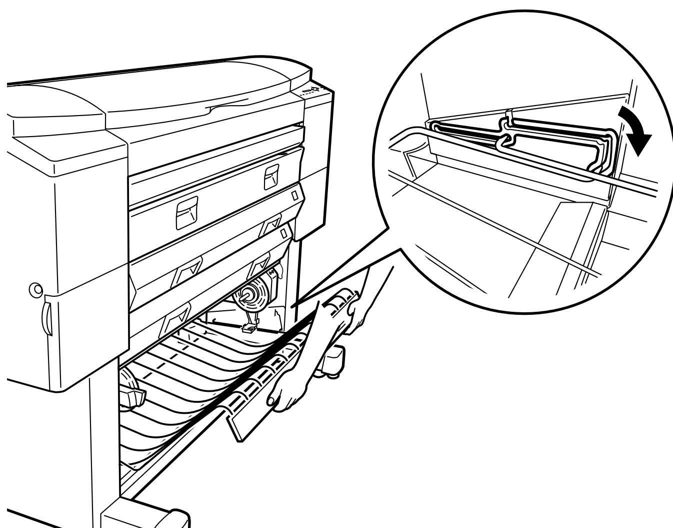
1 用紙ストッパを取り付けているときは、用紙ストッパを取り外します。（→用紙ストッパの取り外しかた：P.3-12）

2 [オンラインキー] を押してプリンタを“オフライン”状態にします。

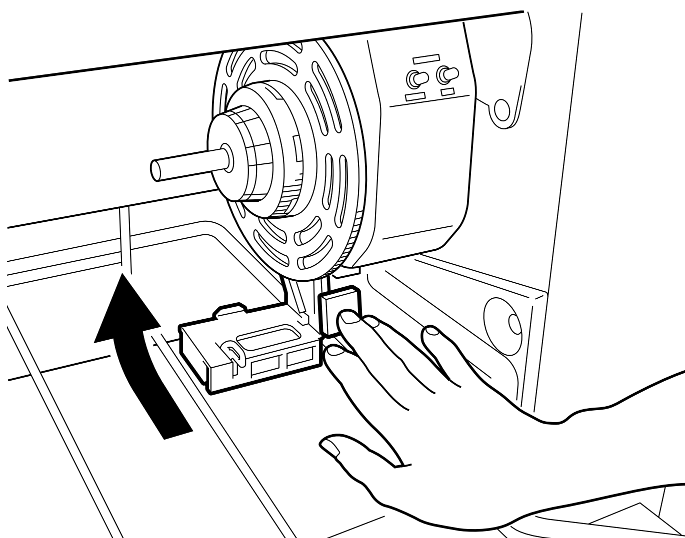
オフライン

次ページへ続く

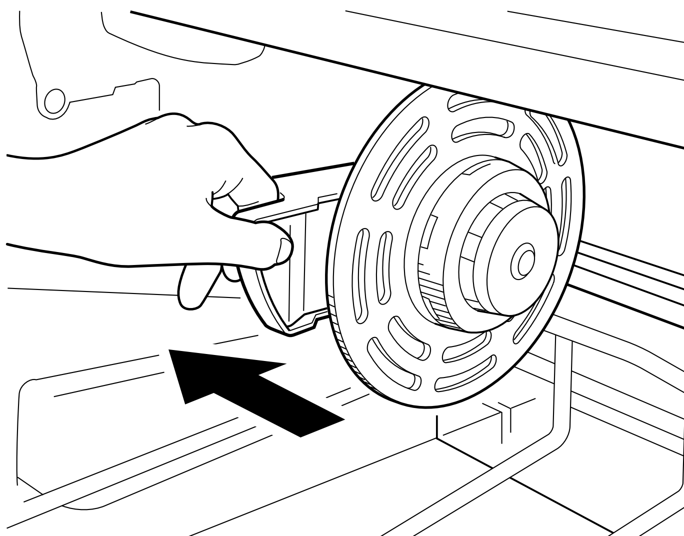
3 スタンドに付いているスタッカを、持ち上げながら下図のように寝かせます。



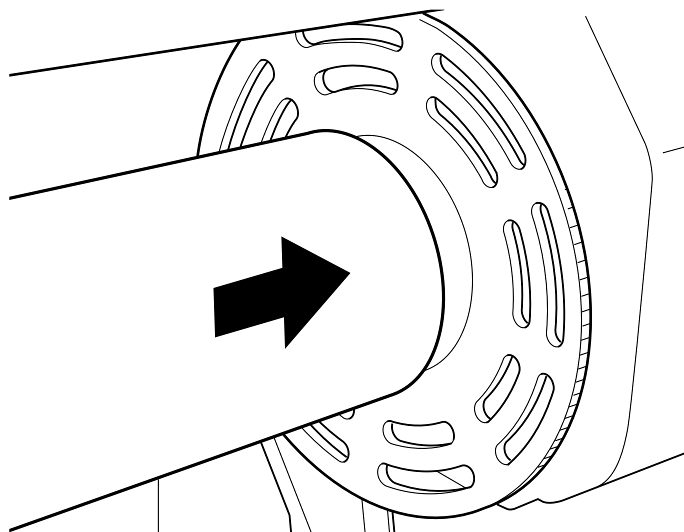
4 下図のようにつまみを突き当たるまで奥側に押し込みます。



5 巻き取り装置のスライドホルダ固定レバーをつまみながら、スライドホルダを左に移動させます。



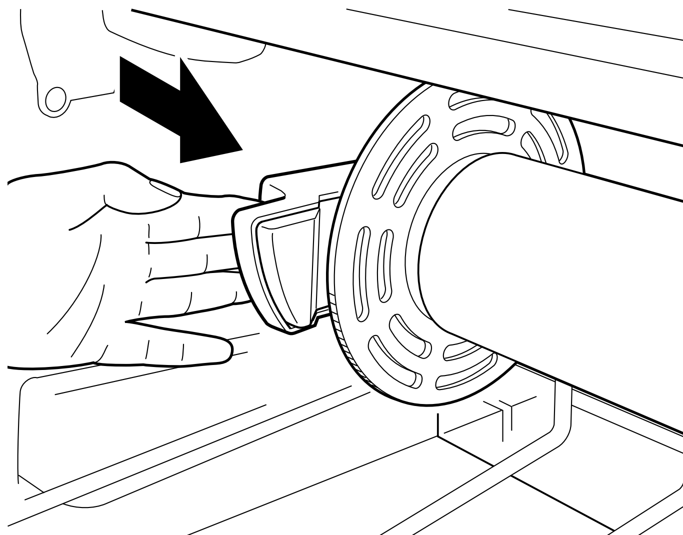
6 巻き取り用の紙管を、下図のように右側のホルダに噛ませ、しっかり止まるまで押し込みます。



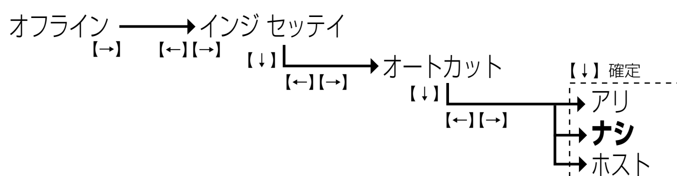

お願い

●取り付ける紙管の長さは巻き取るロール紙の幅と合わせてください。

7 スライドホルダを右に押して移動させ、紙管に噛ませて固定します。



8 下図の操作方法にしたがって、ユーザーメニューの中の「オートカット」メニューを「ナシ」に設定します。



9 [オンラインキー]を押してプリンタをオフライン状態にします。


メモ

・カセットA、Bのどちらか一方にしかロール紙が入っていないときは、このメッセージは表示されません。

10 [用紙送りキー]を押します。

11 メッセージディスプレイに次のメッセージが表示されます。[右または左矢印キー]を押して、巻き取るロール紙のロール紙カセットを選択します。

```
カセット　センタク
　A　　B
```

12 [下矢印キー]を押して確定します。

選択されたカセットのロール紙が搬送されて停止します。

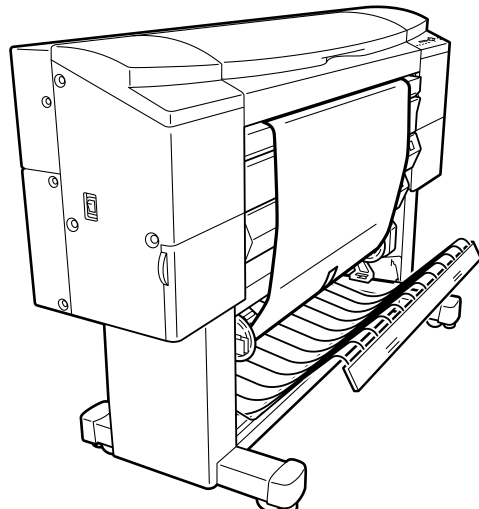
13 メッセージディスプレイに次のメッセージが表示されます。[用紙送りキー]を押して、巻き取り装置の紙管の位置までロール紙を手前に送り出します。

```
ヨウシオクリ
```

14 用紙の先端部分を、紙管の中央にテープ止めします。


お願い

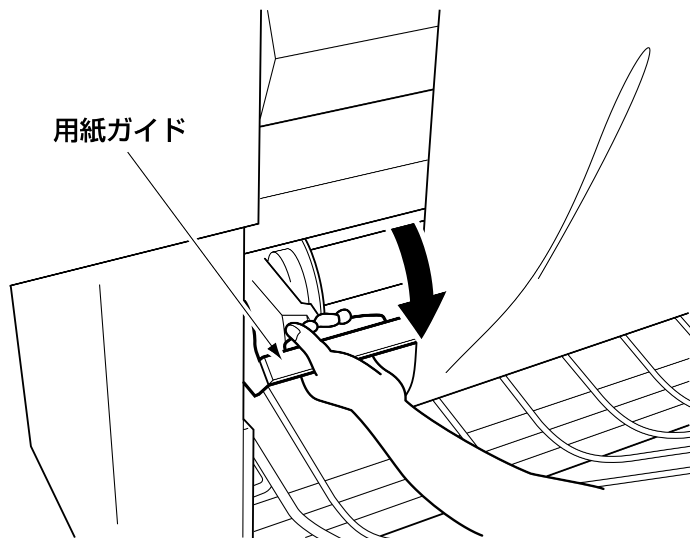
●ロール紙を巻き取る際に巻き取った用紙がずれていかないよう、テープ止めをするときは用紙と紙管の左右両端を合わせてください。



次ページへ続く

15 [下矢印キー]を押してロール紙をたるませます。

16 用紙ガイドの把手を持ち、止まるところまで下げます。

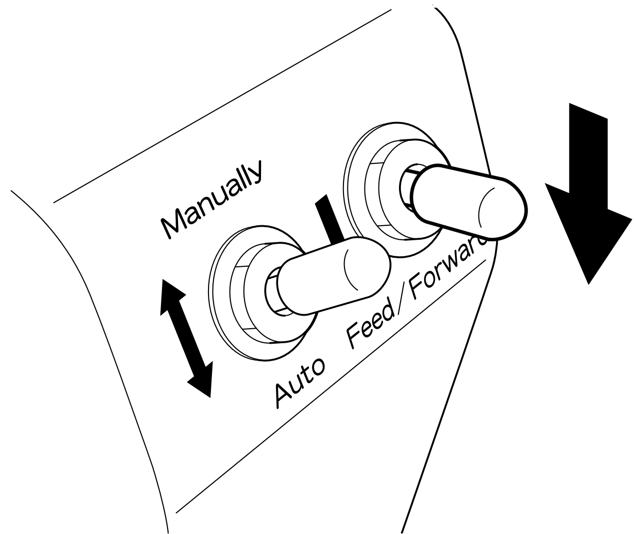


17 [Manually/Auto選択スイッチ]をManuallyに設定し、[巻き取りスイッチ]を手前側に押してピンと張るようにロール紙を巻き取ります。

スイッチから手を離すと巻き取り動作が止まります。


お願い

●ロール紙を巻き取るときは、ロール紙先端部分の左右両端が折れて巻き取られないように注意しながら巻きとってください。



18 手順15と17の操作を繰り返して、ロール紙を紙管に1回転以上巻き付けます。


お願い

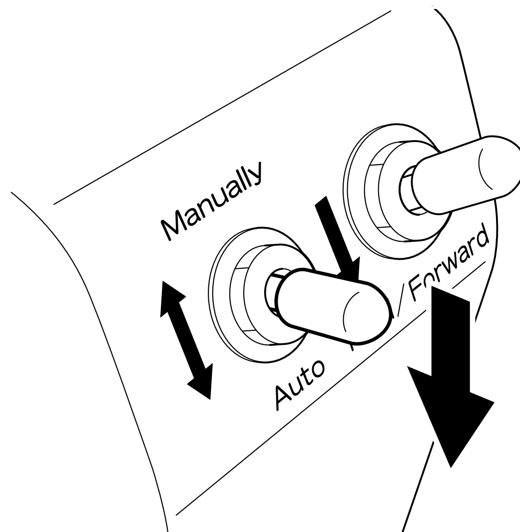
●プリント後のロール紙がきちんと巻かれるよう、1回転以上ロール紙を紙管に巻き付けてください。

●ロール紙はまっすぐに、ピンとはるまで紙管に巻き付けてください。

11

次ページへ続く

19 [Manually/Auto選択スイッチ]をAutoに設定します。



20 [オンラインキー]を押してプリンタをオンライン状態にします。

レディ

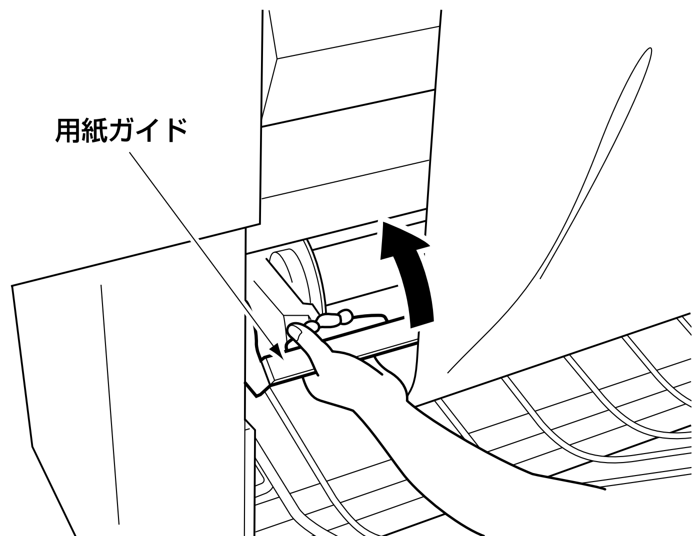
これで巻き取り装置の準備は完了です。プリントが始まると、排紙されたロール紙が自動的に巻き取られます。

巻き取ったロール紙を取り外す

1 [オンラインキー] を押してプリンタを“オフライン”状態にします。

オフライン

2 用紙ガイドの把手を持ち、突き当たるまで押し上げます。

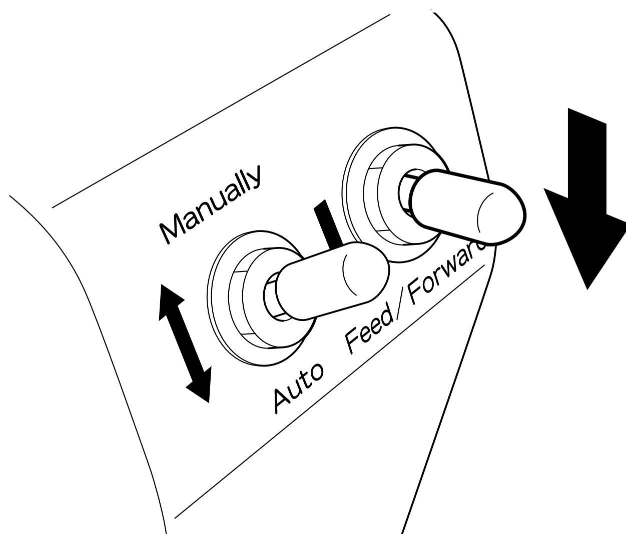


3 [排紙/カットキー] を押してロール紙をカットします。

次ページへ続く

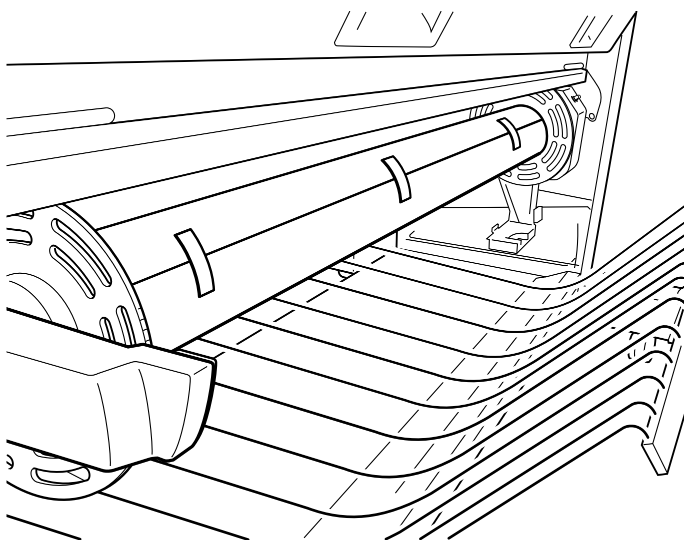
4 [Manually/Auto選択スイッチ]をManuallyに設定し、[巻き取りスイッチ]を手前側に押してロール紙を巻き取ります。

スイッチから手を離すと巻き取り動作が止まります。

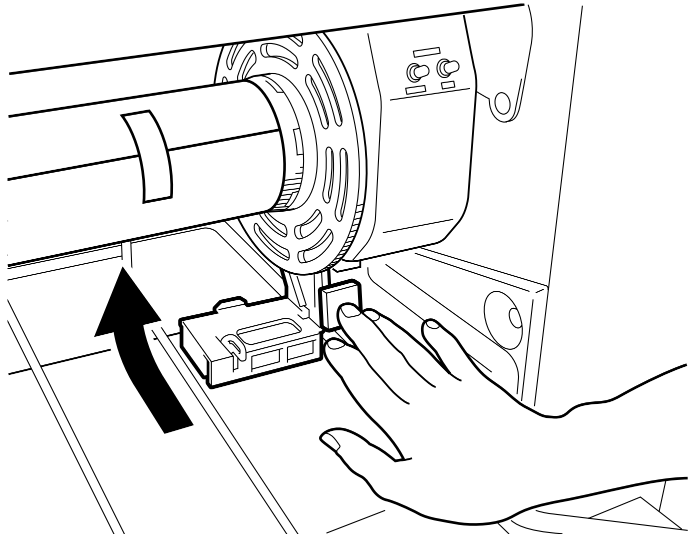


5 ロール紙の後端を、巻き取ったロール紙に3ヶ所テープ止めします。

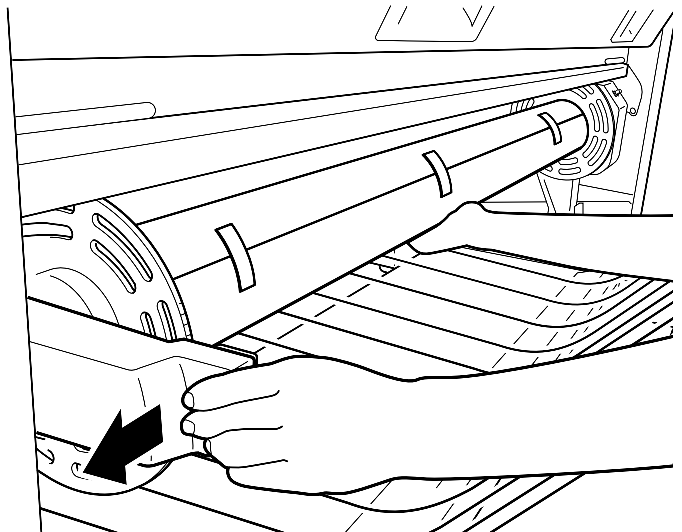
まずロール紙の中央をテープ止めしたあと、左右両端を止めてください。



6 下図のように、つまみを突き当たるまで奥側に押し込みます。



7 巻き取ったロール紙の中央部分を右手でしっかりと支えながら、スライドホルダ固定レバーをつまんでスライドホルダを左に移動させます。

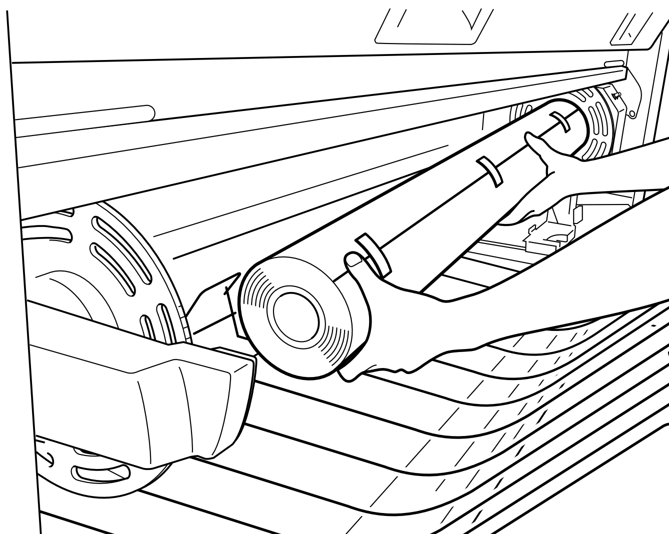


 **注意**

- スライドホルダを左に移動させるときは、巻き取ったロール紙をスタッカの上に落とさないように右手でしっかりとロール紙を支えてください。機械の故障の原因になります。

次ページへ続く

8 巻き取ったロール紙を両手でしっかりと支え、ホルダから取り外します。



 **注意**

●巻き取ったロール紙を持ち運ぶときは、腰を痛めたりロール紙を足の上に落とさないように注意してください。けがの原因になります。

9 [オンラインキー]を押してプリンタをオンライン状態にします。

レディ

第12章

付録

プリンタの仕様

本体

名称	: キヤノンラージフォーマットプリンタ　BJ-W9000
プリント方式	: バブルジェット方式
解像度	: 1200×600dpi（6色）
プリントモード	: 高画質、標準、高速
プリントスピード	: 高画質印字29分/A0、標準印字14分/A0、高速印字7分/A0

最大用紙幅	: 1092mm (43")			
最大用紙長さ				
ロール紙	: 44m(1732.3")			
カット紙	:1456mm (57")			
最小用紙幅	: 420mm (17")			
最小用紙長さ	: 420mm (17")			
用紙の厚さ	: 0.1～0.24mm			
給紙方法				
ロール紙	: 2段カセット			
カット紙	: 手差し(フロント)			
用紙種類	: コート紙、光沢紙、半光沢紙、光沢フィルム			
マージン	: 先端	後端	左右端	
ロール紙	39mm	5mm (注1)	5mm	
カット紙	39mm	60mm	5mm	

（注1：バナー印刷時は41mm）

BJプリントヘッド	
ヘッド解像度	: 600dpi
ヘッドノズル数	: 各色256ノズル(248ノズル使用×2)
インクボトル	: ブラック、イエロー、シアン、マゼンタ、フォトシアン、フォトマゼンタ
インク種類	: 水性染料インク
インク容量	: 650ml
プリント可能枚数	: 205枚/A0（各色25%duty原稿）

動作環境	: 温度　5℃～35℃	
	: 湿度　10%～90%	
最適動作環境	: 温度　15℃～30℃	
	: 湿度　10%～80%	
保管環境	: 温度　0℃～40℃	
	: 湿度　5%～95%	
電源電圧	: 100V～240V	
周波数	: 50Hz～60Hz	
消費電力	: 最大	約270W
	平均	180W(標準プリント時)
	スタンバイ時	約75W
	省電力モード時	22W以下
稼動音	: プリント時	60db以下(前後左右4方向のバイスタンダー位置での測定)
	: スタンバイ時	50db以下

インタフェース	: SCSI-II
プロトコル	: FastSCSI
プリンタドライバ	: Windows98/95、Windows2000、WindowsNT4.0(SP4以上)、Macintosh(OS8.5.1以上)

外形寸法	: 2010mm(W)×745mm(D)×1280mm(H)
質量	: 288kg (本体[スタンド込み]283kg、スタッカ：5kg)

巻き取り装置（オプション）

巻き取り可能用紙種類	: コート紙、光沢紙、半光沢紙
巻き取り可能用紙幅	: 420mm (16.5")〜1092mm (43")
巻き取り可能最大用紙長さ	: 45m (1732.3")
装着可能巻き芯径	: 内径51mm (2")、76mm (3")
定格電圧	: 24V
定格電流	: 1A
定格回転数	: 11.2rpm

ハードウェアRIP（オプション）

CPU		: Intel Celeron 433MHz
メモリ		:128MB（標準）／768MB（最大）
ハードディスク		: 20GB
CD-ROM		: 24倍速
フォント	欧文フォント	: AdobeType1フォント、136書体
	和文フォント	: Type1フォント、2書体（モリサワCIDフォント：リュウミンL-KL、中ゴシックBBB）
入力インタフェース		: IEEE1284、10/100BASE-TX[RJ-45]
出力インタフェース		: SCSI II
対応OS	Windows	: Windows95/98/NT4.0（サービスパック5以上）/2000
	Macintosh	: Mac OS 8.1以上
	UNIX (Sun, SGI)	: LPR
ページ記述言語		: Adobe PostScript 3 with EFICOLOR Color Rendering Dictionary
ネットワーキング・プロトコル		: Ether Talk、TCP/IP、IPX/SPX
電源		: 100〜240V 50/60Hz

消耗品

本機には用紙、インクボトル、プリントヘッドおよび廃インクタンクが消耗品として用意されています。
消耗品は使いきる前に販売店よりお求めになることをおすすめします。
各消耗品の購入についての詳細は、本機をお買い求めの販売店または担当サービスにお問い合わせください。

用紙

用紙の種類や用紙の品質は画像品質に影響することがあります。
用紙の種類ごとの特性については「用紙の種類とサイズ」(→P4-2)をご覧ください。
用紙の品質は製造メーカーによって異なります。用紙を購入するときは、本機をお買い求めの販売店または担当サービスにお問い合わせください



●プリントの品質を維持するためにキヤノン推奨用紙をお使いになることをおすすめします。

●コート紙
●光沢紙
●半光沢紙
●光沢フィルム

インクボトル

本機で使用できるインクボトルの商品名称は次の表の通りです。
メッセージディスプレイに「インクナシ」というメッセージが表示されたら、該当するインクボトルを交換してください。

イエロー（Y）	マゼンタ（M）	シアン（C）	ブラック（Bk）	フォトシアン（PC）	フォトマゼンタ（PM）
BCI-1101Y	BCI-1101M	BCI-1101C	BCI-1101Bk	BCI-1101PC	BCI-1101PM



・インクボトルの詳細については「第6章　インクボトルとBJプリントヘッドについて」をご覧ください。



●インクボトルは、直射日光の当たらない涼しい場所または本機を使用する環境で保管してください。

プリントヘッド

本機で使用できるプリントヘッドの商品名称は以下の通りです。メッセージディスプレイに「ヘッド＊ヲ　コウカンシテクダサイ」と表示されたり、ヘッド部が消耗したら、該当するプリントヘッドを交換してください。

プリントヘッド　BC-1100



・プリントヘッドの詳細については「第6章　インクボトルとBJプリントヘッドについて」をご覧ください。



●プリントヘッドは、直射日光の当たらない涼しい場所または本機を使用する環境で保管してください。

廃インクタンク

本機で使用できる廃インクタンクの商品名称は以下の通りです。メッセージディスプレイに「ハイインクタンクヲ　コウカンシテクダサイ」というメッセージが表示されたら、廃インクタンクを交換してください。

廃インクタンク　WT-01



・廃インクタンクの詳細については「廃インクタンクの交換」（→P9-13）をご覧ください。

用語集

英数字

ANSI(American National Standards Institute)

アメリカでの工業分野の規格化を行う米国規格協会の略称、または規格です。

AppleTalk

Macintoshコンピュータに標準で装備されているネットワーク機能の総称です。

BJプリントヘッド

インクを噴射するノズルの集合体を持っており、インクボトルからのインクをノズルに供給する構造になっています。

CPU（Central Processing Unit）

コンピュータの頭脳のようなもので、計算処理などをおこないます。一般にCPUの周波数の値が大きいほど高性能で、プリント時には画像処理速度が速くなります。

dpi(dot per inch)

画像の解像度を表す単位で、1インチの幅に打てるドットです。この値が大きいほど、きめ細かいプリントになります。

Ethernet

LAN(ネットワーク)の標準的な通信方法です。

EtherTalk

Macintoshコンピュータにおいて、Ethernetケーブルで運用するAppleTalkネットワークのことです。データ転送速度は最大10Mbpsです。

FastSCSI

SCSI-2の規格に準拠したプロトコルで、データ転送速度は最大10Mbpsです。

IPX/SPX

Novell社のNetware(ネットワークOS)が標準装備しているプロトコルです。

ISO(International Standardization Organization)

工業製品の規格化をおこなう国際標準化機構の略称、または規格です。

LAN(Local area network)

同一建物内など限られた範囲で複数のコンピュータや周辺機器をケーブルで相互接続するネットワークの名称です。

OS(Operating System)

コンピュータにおいて最も基本的な部分で、CPUやメモリの管理、プログラムの実行管理などの機能を総合的に管理するソフトウェアのことをいいます。

Postscript

Adobe Systems社が開発した文字や図形をきれいに表示するためのページ記述言語です。

RIP(Raster Image Processor)

コンピュータから送られてきたPostscript(ページ記述言語)を解釈し、ラスタデータに変換する装置やプログラムです。

SCSI(Small Computer System Interface)

コンピュータと周辺機器との標準的なインタフェース規格です。1枚のSCSIボードに最大7台までのSCSI機器をデイジーチェーンで接続できます。本機ではデイジーチェーンで接続できません。

SCSI ID

SCSIインタフェースで接続した各SCSI機器をコンピュータに認識させるための番号です。各SCSI機器には０～７までのIDを重複しないように設定する必要があります。

TCP/IP

米国防総省が中心となって定められた異機種コンピュータを相互接続するための標準的なプロトコルです。インターネットに接続するときにも使われています。

あ

インクボトル

650mlのインクが入っているボトルのことで、本機にセットすることにより、チューブを通ってプリントヘッドにインクが供給されます。濃度が高く、サイズの大きい画像でも連続プリントが可能です。

印字位置

各ノズルから噴射されたインクが用紙上にのる位置のことです。

インストール

コンピュータや周辺機器、ドライバなどのソフトウェアが動作するように準備する作業のことをいいます。

インタフェース

コンピュータとプリンタなど、2種類以上の装置間で相互にデータをやりとりするための整合性をとる装置、または手順のことをいいます。

インチ(inch)

1インチは約25.4mmです。

か

紙合わせライン

カット紙を正しくセットするために、用紙の位置を合わせる線です。

紙間選択レバー

お使いになる用紙の種類やプリントする画像の濃度によって、用紙が波打ってプラテン上から浮き上がり、ヘッド部をこする場合に、ヘッド部と用紙との間隔を広げるレバーです。

キャリッジ

プリントヘッドを取り付けるための装置です。インクを噴射しながら動きます。

クライアント

サーバにアクセスすることによりサーバからさまざまなサービスを受け取るコンピュータのことで、実際にお客様が操作する端末を指します。

さ

サーバ

一般にネットワーク上でデータの保管および管理を受け持つコンピュータのことをいいますが、ファイルサーバのように単純に共有されるファイルを保管および管理するためのコンピュータのこともいいます。

初期化動作

電源を入れてからプリンタが使えるようになるまでの動作です。

スター型LAN

ハブが中心となって、各コンピュータがハブに接続するというLAN(ネットワーク)の形態のひとつです。

スピンドル

ロール紙をプリンタに取り付けるときに、ロール紙を支えておくための軸です。

スライドホルダ

巻き取り装置に取り付ける巻き取り用紙管を固定するためのものです。

た

ターミネータ

動作を安定させるため、SCSI機器のデイジーチェーンの終端に接続する抵抗器のことです。ターミネータの種類にはSCSI機器に内蔵されているのものと、SCSIコネクタに取り付ける外付けのものがあります。本機には、ターミネータが内蔵されています。

デイジーチェーン

コンピュータと周辺機器を直列で接続する接続方法のことをいいます。SCSI機器による接続の場合、通常コンピュータを含め最大8台までの周辺機器を接続することができます。

データ転送速度

コンピュータ間における単位時間当たりのデータの転送量を表し、通常bpsまたはb/secという単位で表します。

な

ネットワークプロトコル

TCP/IP、EtherTalk、IPX/SPXなどネットワーク上で使われるプロトコルの総称です。

ノズル

ヘッド部にあるインクを噴射させるための穴のことをいいます。

ノズルチェック

ノズルが目づまりしていないかチェックすることをいいます。

は

廃インクタンク

ヘッドクリーニングなどをおこなってヘッド部から吸い出したインクを溜めておく容器です。

ハードディスク

金属やガラスの円盤を用いた磁気ディスクで、主にアプリケーションソフトやデータなどを保存する装置です。

ハブ

LAN(ネットワーク)の接続形態のひとつであるスター型LANを構築するときに必要となる集線装置のことをいいます。

バブルジェット

細いノズルを加熱することにより、ノズル内に気泡(バブル)を発生させ、その圧力によってインクを噴射させる技術です。

パラメータ

各メニュー項目を設定する選択肢、またはコマンドに特別な機能を付加する因子をいいます。

ピアトゥピア

特に専用のサーバを設けず、接続されたコンピュータ同士がお互いにサーバになったり、クライアントになったりする簡易的ネットワーク機構のことをいいます。特定のサーバがないため、高速処理には向きません。

ピンチローラ

用紙をプラテン上に固定したり、搬送するための装置です。

プラテン

プリントする際に、インクを正確な位置で用紙上に吐出するため、用紙を平らにしておく板のことをいいます。

プリンタドライバ

プリントするときに、コンピュータ上で作成したデータをプリンタが読み取れるようにデータ変換をおこなうソフトウェアです。

プリンタポート

コンピュータとプリンタとの接続用に用意されたコネクタです。

プリントサーバ

ネットワーク上にある複数のコンピュータがプリンタを共有できるように管理するためのサーバのことをいいます。

プロトコル

コンピュータ間でデータ通信するときの約束ごと全般をいいます。

ヘッドクリーニング

プリントヘッドのノズルが目づまりすることを防いだり、ノズルの目づまりを解消するために、インクを強制的に吸い出す機構です。

ホームポジション

プリント動作以外のときに、キャリッジが待機している位置です。

ま

マージン(余白)

プリント可能領域外の、用紙上の4辺の余白部分です。

メモリ

データを一時的に蓄える半導体記憶素子です。

や

ユーザーメニュー

本プリンタが持っている機能で、メッセージディスプレイに表示されます。プリンタの持っている機能の設定やメンテナンスが行えます。

ら

リリースレバー

紙づまりの際に動かして、用紙搬送部の圧力を解除したり、搬送部のカバーを開けます。

ロード

用紙がプリント開始位置に正しくセットされるまでの用紙の搬送をいいます。



索引

記号/英数字

五十音順

あ

か

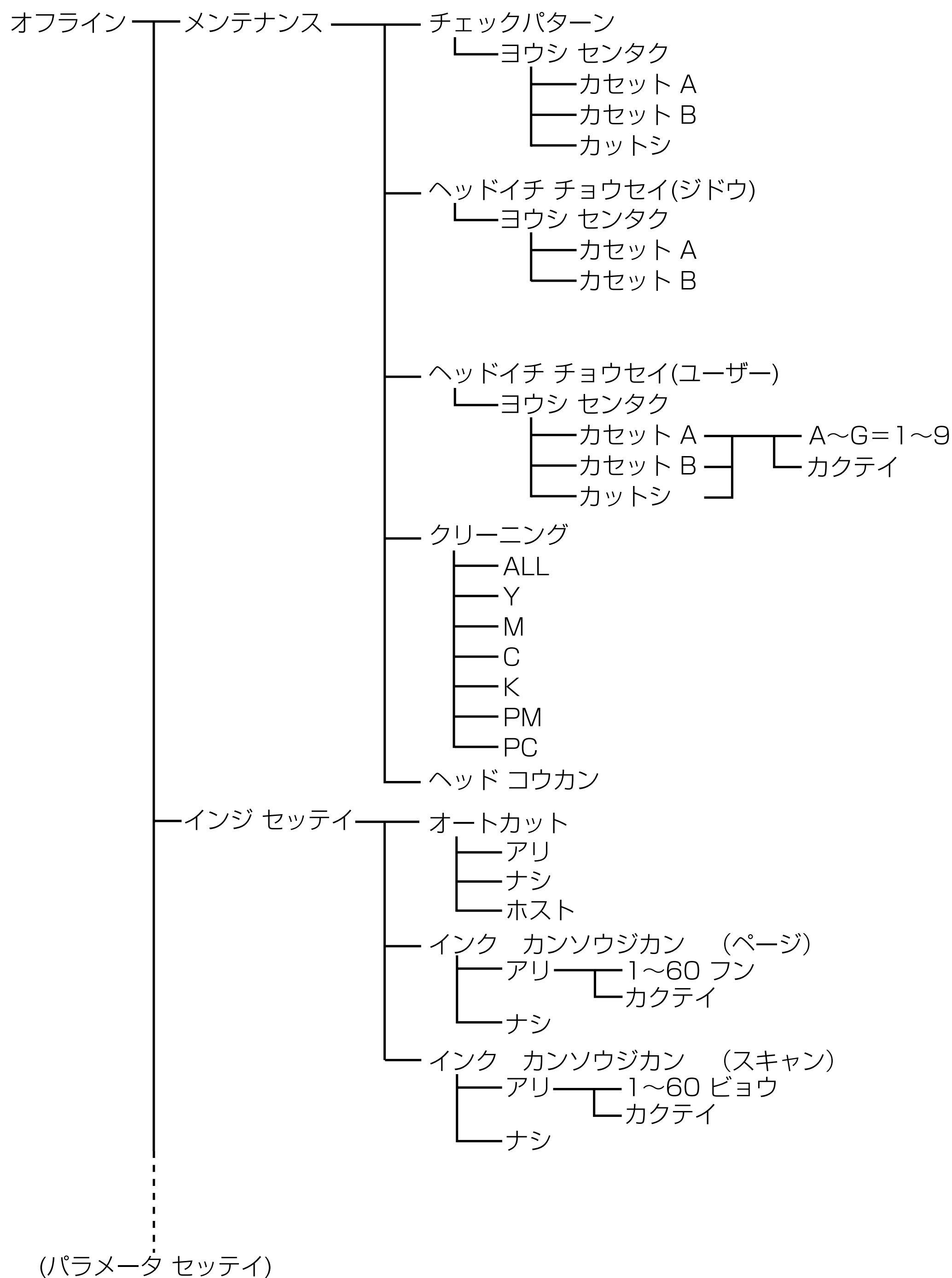
さ

た

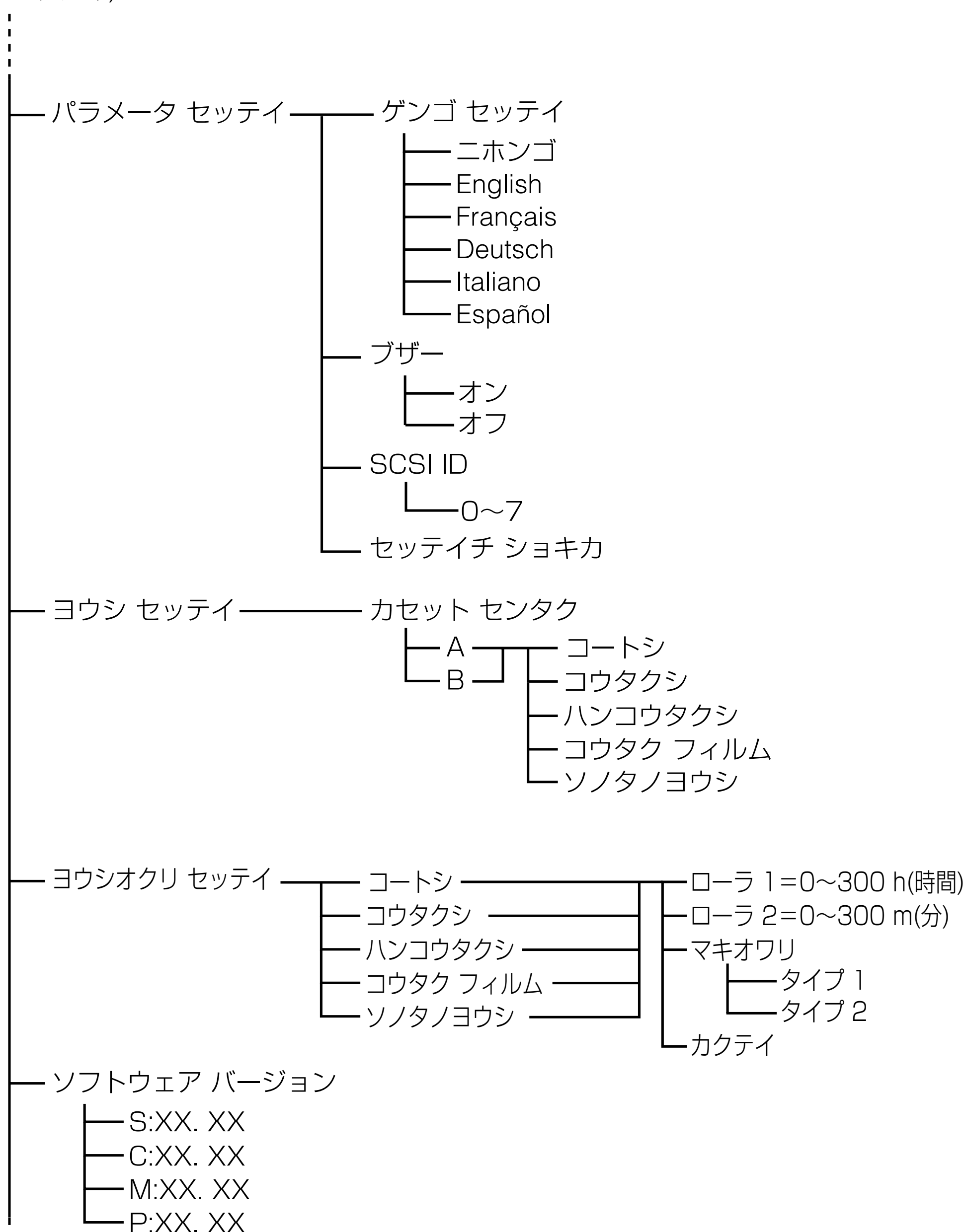
ユーザーメニューの索引

ユーザーメニュー一覧

本機のユーザーメニューの流れは次のようになっています。
各メニューの詳細については「第7章　ユーザーメニューについて」をご覧ください。



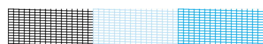
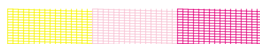
〈矢印キーの役割〉
・【←】【→】 ： メニューや設定値を選択します。
・【↓】 ： 選択しているメニューの設定画面（1つ下の階層）に入ります。また、数値を下げたり設定値を確定します。
・【↑】 ： 1つ上のメニュー階層に抜けます。また、数値を上げます。



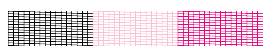
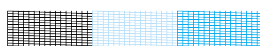
12

チェックパターンの例

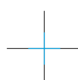
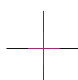
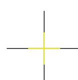
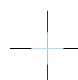
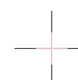
A□ B□


C□ D□




お問い合わせの前に

プリンタの故障の場合は？

プリンタがどうやっても動かなかったり、深刻なエラーが発生して回復しない場合は、プリンタの故障と判断されます。

別紙の「製品取り扱い方法および修理に関するご相談窓口」をご覧ください。

コンピュータなどのシステムの問題は？

プリンタの動作が正常に行われ、プリンタドライバのインストールも問題なければ、プリンタケーブルや、コンピュータシステム(OS、メモリ、ハードディスク、インタフェースなど)に原因があることが考えられます。

コンピュータをご購入された販売店もしくは、コンピュータメーカにご相談ください。

アプリケーションの問題のようだけど？

特定のアプリケーションソフトで起きるトラブルは、プリンタドライバを最新バージョンにバージョンアップすると問題が解決される場合があります。また、アプリケーション固有の問題が考えられます。

アプリケーションソフトメーカのご相談窓口にご相談ください。



プリンタドライバのバージョンアップの方法は、別紙の「最新プリンタドライバの入手方法」をご覧ください。

保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品製造打ち切り後約７年間です。

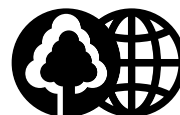
使用済みインクタンク回収のお願い

キヤノンでは、資源の有効活用のために、使用済みのインクカートリッジ並びにインクタンクの回収を推奨しています。この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。

つきましては、キヤノンの環境保全と資源の有効活用の趣旨にご賛同いただければ、お手数ではございますが、ご使用済みとなったインクカートリッジ並びにインクタンクを、最寄りのキヤノンカートリッジ回収協力店またはキヤノン販売営業所までお持ちください。

なお最新の回収窓口一覧、ならびに詳しいご案内につきましては、キヤノン販売ホームページにてごらんいただけます。

http://canon.jp/support



キヤノン製カートリッジ
回収協力店